

2021年度 年報

Annual Report 2021



大阪大学国際教育交流センター
Center for International Education and Exchange, Osaka University

巻 頭 言

大阪大学国際教育交流センター長

有 川 友 子

2021年度は、国際教育交流センターにとりまして、大きな1年となりました。本センター前進の留学生センター時代からあわせて28年間にわたり、教育研究支援をリードし活躍されてきた日本語教育研究チームの西口光一教授が定年退職されました。

また2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響下での2年目となりました。コロナの影響はつづきましたが、2020年度の経験を踏まえ、可能なところから、オンラインと対面と様々な活動を行ってきました。

さて、本年度のトピックスとして、「1. 西口教授最終講義」「2. CIEE協議会シリーズ—多文化交流の最前線」「3. 各キャンパスにおける留学生交流イベント」「4. 大阪大学 & 台湾国立成功大学 学生交流イベント」「5. Webサイト・リニューアル」「6. 短期プログラム開発研究チームによる国際共同研究について」「7. OUSSEP学生対象国際交流科目「インターンシップ実習」、以上7件につきまして報告しております。その後、各プログラムや活動について詳細に報告しております。

尚、大阪大学の外国人留学生数は2021年5月1日現在で2,612名となりました。この人数にはその時点で本学に在籍しているものの未渡日の留学生も含まれますが、2019年度までに既に来日していた大多数の留学生、2020年秋に新規に来日した留学生もおりますので、多くの留学生が大阪大学に学ぶ状況は続いております。しかしながら、2021年度も来日できない留学生が多くおりましたので、オンラインにて海外から国際教育交流センターの各種プログラムに参加したり、授業等を履修する留学生が続きました。

最後になりますが、まだ暫く新型コロナウイルスの影響は続いていくと思います。ウィズコロナ・ポストコロナを見据えて、これからもグローバルイニシアティブ機構など関係部署と連携しつつ、国際教育交流センターは留学生中心の部局として、積極的に貢献してまいります。

大阪大学国際教育交流センター
2021年度 年報

目 次

巻 頭 言	1
I. 本年度のトピックス.....	4
1. 西口教授最終講義.....	4
2. CIEE 研究協議会シリーズ — 多文化交流の最前線.....	5
3. 各キャンパスにおける留学生交流イベント（ウィズコロナに向けて）.....	6
4. 大阪大学 & 台湾国立成功大学 学生交流イベント.....	7
5. Web サイト・リニューアル.....	8
6. 短期プログラム開発研究チームによる国際共同研究について.....	9
7. OUSSEP 学生対象国際交流科目「インターンシップ実習」.....	10
II. 現 況.....	12
1. 教員、非常勤講師、特任事務職員等.....	12
2. 今年度の動き.....	13
III. 留学生対象日本語プログラム.....	14
1. 日本語集中コース.....	15
2. 留学生日本語選択コース.....	22
3. 全学共通教育.....	23
4. 国際交流科目.....	25
5. 学際融合教育科目.....	26
6. その他.....	27
IV. 国際教養・専門複合型プログラム.....	30
1. 行事.....	31
2. 2021 年度春夏学期：OUSSEP 学生名簿と国際交流科目開講リスト.....	32
3. 2021 年度秋冬学期：OUSSEP 学生名簿と国際交流科目開講リスト.....	35
4. OUSSEP 学生以外の国際交流科目履修者数と単位取得者数.....	37
5. 国際交流科目における授業の質保証の取り組み.....	38
V. 授業料徴収型『超短期』プログラム.....	44
1. 『超短期』プログラム.....	44
2. 『ショートステイ学期内日本語専修プログラム』J-ShIP.....	45
3. 『学外連携実習』ExPERT.....	46
4. Faculty-led プログラム UMOS.....	46
VI. 留学生支援.....	47
1. 生活・就学支援.....	47
2. 地域との連携.....	54
3. 留学生に対するキャリア支援.....	56

VII. 海外派遣留学支援	61
1. 海外研修・異文化体験プログラム	61
2. 海外留学オリエンテーション	63
3. 大学間交換留学者数	64
4. 海外留学・研修等派遣前危機管理オリエンテーション	67
5. 海外留学相談.....	68
6. 英語学習支援プログラム Project HELP！.....	70
VIII. サポートオフィスの活動	75
1. 査証（ビザ）関連手続きの支援.....	75
2. 住宅・宿舎手配の情報提供・支援.....	76
3. 新規来日外国人留学生・研究者向けオリエンテーションの開催.....	76
4. 留学生・外国人研究者受入事務に初めて関わる担当者向け研修会の開催.....	77
5. ホームページの管理運営.....	78
6. 各種印刷物の改訂版作成・配布.....	78
IX. 大学院・学部教育	79
1. 授業担当.....	79
2. 研究指導.....	86
3. 研究指導学生学位論文.....	88
4. リサーチ・アシスタント（RA）の受入れ.....	88
X. その他の活動	89
1. 各種行事	89
2. 海外出張・海外研修.....	91
3. 出版物・印刷物等（2021年5月から2022年4月まで）.....	91
4. 来訪者対応.....	92
5. 研究者のためのオーラル・コミュニケーション日本語.....	92
6. にほんごテーブル.....	92
7. CIEE研究会.....	94
XI. 教員個人データ	95
資料編	
資料1 国際教育交流センターが提供する日本語科目 2021年度 留学生日本語プログラム 時間割.....	123
資料2 2021年度 留学生日本語プログラム（選択コース）履修登録者数（実人数）一覧.....	127
資料3-1 国際交流科目授業時間割（令和3年春・夏学期）.....	129
資料3-2 国際交流科目授業時間割（令和3年秋・冬学期）.....	130
資料4 日本語授業についてのアンケート.....	131
資料5 国際交流科目 授業評価アンケート（質問票）.....	135
資料6 国際交流科目 授業アンケート（結果）.....	140
資料7-1 国際交流科目 総合日本語／日本語・グローバル理解演習 授業アンケート 集計結果 春夏学期.....	144
資料7-2 国際交流科目 総合日本語／日本語・グローバル理解演習 授業アンケート 集計結果 秋冬学期.....	148

I. 本年度のトピックス

1. 西口教授最終講義

令和4年3月31日をもち、定年退職となる西口光一教授の最終記念講義が下記の通り行われた。

日 時：令和4年2月15日(火) 10:30～12:00

講義題目：原点を見つめつつ、現実的に行動する — 言語哲学と言語教育の往還 —

実施形態：ウェビナーによるオンライン開催（参加申込み者には後日動画配信を行った。）

西口光一教授は、平成6年に大阪大学国際教育交流センターの前身である留学生センターに着任。平成7年からは言語文化研究科の兼任教員として、28年間に渡り大阪大学で教育、研究活動を行ってきた。記念講義では、大阪大学での28年および日本語教育と第二言語教育に従事してきた42年を振り返り、おもに「ことば学」についてパノラマ的に講義が行われた。言語文化研究科の修了生や日本語教育学関係者など496名にのぼる参加申込があり、当日の参加者は269名であった。また、後日の動画配信は250回以上の再生があった。

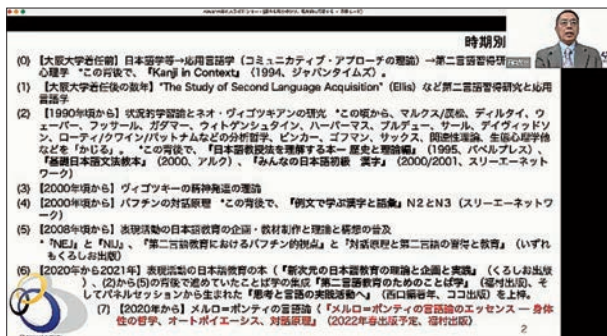
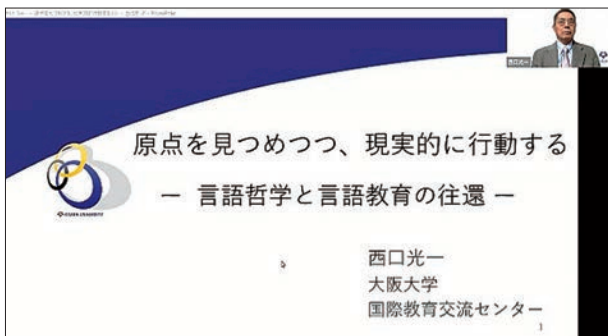


写真 最終講義の様子

2. CIEE 研究協議会シリーズ—多文化交流の最前線

CIEE 協議会シリーズは、例年3つの協議会のシリーズとして行われてきたが、今年度については、コロナウイルス感染予防の観点から2つの協議会が中止となった。

(1) 国立大学法人留学生指導研究協議会

日時：2022年2月10日(月)

場所：Zoom meeting によるオンライン会議

標記協議会は国立大学法人に所属する留学生指導担当教職員を対象に毎年開催されている。今年度の本協議会は主題：「コロナ禍2年目の留学生受け入れ体制と具体的取組」でZOOMによるオンライン形式で開催された。まず、文部科学省高等教育局学生・留学生課学生交流室より「留学生交流に係る最新状況と令和4年度関連予算案について」説明があった。その後「コロナ禍2年目の留学生受け入れ体制と具体的取組」の事例が紹介され、4つの分科会（「A（来日等）不確定な状況での留学生受入体制と具体的取組」「B. 相談対応（カウンセリング・アドバイジングなど）」「C. 留学生と日本人など一般学生等の交流」「D. 留学生のキャリア支援」に分かれてオンラインディスカッションを実施した。分科会での討議及び全体討論を通して、留学生への多様な支援について協議が行われた。開催要領は以下の通り。（出席者：144名、学内：14名・学外：130名）

挨拶（13:00-13:10）

I. 留学生受入れに関する施策（13:10-14:00）「留学生交流に係る最新状況と令和4年度関連予算案について」

II. 事例紹介（14:00-14:45）「コロナ禍2年目の留学生受け入れ体制と具体的取組」

III. 分科会（15:00-16:10）

A. (来日等) 不確定な状況での留学生受入体制と具体的取組

B. 相談対応（カウンセリング・アドバイジングなど）

C. 留学生と日本人など一般学生等の交流

D. 留学生のキャリア支援

IV. 各分科会からの報告と全体討論（16:20-16:50）

閉会の挨拶（16:50-17:00）

情報交換会（17:10-18:00）

(2) 大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会

例年、大阪大学各国・地域留学生会の活動とそれぞれの文化について学ぶとともに、参加者と一緒にボランティアとの懇談会を通して意見交換を行い、ネットワークのさらなる充実に資することを目的として実施している。今年度は、コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

(3) 第14回専門日本語教育研究協議会

日時：2022年2月15日

場所：Zoom meetingによるオンライン会議

第14回専門日本語教育研究協議会は、「日本語の上達を支援する教育実践の創造—ITを有効に活用したチームでの教育実践の可能性—」をテーマに、過去2年間にわたるコロナ禍の中でオンラインでの実践を強いられた経験から得た知見から今後の大学における日本語教育の実践において検討すべきことについて協議した。まず、早稲田大学大学院日本語教育研究科の李在鎬氏より、日本語教育・日本語学習支援におけるIT活用の可能性と課題について、ICTと言語教育をその歴史、理論、実践の面から現在の状況の分析とこれからの日本語教育に対する提言があった。続いて、国際交流基金関西国際センターの熊野七絵氏より、国際交流基金のオンライン学習教材「まるごとPlus」の開発とオンライン学習支援ポータルサイト「みなど」を通じたオンラインプログラムの実践の経験をもとに、オンラインコースの制作と運用のためのデザインについて論じていただいた。その後、全体討議において、登壇者、フロアより活発な議論が行われた（詳細については、以下のQRコードよりURLを参照）。（参加者数：160名、学内：7名）

https://ciee.osaka-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/03/2022_0215_kyogikai_report.pdf



3. 各キャンパスにおける留学生交流イベント（ウィズコロナに向けて）

例年、学生交流団体およびCIEE主催による新入生歓迎イベントが、3キャンパスそれぞれで実施される（春夏学期は4月、秋冬学期は10月、計6回開催）。しかし、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、軒並み開催を見合わせた。今年度は、ウィズコロナの観点から、さまざまな工夫を凝らすことで1年ぶりの開催に至った。

令和3年春夏学期だが、4月25日～6月20日にかけて大阪では緊急事態措置が発令されていた。その後、6月21日からまん延防止等重点措置へと緩和されたことから、吹田キャンパスでは6月30日（水）、豊中キャンパスでは7月1日（木）、箕面キャンパスでは7月7日（水）に順次、留学生との交流イベントを3キャンパスで開催した。

いずれも感染予防に留意し、従来の飲食提供は控えたが、その代替案として学生交流団体B.S.P.およびOUISAが主体となり、日本の踊りと世界の踊り（ソーラン節／マカレラ）、縁日ブース（射的、プラバン作り、紙飛行機ゲーム）、ビンゴゲームなど、さまざまな内容を盛り込んだものとなった。参加者数は、留学生と日本人等一般学生を合わせてのべ131人で、ポストコロナの交流推進につながる良い機会となった。

この新しい形態での実施は、秋冬学期にも継続された。吹田キャンパスで10月29日（金）、豊中キャンパスでは11月22日（月）、箕面キャンパスでは11月26日（金）に、各キャンパスで留学生交流のイベン

トが実施された。

今回も飲食は控え、グループ対抗の紙相撲やスプーンリレー、音楽を用いたイントロクイズが企画された。また感染予防のためのマスクに注目し、各参加者が工夫を凝らしてマスクを作成し競い合うマスクコンテストも実施されて、とても盛り上がった。参加者数は、留学生と日本人等一般学生を合わせてのべ112人だった。



4. 大阪大学 & 台湾国立成功大学 学生交流イベント

2021年に大阪大学と国立成功大学（台湾）は、共に創立90周年を迎えた。これを記念し、12月9日（木）13:00より、「大阪大学 & 台湾国立成功大学・90周年記念学生交流オンラインイベント」が開催された。このイベントは、大阪大学の学生交流団体、豊中 Brothers and Sisters Program (B.S.P.) と、国立成功大学の Buddy Buddy Program (BBP) が中心となって企画した。

当日は、大阪大学国際教育交流センターの有川友子教授と、国立成功大学の Charles Lin 教授の挨拶に続き、学生による大学紹介が行われた。さらにお互いの街や食文化の紹介ののち、グループごとのゲームが行われ、大変盛り上がった。参加者は両大学で56名だった。



5. Webサイト・リニューアル

2021年4月、新しいCIEEのウェブサイトが公開された。

ウェブサイトのリニューアルに先立ち、2020年12月、複数の制作会社にコンタクトを取り、制作までの流れや制作費用、納期などを考慮し、研究機関専門のWeb制作会社である株式会社シストランスに依頼することとなった。

リニューアルに至った主な経緯は、学内の関係者から、CIEE業務がわかりにくいという声があったためである。また、超短期プログラムや交換プログラムが別サイトとして運用されており、CIEEとの関係が見えにくいなどの問題点もあった。さらに、長期にわたるウェブサイト運用により、掲載情報の整理が困難になり、適宜アップデートすることが非常に難しくなっていた。

そこで、CIEEの業務をわかりやすく可視化するために、まずジャンル構成を見直した。また留学生の教育支援活動を主要業務とすることが伝わるようにトップページをデザインした。さらに、阪大への留学生や、阪大から海外に留学する学生など、具体的な利用者を想定したコンテンツを準備した。

新ウェブサイトは日英に対応しており、日本語教育から留学生サポート、海外派遣など多岐にわたる

CIEE業務がよりわかりやすくまとめられている。また主要研究業績や科研費取得状況などの紹介ページも新たに盛り込むことで、研究活動が盛んに行われているセンターの現状が伝わるようにした。さらに、トップページに「お知らせ」と「活動報告」のコーナーを設けることで、センターの取り組みを随時、学内外に発信することができるプラットフォームとして設計した。



6. 短期プログラム開発研究チームによる国際共同研究について

2020年より新型コロナウイルス感染症が蔓延し、越境を伴う教育モデルの脆弱性が明らかになった。感染症終息後も大学教育グローバル化を止めないため、日本を含む世界の高等教育機関がどのように協力を構築していくべきか。ポストコロナ期に大学間留学交流を安定して運営するためには、これまで構築されてきた教育資産やネットワーク、プロトコルを基礎としながらも、新たに真摯な議論を積み重ね、学生交流の枠組みや手順について世界の教育機関が共通したビジョンを持つ必要があると考えている。短期プログラム開発研究チームでは、国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B）研究代表：近藤佐知彦教授）を獲得し、「大学間教育交流のニューノーマル：各種プログラムの再定義」について研究・調査を行なっている。本研究では、日本と縁が深い地域の研究者や実践者と日本の若手研究者とが、学生交流再開に向け議論を深めつつ共に情報収集や分析に取り組むことで、共通ビジョンの基盤となる「大学間交流のニューノーマル」について認識を共有し、大学教育の次なる時代のグローバル化のあり方を探索することを目的としている。

本年度は2021年2月から5月末にかけて、国内の大学教職員を対象に、2021年12月から2021年1月

末まで日本から海外へ留学をする学生を対象にアンケート調査を実施した。大学教職員を対象としたアンケートは179名、学生を対象としたアンケートは393名の回答いただき、教職員および学生の貴重な声を集めることができた。本アンケート結果は現在国内外における学会や論文を通して成果の発信をしており、今後も引き続き国内外の学会で発信すると共に、国内外でのジャーナルに論文投稿することで更に結果を発信・共有していく予定である。本研究・調査の進捗状況については以下の科研HPにて随時更新している。(https://newnormal-jointintresearch.org)

7. OUSSEP 学生対象国際交流科目「インターンシップ実習」

2021年度は、OUSSEP学生対象の「インターンシップ実習」が新たに開始された。コースを2つ用意しており、コース1はキッサニア甲子園による「児童英語教育コース」、コース2は、就労支援施設 Pane Sorrisoを中心に、石橋商店街および旭通商店街による「社会福祉とインクルーシブな地域環境づくりコース」である。コース1は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったが、コース2は実施され、各学期2名ずつ、計4名を受け入れた。

コース2では、学生は、主に石橋商店街付近にある就労支援施設 Pane Sorriso で利用者と交流しながらパンづくりやミーティングへの参加等の業務を経験した。旭通商店街では、旭通商店街協同組合事務所、さくらカフェ、貸衣装店秋田屋で職業体験を行った。また、午後は、石橋南小学校、宝塚北高校、ぷらごこむ（宝塚福祉コミュニティプラザ）、クロスバイス（生野コリアタウンにある子ども学習支援）といった地域コミュニティを訪問した。緊急事態宣言下では、学内からオンラインにより地域住民と交流するなどの対応を余儀なくされたが、参加学生は、「地域が抱える問題を知り、共に考えるという貴重な経験ができ、深い学びを得ることができた」と語り、満足度の高い実習となった。

【授業科目名】	インターンシップ実習 コース2 社会福祉・まちづくりコース（春夏/秋冬）
【開始年度】	2021年春夏学期～現在に至る
【開講時期】	各学期、週1回
【授業期間】	4月～8月/10月～2月、全15回
【授業時間】	火曜1～4限（10:00-16:00）
【授業の種類】	国際交流科目
【最終課題】	OUSSEP交換留学生対象の英語による授業 地域でイベントを実施
【成績評価】	参加態度（時間厳守等） 20% ウィークリーレポート 20% 学外連携機関からの評価 20% 最終プレゼンテーション（イベントの実施） 20% 最終レポート 20%



Weekly Report

応募からインターンシップ開始までの流れ

【来日前】

1. OUSSEP（英語による交換留学プログラム）への応募時にインターンシップ実習に応募。
2. 受け入れ機関担当者と阪大担当教員によるオンライン面接（秋入学は8月、春入学は2月を予定）
3. 面接の結果は、秋入学の場合は9月、春入学の場合は3月に通知。

【来日後】

4. 労働許可証の取得
5. 阪大担当教員によるオリエンテーション
6. 受け入れ機関担当者によるオリエンテーション
7. インターンシップコース初日に授業開始
（実習開始月末日時点で、来日できていない場合は参加不可）

【本授業の概要と受け入れ手順】



【小学校訪問の様子】



【寺社訪問の様子】



【職業体験の様子】

2021 年度受講者一覧

		出身大学	出身地域	専攻
春夏	1	ストラースブル大学	台湾	外国語学
	2	ユヴァスキュラ大学	フィンランド	物理学
秋冬	3	ダーラム大学	イギリス／日本	数学
	4	ESSECビジネススクール	フランス／日本	経営学

		午前		午後
12-Oct	Week 2	Pane	地域カフェ	コミュニケーションワークショップ、歓迎会@Pane
19-Oct	Week 3	商店街事務所	Pane	地域コミュニティ訪問@應典院
26-Oct	Week 4	地域コミュニティ訪問@宝塚北高校訪問		
2-Nov	Week 5	Pane	商店街事務所	きょうされん映画鑑賞会と交流会@ぶらざこむ
9-Nov	Week 6	地域コミュニティ訪問@西成		
16-Nov	Week 7	地域カフェ	Pane	施設スタッフのお話@Pane
30-Nov	Week 8	Pane	貸衣装店	地域コミュニティ訪問
7-Dec	Week 9	地域コミュニティ訪問@クロスベース		
14-Dec	Week 10	地域コミュニティ訪問@宝塚北高校		
21-Dec	Week 11	オンライン	オンライン	豊中地区研究交流会
4-Jan	Week 12	Pane	貸衣装店	地域コミュニティ訪問
11-Jan	Week 13	石橋商店街	Pane	地域コミュニティ訪問
18-Jan	Week 14	最終報告会準備@Pane		
25-Jan	Week 15	最終報告会@Pane		

【秋冬学期のスケジュール】



【秋冬学期の実習の様子】

Ⅱ. 現 況

※国際教育交流センターの運営形態と組織については、<https://ciee.osaka-u.ac.jp/about/organization/#>をご参照ください。

1. 教員、非常勤講師、特任事務職員等

※2021年4月現在を基本とする。

センター長		有川 友子 (Ph.D、Education)
交流アドバイジング	教授	有川 友子
研究チーム	准教授	岡本 紗知 (Ph.D、Microbiology)
	准教授	魚崎 典子 (特任、博士 (工学))
短期プログラム開発	教授	近藤 佐知彦 (Ph.D、Social Science)
研究チーム	准教授	石倉 佑季子 (博士 (人間科学))
	助教	中野 遼子 (特任、博士 (言語文化学))
日本語教育研究	教授・副センター長	村岡 貴子 (博士 (言語文化学))
チーム	教授	西口 光一 (博士 (言語文化学))
	教授	義永 美央子 (博士 (言語文化学))
	准教授	大谷 晋也 (修士 (言語文化学))
	准教授	難波 康治 (教育学修士)
	准教授	西村 謙一 (法学修士)
	講師	韓 喜善 (特任、博士 (言語文化学))
	講師	福良 直子 (博士 (言語文化学))
	助教	瀬井 陽子 (特任、修士 (文学))
兼任教員	留学生受入れ	鄭 聖汝 (講師、文学研究科)
	専門教育教員	安元 佐織 (講師、人間科学研究科)
		EL BALTI BELIGH (准教授、法学研究科)
		勝又 壮太郎 (准教授、経済学研究科)
		香門 悠里 (講師、理学研究科)
		藤田 清士 (教授、工学研究科)
		寺井 智之 (講師、工学研究科)
		中橋 真穂 (助教、工学研究科)
		堀 さやか (助教、工学研究科)
		岡部 孝宏 (講師、基礎工学研究科)
非常勤講師		伊藤 創、上田 安希子、上仲 淳、梅本 仁美、浦木 貴和、岡崎 洋三、 岡田 亜矢子、小原 俊彦、蔭山 拓、菅 摂子、住吉 秀紀、竹内 茜、 畑中 香乃、花井 理香、半田 佳奈子、藤澤 好恵、松田 佳子、 矢部 正人、山崎 深雪、山田 真知子

招へい研究員	花井 理香（2021年4月1日－2022年3月31日）
特任事務職員	三好 絵美（留学生交流情報室）
	大関 寛子（短期チーム）（2021年4月1日から2021年9月30日まで）、
	豊野 由紀子（短期チーム）（2022年1月1日から）、
	渡邊 由美子（短期チーム）
	北野 智恵（サポートオフィス）、ケリー 優子（サポートオフィス）
事務補佐員	垣塚 保子（短期チーム）
	柏原 美佐緒（短期チーム）
	古株 亜季（短期チーム）（2021年9月30日まで）、
	吉田 恵（短期チーム）（2021年10月1日から）
	山下 結加（サポートオフィス）
	勝矢 智子（日本語教育チーム）
	高森 洋志子（日本語教育チーム）
留学生交流情報室	大野 奈苗、網 ひとみ、村田 いづみ、岸邊 典子、
スタッフ	桂田 敬子（2021年8月31日まで）、山岸 美穂（2021年9月1日から）

2. 今年度の動き

中野遼子特任助教は、本年3月末をもってセンターを転出し、4月からは、東北大学大学院歯学研究科の特任講師に着任する。

1994年6月の国際教育交流センター開設（当時は、留学生センター）以来、28年間にわたってセンター教員を務めた西口光一教授は、本年度をもって定年となり、名誉教授の称号を得て、退職した。4月からは、広島大学森戸国際高等教育学院特任教授に着任する。

Ⅲ. 留学生対象日本語プログラム

国際教育交流センターでは、下記表に見るとおり、全学の留学生を対象に各種日本語プログラムを実施/提供している。学生の多様な日本語学習ニーズに応じ、総合的な日本語科目および専門日本語科目を中心に提供するプログラム内容となっている。未習者を対象とした入門レベル（100 レベル）から、日本語能力試験N1 相当以上の超上級レベル（700 レベル）まで7段階のレベルを設定している。表の1～5の各プログラムの時間割、および、選択コースの履修登録状況は、巻末記載の資料1、資料2に示している。

*単位あり正規科目

対象留学生		プログラム名	レベル
大学院生・研究生 (研究留学生)	国費大使館推薦	1. 留学生日本語集中コース	100～300
	全学	2. 留学生日本語選択コース	100～700
	全学	3. 学際融合教育科目*	600～700
学部留学生	一般正規生	4. 全学共通教育：第2外国語/国際教養*	700
	学部英語コース	4. : 第1外国語*	100～600
短期留学生		5. 国際交流科目（日本語）*	100～600

2021（令和3）年度の春～夏学期・秋～冬学期の履修者数合計は578名（図1）で、前年度（521名）と比べて約50名、10%増となった。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、留学生の新規来日は引き続き制限されているものの、大阪大学の学籍を持つ留学生には日本国外からの受講を認めている。また、授業のほとんどがオンラインツールを用いたメディア授業となったことで、通学やキャンパス移動の負担が少なくなり、日本国内にいる留学生にとっても、研究活動と日本語学習との両立がしや

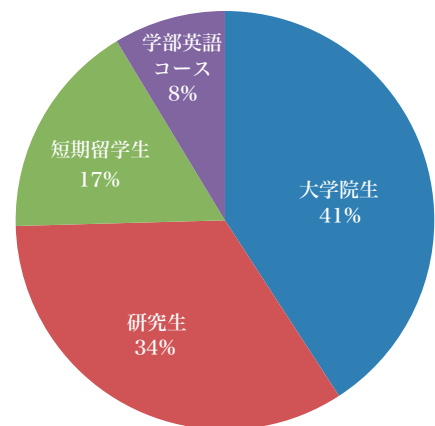
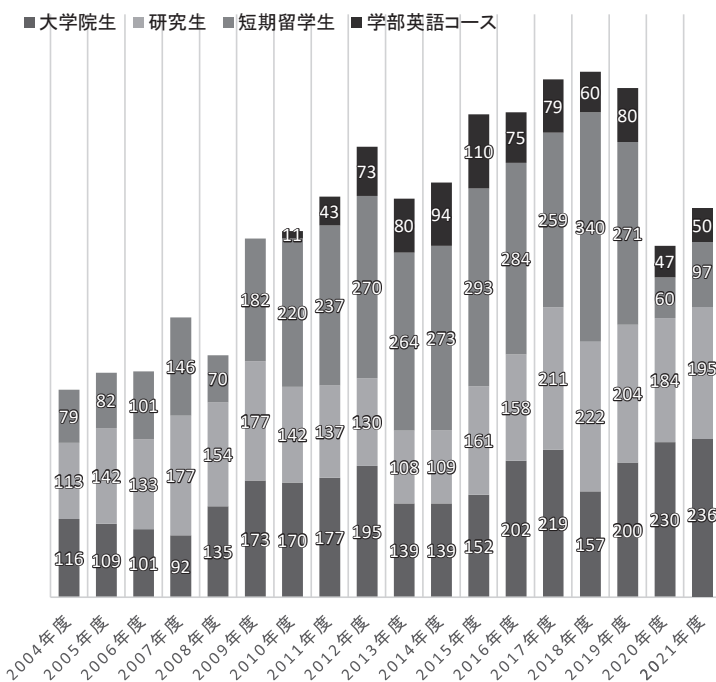


図2 2021年度履修者身分別分布

図1 年度ごと身分別履修者数の推移
(学部一般正規生（上表の4）は含まない)

すくなった面があると考えられる。ただし、コロナ前の 2019 年度に比べると、履修者数はまだ完全に戻ってはならず、約 10 年前と同じような水準にある。2022 年 3 月からは外国人留学生の入国制限が緩和されるといえるが、今後の動向に引き続き留意が必要である。

1. 日本語集中コース

日本語集中コースは、主として本学の大学院への進学を希望する留学生を対象とした 15 週間の集中的な日本語予備教育コースである。日本語予備教育生（以下、学生）の大部分は、文部科学省の国費留学生（大使館推薦研究留学生および教員研修生）が占めるが、定員に余裕がある場合には、所定の選考手続きを経た上で、学内のその他の留学生（研究生、大学院生および短期留学生）も受け入れている。

なお、国費留学生の中には、他大学の大学院に進学予定の学生も数名いるが、大阪大学は近畿圏における他大学に進学するこれらの留学生を広く受け入れている。

学生は、プレースメントテストおよび面接の結果により日本語レベルが判断され、以下の通り、IJ100, IJ200, IJ300 の 3 クラスに分かれて日本語を学ぶ。本コースの目標は、日本語能力の差異にかかわらず、日本語により専門分野のトピックについてパワーポイント等の視覚資料を活用しながら短いプレゼンテーションが行えるようになることである。学期末には修了発表会を実施し、各自専門分野のトピックについてプレゼンテーションを行う。この修了発表会には学生の研究指導教員を招待する他、発表準備の過程を随時指導教員に報告し、日本語研修と研究活動との接続に配慮している。また、大学での研究活動を行うにふさわしい日本語教育を提供するために、学生のニーズや学習目的を考慮した上で大学での言語生活もトピックとした教材開発を行い、それらを授業で活用し、さらに改善を重ねている。

なお、54 期・55 期に関しては、2020 年度来の新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により学生が来日できない状況が続いたため、原則として時差対応を行いつつメディア授業を実施し、学生の来日状況に応じて一部対面授業や個別対応を行った。

(1) IJ100

① 概要

100 クラスは、コース開始時に日本語の学習経験が全く、もしくはほとんどない学生を対象として、初歩から日本語を学習する。例年は、授業時間数は 1 週間当たり 13 コマで、うち 2 コマを漢字と語彙のクラスにあてている。100 クラスの学生の多くは、まったく言葉の通じない異文化の中で初めての一人暮らしを経験することになる。そのため、精神的なケアに特段の注意を払いつつ日本語の教育を行う必要がある。学習は「自己表現のための日本語」を習得することを中心に進められ、最終的には、教師のサポートを受けつつ自分の専門分野について簡単なプレゼンテーションをすることを目標としている。

本年度は、春夏学期は 13 コマ、秋冬学期は学期途中までグループ別に各 7 コマという授業体制で日本語教育を実施した。

② 時間割

第54期・第55期 日本語集中コースIJ100 クラス時間割（令和3年度）

第54期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	講義		チュートリアル	チュートリアル	
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	プレゼンテーション	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動
4時間目 15:10-16:40	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	プレゼンテーション	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動

第55期（10月～12月末100Aクラス）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	講義 IJ100A	コミュニケーション 行動 IJ100A	チュートリアル IJ100A	コミュニケーション 行動 IJ100A	
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-15:00		コミュニケーション 行動 IJ100A		コミュニケーション 行動 IJ100A	コミュニケーション 行動 IJ100A

第55期（10月～12月末100Bクラス）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	講義 IJ100B				
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動 IJ100B		コミュニケーション 行動 IJ100B		チュートリアル IJ100
4時間目 15:10-16:40	コミュニケーション 行動 IJ100B		コミュニケーション 行動 IJ100B		コミュニケーション 行動 IJ100B

第55期（12月末～ A・B合同 来日済みの学生）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	講義 (対面)		チュートリアル (対面)		チュートリアル (対面)
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-14:30 ※60分	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)
4時間目 14:40-15:40 ※60分	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)	コミュニケーション 行動 (対面)
5時間目 15:50-16:50 ※60分	自習	自習	自習	自習	自習

第55期（12月末～ A・B合同 未来日の学生）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2時間目 10:30-12:00	講義 (オンライン参加)		チュートリアル (オンライン参加)		チュートリアル (オンライン参加)
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-14:30 ※60分	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)
4時間目 14:40-15:40 ※60分	自習	自習	自習	自習	自習
5時間目 15:50-16:50 ※60分	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)	コミュニケーション 行動 (オンライン参加)

(2) IJ200

① 概要

200クラスは、初級修了者を対象としているが、来日前に母国で独習に近い方法で日本語を学んだ者も含まれ、特に口頭表現能力のレベルはかなり幅が広いクラスである。授業時間数は基本的には1週間当たり13コマ（11コマの200クラス専用授業とチュートリアル1コマおよび選択必修の漢字・語彙クラス）で構成されている。54期は当初時差別および同期・非同期を組み合わせる実質的には13コマ実施した。55期は11月までは時差別に2グループ、6コマずつで構成され、12月からはグループ合同で12コマ実施した。なお、「漢字・語彙クラス」は漢字系か非漢字系かに分かれて受講する（下記の時間割参照）。「200クラス日本語（コミュニケーション行動）(IJ200)」は、日本社会への適応と大学の研究室での研究活動を支えるための社会文化能力を獲得することを目的とし、基本的にトピックシラバスによりカリキュラムを編成している。

② 時間割

第54期・第55期 日本語集中コースIJ200 クラス時間割（令和3年度）

第54期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20	漢字と語彙 非漢字系JK201	漢字と語彙 漢字系JK202	読解	コミュニケーション 行動	
2時間目 9:00-9:45					読解 ※45分
12:00-13:00 昼休み					
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	会話と文法	チュートリアル	コミュニケーション 行動	専門基礎 プレゼンテーション

※漢字と語彙：JK201は、母国で漢字を使用しない学生のための授業。JK202は、母国で漢字を使用する学生のための授業。

課題提出による 非同期授業	コミュニケーション 行動	会話と文法	読解	専門基礎 プレゼンテーション
------------------	-----------------	-------	----	-------------------

第55期（10月・11月 Aグループ：アジア・南米）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20	漢字と語彙 非漢字系JK201 (Aグループ)		読解 (Aグループ)		
2時間目 10:30-12:00	コミュニケーション 行動 (Aグループ)			コミュニケーション 行動 (Aグループ)	専門基礎 プレゼンテーション (Aグループ)

課題提出による 非同期授業	コミュニケーション行動 (Aグループ)
------------------	------------------------

第55期（10月・11月 Bグループ：アジア・アフリカ・ヨーロッパ）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4時間目 15:10-16:40		読解 (Bグループ)	漢字・チュートリアル (Bグループ)	コミュニケーション 行動 (Bグループ)	専門基礎 プレゼンテーション (Bグループ)
6時間目 16:50-18:20		コミュニケーション 行動 (Bグループ)			

課題提出による 非同期授業	コミュニケーション行動 (Bグループ)
------------------	------------------------

第55期（12月～ グループ合同・オンライン）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20	漢字と語彙 非漢字系JK201				
2時間目 10:30-12:00	コミュニケーション 行動				
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	読解	コミュニケーション 行動	専門基礎 プレゼンテーション
4時間目 15:10-16:40		読解	チュートリアル	コミュニケーション 行動	専門基礎 プレゼンテーション

課題提出による 非同期授業	コミュニケーション行動
------------------	-------------

(3) IJ300

① 概要

300クラスは、日本語を1～2年、約200～300時間程度学習した経験を持つ学生を対象としている。授業時間数は1週間当たり9コマで、「コミュニケーション行動」7コマ、「漢字と語彙」1コマ、そして個別学習指導（「チュートリアル」）1コマで構成されている。授業では、現代社会に関するいくつかのトピックおよび日本語学習者に関するストーリーを取り扱い、読解、聴解、ディスカッション、エッセイの作成を通じて中級レベルの日本語技能の習得を目指す。「漢字と語彙」では語彙を学習する。54期は、学生の多くが渡日できない期間が続いたことからリモートで授業を行ったものの、学生の出身地域の時差はさほど大きくなかったため、従来の時間割通りに授業を実施できた。55期は、11月中旬までは学生の出身地域

にあわせて2グループに分け、それぞれ同期授業6コマ、非同期授業3コマという体制で実施し、大半の学生が渡日した11月下旬からは全員合同で9コマの同期授業を行った。

② 時間割

第54期・第55期 日本語集中コースIJ300 クラス時間割（令和3年度）

第54期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20		漢字と語彙 漢字系JK302		漢字と語彙 非漢字系JK301	
2時間目 10:30-12:00		コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	
12:00-13:00 昼休み					
3時間目 13:00-14:30	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	チュートリアル

※漢字と語彙：JK301は、母国で漢字を使用しない学生のための授業。JK302は、母国で漢字を使用する学生のための授業。

第55期（10月～11月中旬まで 南米グループ）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20		コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	漢字と語彙 非漢字系JK301	
2時間目 10:30-12:00				コミュニケーション 行動	
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動		課題実施による 非同期授業	課題実施による 非同期授業	チュートリアル
4時間目 15:10-16:40		課題実施による 非同期授業			

第55期（10月～11月中旬まで アジア・ヨーロッパグループ）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20		課題実施による 非同期授業	課題実施による 非同期授業	漢字と語彙 非漢字系JK301	
2時間目 10:30-12:00				コミュニケーション 行動	
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動		コミュニケーション 行動	課題実施による 非同期授業	チュートリアル
4時間目 15:10-16:40		コミュニケーション 行動			

第55期（11月後半～ グループ合同・オンライン）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時間目 8:50-10:20				漢字と語彙 非漢字系JK301	
2時間目 10:30-12:00			コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	
12:00-13:30 昼休み					
3時間目 13:30-15:00	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	コミュニケーション 行動	チュートリアル
4時間目 15:10-16:40		コミュニケーション 行動			

○コーディネータ

村岡貴子（全体・IJ200クラス）、西村謙一（IJ300クラス）、西口光一（IJ100クラス）

○学生数と身分別内訳

クラス別人数

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第54期	5	7	4	16
第55期	19	9	6	34
合計	24	16	10	50

身分別人数

	大使館推薦※1	教員研修※2	学内応募※3	計
第54期	4	0	12	16
第55期	29	5	—	34
合計	33	5	12	50

※1 大使館推薦クラス別内訳

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第54期	1	2	1	4
第55期	14	9	6	29
合計	15	11	7	33

※2 教員研修クラス別内訳

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第54期	0	0	0	0
第55期	5	0	0	0
合計	5	0	0	5

※3 学内応募クラス別内訳

	IJ100	IJ200	IJ300	計
第54期	4	5	3	12
第55期	—	—	—	—
合計	4	5	3	12

教員研修生を除く、大使館推薦の配置（進学）先別内訳

	IJ100		IJ200		IJ300		計
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	
第54期	1	0	1	1	1	0	4
第55期	7	7	7	2	4	2	29
合計	8	7	8	3	5	2	33

○学生の出身国と配置（進学）先一覧

学生の出身国

国名	第54期	第55期
アゼルバイジャン		1
イラン	1	
インド	1	2
インドネシア	1	3
エジプト	1	
ガボン		1
クウェート		1
クロアチア		1
ケニア		2
コロンビア		1
シリア		1
スリランカ	1	
タイ	2	
タンザニア		1
チュニジア		2
ドイツ		1
ドミニカ共和国	1	
ナイジェリア		1
ハイチ		1
ハンガリー	1	1
フィジー		1
フィリピン	1	4
ブラジル	1	2
ベトナム		1
マレーシア		2
メキシコ		1
モンゴル		1
英国		1
中華人民共和国	5	
南アフリカ		1
合計	16	34

配置（進学）先一覧

配置（進学）先	第54期	第55期
医学系研究科	2	2
医学系研究科保健学専攻		
基礎工学研究科		2
薬学研究科	1	
経済学研究科		1
言語文化研究科（言語社会専攻）	1	
工学研究科	4	2
国際公共政策研究科		3
歯学研究科	1	
情報科学研究科	3	4
微生物病研究所		2
理学研究科	2	1
レーザー科学研究所		
産業化学研究所		
連合小児発達学研究科		
人間科学研究科		1
蛋白質研究所	1	
奈良先端科学技術大学	1	9
大阪教育大学		5
大阪府立大学		1
大阪市立大学		1
合計	16	34

2. 留学生日本語選択コース

選択コースの主要な履修対象留学生は、全学の大学院生および大学院入学を希望する研究生である。これらの留学生の中には、研究活動の遂行に必要となるアカデミックな日本語能力の養成を必要とする者もいれば、研究活動や大学院入試は英語で行われるが、研究室等での日常的なコミュニケーションに日本語を必要とする者もいる。そのため、日本語を用いて論文の執筆やプレゼンテーション、口頭コミュニケーションなどの研究活動をするための「専門日本語」科目に力点を置くとともに、その基礎となる「一般日本語」科目として総合日本語科目や漢字と語彙科目を開講し、学内の留学生の幅広い日本語学習ニーズに対応している。受講希望者は本センターが開発した日本語レベルチェックをウェブ上で受け、各自の日本語学習ニーズと日本語学習に充当可能な時間等を勘案し、該当日本語レベル（入門 100 レベルから超上級 700 レベルまでの 7 レベル）の科目群の中から、必要な科目を週当たり 1～数科目選択できるように設定されている。

○開講科目

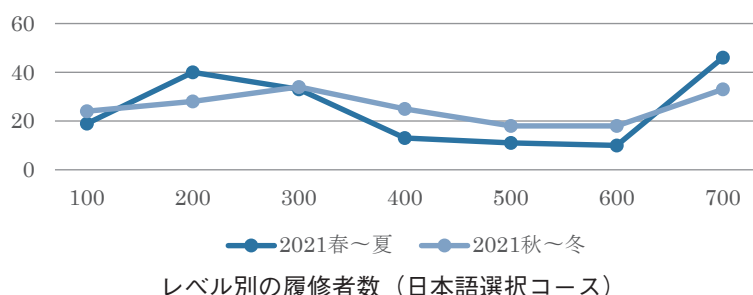
	総合日本語 (JB)	漢字と語彙 (JK)	アカデミックリーディング	アカデミックライティング	アカデミックコミュニケーション	ビジネス日本語コミュニケーション
100 (入門)	JB100					
200 (初級)	JB200	JK201 (非漢字系) もしくはJK202				
300 (初中級)	JB300	JK301 (非漢字系) もしくはJK302				
400 (中級)				JW400/500	JC400/500	
500 (中上級)						
600 (上級)			JR600/700	JW600/700	JC600/700	BJ500/600/700
700 (超上級)						

○履修登録者数

実数で春～夏学期 172 名、秋～冬学期は 180 名の計 352 名が選択コースを履修した。身分別内訳では、研究生が 2020 年度 85 名から 2021 年度 66 名と減少した一方で、大学院生の履修者は 188 名から 204 名に増加している。COVID-19 の影響で研究生の受入がまだ困難であるのに対し、大学院生については、コロナ前の 2019 年度（157 名）と比べても増加しており、授業のオンライン化によって移動の負担が少なくなったことで、新たなニーズを掘り起こしている部分があると考えられる。部局別では、工学研究科（春～夏学期 39 名、秋～冬学期 45 名）を筆頭に、14 研究科／学部および 6 研究所 1 センター（巻末に一覧）と、学内の日本語学習ニーズに広く応えている。

○履修者のレベル分布

年間を通じ、初級～初中級（レベル 200～300）および超上級（レベル 700）の履修者が多かった。



3. 全学共通教育

全学共通教育における日本語関係科目は、他の外国語科目と同様、2018年度以降、「第2外国語」と「グローバル理解」の科目として開講されている。学部留学生の多様なバックグラウンドやニーズを勘案した結果、科目構成は「総合日本語」「専門日本語」「多文化コミュニケーション（日本語）」の三本立てとし、前二者を「第2外国語」として、後者を「グローバル理解」として履修する位置づけとしている。「総合日本語」では大学生活全般に役立つ日本語能力を総合的に身につけることを目指し、「専門日本語」ではより専門的な日本語能力を養成することを目指す。また、「多文化コミュニケーション（日本語）」は、留学生と一般学生が協働してプロジェクトワークに取り組むことによって、多文化間における実践的なコミュニケーション能力を養成することを目的としている。科目の設定にあたっては、各科目の性格を明確にし、学生が自分のレベルやニーズに応じて履修する科目を組み合わせることのできる柔軟性を持たせることに意を用いた。

2014年度後期（現：秋～冬学期）からは緩やかな定員制を導入し、語学教育／多文化教育として適切なクラスサイズが実現できるようにした。2016年度・2018年度・2020年度には、それまで増やしてきたコマを整理し直し、学生の受講機会の維持に配慮しつつ、受講者の少なかった授業をそれぞれ2コマ・1コマ・1コマ削減した。

以上の留学生向け科目以外に、一般学生が受講する「学問への扉（マチカネゼミ）」「アドヴァンストセミナー」（いずれも「多文化コミュニケーション（日本語）」と合同開講）を加え、2021年度には計22コマ（実質15コマ）を提供した。

なお、日本語関係科目は、他の外国語関係科目と同様、2018年度に発足したマルチリンガル教育センターが所管することとなり、授業担当者全員が当該センターの兼任教員となっている。うち1名が運営に携わった。

○マルチリンガル教育センター兼任教員

有川 友子 教授	村岡 貴子 教授	義永 美央子 教授
難波 康治 准教授	西村 謙一 准教授	石倉 佑季子 准教授
岡本 紗知 准教授	福良 直子 講師	
大谷 晋也 准教授	（マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会委員）	

○提供科目とコマ数

(1) 第2外国語

- 総合日本語（1単位：春～夏学期2コマ・秋～冬学期1コマ計3コマ提供）
大学生活全般に役立つ総合的な日本語能力の養成を目的とする。
- 専門日本語（1単位：春～夏学期2コマ・秋～冬学期3コマ計5コマ提供）
各自の専門を学習・研究する際に役立つ日本語能力の養成を目的とする。

(2) 国際教養 2

- 多文化コミュニケーション (日本語)

(2単位：春～夏学期 4コマ・秋～冬学期 3コマ計 7コマ提供)

下記(3)のセミナー科目を受講する一般学生と、本科目を受講する留学生とが、協働してプロジェクトワークを実践する活動を通じ、多文化社会でのコミュニケーション能力の向上を目指す。

(3) 学問への扉 (マチカネゼミ) (春～夏学期)・アドヴァンストセミナー (秋～冬学期)

- 多文化コミュニケーションセミナー

(2単位：春～夏学期 4コマ・秋～冬学期 3コマ計 7コマ提供)

上記(2)の「多文化コミュニケーション (日本語)」と合同で開講。

○ 共通教育提供科目・担当者一覧

春～夏学期

秋～冬学期

(1) 第2外国語

授業科目名	担当者
総合日本語	福良 直子
総合日本語	難波 康治
専門日本語	義永美央子
専門日本語	難波 康治

授業科目名	担当者
総合日本語	福良 直子
専門日本語	難波 康治
専門日本語	義永美央子
専門日本語	村岡 貴子

(2) 国際教養 2

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーション (日本語)	岡本 紗知
多文化コミュニケーション (日本語)	西村 謙一
多文化コミュニケーション (日本語)	大谷 晋也
多文化コミュニケーション (日本語)	有川 友子

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーション (日本語)	岡本 紗知
多文化コミュニケーション (日本語)	西村 謙一
多文化コミュニケーション (日本語)	大谷 晋也

(3) 学問への扉 (マチカネゼミ)

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーションセミナー	岡本 紗知
多文化コミュニケーションセミナー	西村 謙一
多文化コミュニケーションセミナー	大谷 晋也
多文化コミュニケーションセミナー	有川 友子

アドヴァンストセミナー

授業科目名	担当者
多文化コミュニケーションセミナー	岡本 紗知
多文化コミュニケーションセミナー	西村 謙一
多文化コミュニケーションセミナー	大谷 晋也

4. 国際交流科目

本学では、英語（もしくはその他の外国語）で実施する正規科目として国際交流科目を提供している。国際教育交流センターでは、同科目の枠組みで、短期留学生や大学院生を主な対象とする日本語科目（JA）およびグローバル理解演習科目（JGU）を提供している。これらの授業は、インターナショナルカレッジ（英語コース）学生のための共通教育日本語科目との同時開講の形で実施している。JAの各クラスでは、90分の授業が週に3コマ提供され、話す・聞く・読む・書くの各技能が総合的に習得できるようなカリキュラムを編成し、100（入門）から400（中級）の4レベルで各2トラック（秋～冬学期のJA100は3トラック）を開講した。トラック1は主としてiExPO、Frontier-Lab@ OsakaU等の短期留学生および大学院生、トラック2は主としてOUSSEP学生が受講している。どのレベルでも常勤教員が担当する授業（lecture）は複数トラックの合同クラスとして開講し、トラック間の交流を図るとともに、限られた人員・予算の中で学生数の増加に対応するよう努めている。また500レベル・600レベルの授業は内容・言語統合型学習（CLIL）を取り入れた「グローバル理解演習（JGU500・600）」という名称で実施している。

○提供科目と担当者一覧

春～夏学期		秋～冬学期	
授業科目名	担当者	授業科目名	担当者
JA100 トラック1	難波康治・岡田亜矢子・蔭山 拓	JA100 トラック1	難波康治・岡田亜矢子・蔭山 拓
JA100 トラック2	難波康治・花井理香	JA100 トラック2	難波康治・花井理香
JA200 トラック1	福良直子・上仲 淳・矢部正人	JA100 トラック3	難波康治・住吉秀紀
JA200 トラック2	福良直子・半田佳奈子	JA200 トラック1	福良直子・上仲 淳・矢部正人
JA300 トラック1	西口光一・住吉秀紀・上田安希子	JA200 トラック2	福良直子・半田佳奈子
JA300 トラック2	西口光一・岡崎洋三	JA300 トラック1	西口光一・住吉秀紀・上田安希子
JA400 トラック1	義永美央子・菅 摂子・岡崎洋三	JA300 トラック2	西口光一・上田安希子・岡崎洋三
JA400 トラック2	義永美央子・矢部正人・小原俊彦	JA400 トラック1	義永美央子・菅 摂子・岡崎洋三
JGU500-d	藤澤好恵	JA400 トラック2	義永美央子・矢部正人
JGU500-e	大谷晋也	JGU500-a	大谷晋也
JGU500-f	韓 喜善	JGU500-b	藤澤好恵
JGU600-d	大谷晋也	JGU500-c	伊藤 創
JGU600-e	矢部正人	JGU600-a	岡崎洋三
JGU600-f	伊藤 創	JGU600-b	大谷晋也
		JGU600-c	小原俊彦

5. 学際融合教育科目

本学の大学院教育では、研究科等の枠にとらわれない、複眼的視野を養うための教育の充実を目指す学際融合教育科目が提供されている。大学院に在籍する留学生の増加に伴い、研究活動の遂行のために必要なアカデミックな日本語能力の必要性が高まっているが、本センターではこのようなニーズに対応するため、「上級専門日本語・アカデミックリーディングA・B」「上級専門日本語・アカデミックライティングA・B」「上級専門日本語・アカデミックコミュニケーションA・B」の3科目を学際融合教育科目として提供している。さらに、大学院修了後のキャリア形成を念頭に置いた「キャリアデザインとビジネスコミュニケーション」（春～夏学期）や、自律的な言語学習およびその支援をテーマとする「第二言語学習方法論」（春～夏学期）・「言語学習アドバイジング入門」（秋～冬学期）も開講している。各科目を履修し、所定の評価を得た受講生は1科目あたり2単位を取得することができる。これらの科目では、理系・文系を問わず、さまざまな国・地域からの留学生が集まる環境を生かし、言語・文化や専門分野を超えた対話や学びの場を提供するように努めている。学期ごとの開講科目名および担当者は下記の通りである。

○学際融合教育科目・担当者一覧

春～夏学期

授業科目名	担当者
上級専門日本語 (アカデミック・リーディング) A	西村 謙一
上級専門日本語 (アカデミック・ライティング) A	村岡 貴子
上級専門日本語 (アカデミック・コミュニケーション) A	瀬井 陽子
キャリアデザインと ビジネスコミュニケーション	魚崎 典子 韓 喜善
第二言語学習方法論	義永美央子

秋～冬学期

授業科目名	担当者
上級専門日本語 (アカデミック・リーディング) B	西村 謙一
上級専門日本語 (アカデミック・ライティング) B	村岡 貴子
上級専門日本語 (アカデミック・コミュニケーション) B	瀬井 陽子
言語学習アドバイジング入門	義永美央子

6. その他

(a) OUマルチリンガルプラザ

令和2年度に開設されたOUマルチリンガルプラザにおける課外の自律的な日本語学習のサポートが2年目を迎えた。令和2年度は、アドバイザーによる言語学習アドバイジング、会話練習パートナーとの会話練習、レポート等の日本語の文章について相談する「日本語よろず相談窓口」を実施した。これらの利用者の声を踏まえ、令和3年度はワークショップ、チュータリング、TAによる交流イベントなどの種類を増やし以下のサポートを行った。令和3年度は対面での活動を予定し4月12日(月)に開室するも、緊急事態宣言発令の方針が示され4月15日(木)に閉室。それ以降、全ての活動をオンライン(Zoom)で行った。

【概要】

(1) 日本語学習アドバイジング

日本語の学習方法、学習教材、進め方などについて学習目標・目的に合わせた日本語学習アドバイザーによるセッション。1回40分。

(2) 会話練習パートナーとのセッション

会話練習パートナーであるTAと20分間、1対1で会話練習を行う。文法などを勉強するためというよりは、会話に慣れることを主目的としている。

(3) 言語学習ポートフォリオを使ったワークショップ

「大阪大学言語学習ポートフォリオ」を使い、日本語学習アドバイザー、日本語を学ぶ仲間との活動を通して、自己主導型を進めるワークショップ。隔週で開催。

(4) 日本語チュータリング

令和2年度「日本語よろず相談窓口」として実施した事業の名称を変えたものである。大学院生がよりよい日本語の文章(レポート、論文、原稿などが対象)を書くためにサポートする30分のセッション。

(5) TAによる日本語交流オンラインイベント

TA(ティーチングアシスタント)が企画するオンラインの交流イベント。敬語の学習方法などについて、日本語でディスカッションなどを行う。



写真1 TAミーティングの様子
※撮影時以外はマスク着用



写真2 会話練習の様子

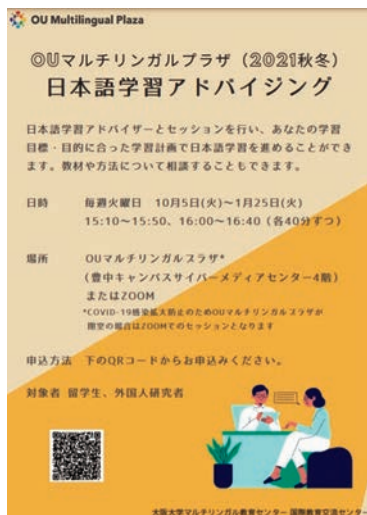


写真3 参加者募集ポスター (日本語学習アドバイジング)

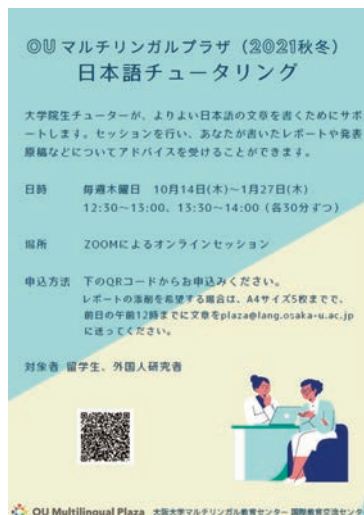


写真4 参加者募集ポスター (日本語チュータリング)



写真5 参加者募集ポスター (TAによる交流イベント)



写真6 ワークショップの 슬라이ド

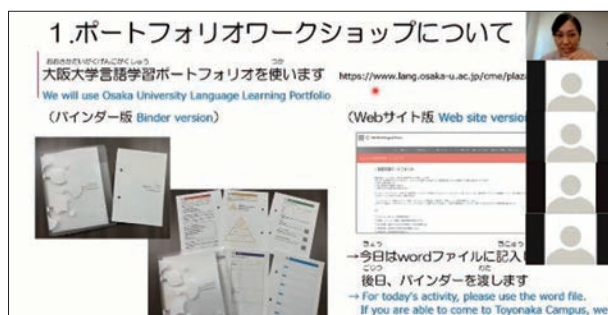
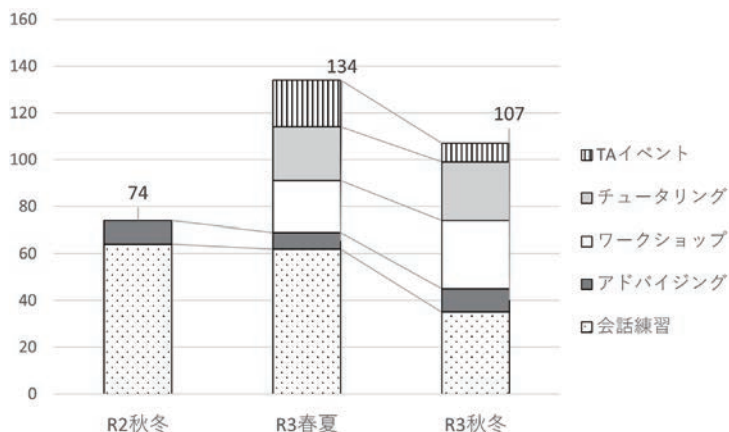


写真7 ワークショップの様子

【利用者数】

それぞれのサービスの利用者数は、図1の通りである。オープンした令和2年度の利用者数は74名であったが、令和3年度の春夏学期には134名に増加している。その一方で、秋冬学期には107名の利用に留まったが、体調不良による会話練習のキャンセルが相次いだことから、COVID-19の影響を受けた可能性があると言える。いずれのサービスも、参加者からは来学期も参加したいとの声があった。



【図1】利用者数の推移

	会話練習	アドバイジング	ワークショップ	チュータリング	TA イベント	合計
R2 秋冬	64	10	—	—	—	74
R3 春夏	62	7	22	23	20	134
R3 秋冬	35	10	29	25	8	107

(b) OU日本語ひろば

日本語を学ぶ学生が、学習について相談したり交流したりする場所である「OUマルチリンガルプラザ」とともに、ウェブサイトという形で日本語学習を支援するのが「OU日本語ひろば」である。ウェブサイトの構成は「日本語の授業を受けたい」「仲間と学びたい」「教材や学習方法を知りたい」の3部となっており、令和2（2020）年度から日本語、英語、中国語の3言語に対応している。日本語学習に関する情報発信の役割を担い、学内・学外の日本語教室の紹介、学習リソースや学習方法の紹介を行っている。

令和3（2021）年度には、学習リソースや学習方法の紹介として、学習コラムと学習者のための教材を掲載した。学習コラムは15種類あり、本センターの教員に加えて、言語教育を専門とする大学院生や日本語学習に取り組む留学生が執筆している。教材には、日本語音声（発音）講座「教えて！日本語音声の正体」などがある。OUマルチリンガルプラザで実施している学習相談に活用され、利用者からはOU日本語ひろばで情報が一元化されていることにより、学習情報へのアクセスが容易になったとの声があった。



写真8 OU日本語ひろばトップページ



写真9 OU日本語ひろば教材記事

(c) 日本語特別演習

来日遅れなどで日本語の授業を履修できなかった留学生やさらに学びたいという留学生を対象に、日本語学習の機会を提供することを目的とし、「夏休み日本語特別演習」および「春休み日本語特別演習」を実施した。

実施期間は、「夏休み日本語特別演習」が2021年9月6日(月)～2021年9月14日(火)、「春休み日本語特別演習」が2022年3月7日(月)～2021年3月15日(火)であった。それぞれ土日を除く7日間で、1日1コマ（90分間）の演習を実施した。演習は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、オンライン（Zoom）で行った。初級クラスを上田安希子講師、中級クラスを住吉秀紀講師、上級クラスを矢部正人講師が担当した。

受講生は、「夏休み日本語特別演習」が25名（初級クラス4名、中級クラス11名、上級クラス10名）、「春休み日本語特別演習」が31名（初級クラス12名、中級クラス14名、上級クラス5名）であった。

終了後の学生アンケートでは、「このような機会があればまた参加したい」との声が数多く聞かれ、本演習に対する満足度が高かったことがうかがえる。

IV. 国際教養・専門複合型プログラム

国際教養・専門複合型プログラム（英語名OUSSEP）は、大阪大学短期留学特別プログラムとして運用を開始された1996年以来、国際交流委員会が管掌する本学の交換留学プログラムの中核として平成30年度は春学期に73名、秋学期には98名の交換留学生を受け入れた。G30によって非正規生を含めた留学生受入れに数値目標を設定する動きの中で、Junior Year Abroadタイプの留学生の受け皿として、学内におけるその役割はますます重くなっている。同時に、日本人学生と留学生が英語で専門科目（国際交流科目）を共に学ぶ状況を学内に作るための戦略プログラムとしての性格もある。なお国際交流科目の一部は「G30英語コース」の履修科目としても指定されており、様々な背景を持つ学生が一堂に集うカリキュラムを充実させている。

平成30年度も奨学金受給者を主対象としてUR都市機構と連携した宿舎を用意した。職制上変則的ではあるものの、プログラムコーディネータが管理会社の協力の下に運営しており、かつては8住戸16人を住まわせていた宿舎を、本年度は5住戸15人の三人シェア体制へ変更するなど、留学生受入スキームのインフラ整備など、全学プログラムの運営課制下合理化に向けての先導的な役割を引き続いて果たしている。

なお平成20年度以来、留学生センター所属のコーディネータおよびサブコーディネータの二人体制（教員1、職員1）で運用されているが、平成21年度のG30選定に伴い、サブコーディネータがG30特任職員となった。教員3（教授、准教授、特任助教）、職員2並びに事務補佐員3名から構成される「短期留学開発研究チーム」によって運営されている一プログラムという位置づけになっている。またOUSSEP向け英語授業担当者を対象としたFD研修会を各学期授業前に開催し、英語授業の質の向上やノウハウの継承に努めている。また平成30年度末には10年単位で集めてきた授業アンケートデータを分析に取りかかっており、より良い英語授業を学内で提供出来るよう、考察を進めている。

1. 行事

OUSSEPおよび国際交流科目関係の行事（2021年4月から2022年3月まで）

月	日	曜日	行 事 等
4	6	火	総合オリエンテーション
	7	水	OUSSEPオリエンテーション
	9	金	国際交流科目（2021年度春・夏学期）開始
	12-16	月-金	学生定期健康診断（豊中キャンパス）
	15	木	国際交流科目（2021年度春・夏学期）履修届 / インターンシップ履修届 / レギュラークラス 提出締め切り
	23	金	自主研究履修届 提出締め切り
	20-28	火-水	学生定期健康診断（吹田キャンパス）
7	5	月	日本食文化調理体験（宇治金時）（中止）
	18	日	高野山バーチャル研修旅行
	26	月	フェアウェルパーティ（中止）
8	10	火	国際交流科目（2021年度春・夏学期）終了
	11	水	夏季休業開始 終了学生随時帰国
9	27	月	OUSSEPオリエンテーション
	28	火	総合オリエンテーション
10	1	金	国際交流科目（2021年度秋冬学期）開始
	7	木	国際交流科目（2021年度秋冬学期）履修届 / インターンシップ履修届 / レギュラークラス 提出締め切り
	12-14	火-木	秋季学生定期健康診断（各キャンパス）
	21	木	自主研究履修届 提出締め切り 国際交流科目（2021年度秋冬学期）履修登録変更届提出締め切り
12	6	月	日本食文化調理体験（お好み焼き）（中止）
	19	日	広島バーチャル研修旅行
1	31	月	フェアウェルパーティ（中止）
2	7	月	国際交流科目（2021年度秋冬学期）終了
	8	火	春季休業開始 終了学生随時帰国

※上記以外にプログラムでの行事が入ることがあります。

2. 2021 年度春夏学期：OUSSEP 学生名簿と国際交流科目開講リスト

2021 年度春夏学期 OUSSEP 学生名簿

No.	国籍/地域	出身校名	所属名
1	インドネシア	アイルランガ大学	工学部
2	インドネシア	アイルランガ大学	法学部
3	インドネシア	アイルランガ大学	人間科学部
4	インドネシア	アイルランガ大学	人間科学部
5	インドネシア	ガジャマダ大学	人間科学部
6	インドネシア	バンドン工科大学	経済学部
7	韓国	中央大学校	人間科学部
8	韓国	釜山大学校	人間科学部
9	スペイン	マドリード自治大学	外国語学部
10	スペイン	マドリード自治大学	外国語学部
11	スペイン	マドリード自治大学	外国語学部
12	スペイン	マドリード自治大学	外国語学部
13	スロバキア	コペンハーゲン大学	情報科学研究科
14	タイ	チェンマイ大学	外国語学部
15	ドイツ	アウクスブルク大学	外国語学部
16	ドイツ	カールスルーエ工科大学	経済学研究科
17	ドイツ	ベルリン工科大学	経済学研究科
18	ドイツ	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	理学研究科
19	ドイツ	ミュンヘンルートヴィヒ・マクシミリアン大学	経済学研究科
20	ドイツ	ミュンヘン工科大学	理学研究科
21	ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン	文学研究科
22	ドイツ	ルール・ボーフム大学	人間科学研究科
23	ハンガリー	リーズ大学	人間科学部
24	フィンランド	オーボアカデミー大学	経済学研究科
25	フィンランド	オーボアカデミー大学	経済学研究科
26	フィンランド	ヘルシンキ大学	文学部
27	フィンランド	ユヴァスキュラ大学 (数・理学部)	理学部
28	フランス	グルノーブル大学連合	外国語学部
29	フランス	グルノーブル大学連合	人間科学部
30	フランス	ストラスブール大学	人間科学部
31	フランス	ストラスブール大学	人間科学部
32	フランス	リール政治学院	外国語学部
33	フランス	リール政治学院	外国語学部
34	ペルー	ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学	経済学部
35	英国	ダーラム大学	外国語学部
36	台湾	ストラスブール大学	外国語学部
37	台湾	国立台湾大学	経済学部
38	中国	グルノーブル大学連合	外国語学部

2021 年度春夏学期 国際交流科目開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	芸術を通して脳科学を学ぼう	Art and Neuroscience	文学研究科	好井 千代
2	文化人類学入門	Introduction to Cultural Anthropology	人間科学研究科	Mohacsi Gergely
3	ジェンダー論	Gender Studies	人間科学研究科	Paola Cavaliere
4	知覚と認知の心理学	Psychology of Perception and Cognition	人間科学研究科	森川 和則
5	人間科学特殊講義Ⅳ (シティズンシップと多文化共生)	Special Topic in Human Sciences Ⅳ (Identity, Nationality and Citizenship)	人間科学研究科	北山 夕華
6	多文化共生論	Seminar in Studies of Multicultural Societies	人間科学研究科	Viktoriya Kim
7	日本法の諸問題	Topics in Japanese Law	法学研究科	Elbalti Beligh
8	比較法の諸問題	Topics in Comparative Law	法学研究科	Elbalti Beligh
9	身の回りの高分子	Polymers in Daily Life and Science	理学研究科	山口 浩靖
10	我が国の保健サービスと医療ケア	Health Service and Medical Care in Japan	医学研究科	磯 博康
11	情報通信技術:ICT	Information and Communcation Technology	工学研究科	井上 恭
12	経済開発論	Economic Development	国際公共政策研究科	大槻 恒裕
13	近代日本文学における大阪	Osaka in Modern Japanese Literature	言語文化研究科	村上スミス・ アンドリュース
14	異文化理解演習	Seminar Course for Intercultural Understanding	外国語学部	筒井 佐代
15	総合日本語JA100-トラック1	Japanese JA100 - Track 1	国際教育交流センター	難波 康治
16	総合日本語JA100-トラック2	Japanese JA100 - Track 2		
17	総合日本語JA200-トラック1	Japanese JA200 - Track 1	国際教育交流センター	福良 直子
18	総合日本語JA200-トラック2	Japanese JA200 - Track 2		
19	総合日本語JA300-トラック1	Japanese JA300 - Track 1	国際教育交流センター	西口 光一
20	総合日本語JA300-トラック2	Japanese JA300 - Track 2		
21	総合日本語JA400-トラック1	Japanese JA400 - Track 1	国際教育交流センター	義永 美央子
22	総合日本語JA400-トラック2	Japanese JA400 - Track 2		
23	日本語・グローバル理解演習 JGU500d	Seminar in Japanese and Global Under- standing JGU500d	国際教育交流センター	藤澤 好恵
24	日本語・グローバル理解演習 JGU500e	Seminar in Japanese and Global Under- standing JGU500e		大谷 晋也
25	日本語・グローバル理解演習 JGU500f	Seminar in Japanese and Global Under- standing JGU500f	国際教育交流センター	韓 喜善
26	日本語・グローバル理解演習 JGU600d	Seminar in Japanese and Global Under- standing JGU600d	国際教育交流センター	大谷 晋也
27	日本語・グローバル理解演習 JGU600e	Seminar in Japanese and Global Under- standing JGU600e	国際教育交流センター	矢部 正人
28	日本語・グローバル理解演習 JGU600f	Seminar in Japanese and Global Under- standing JGU600f	国際教育交流センター	伊藤 創
29	科学英語入門	Introduction to Scientific English	国際教育交流センター	岡本 紗知
30	オンライン・リソースを活用したL2学習	Second Language Learning with Online Resources	国際教育交流センター	魚崎 典子
31	異文化コミュニケーションとパフォーマンス	Intercultural Communication and Performance	国際教育交流センター	中野 遼子
32	日本の社会とイデオロギー	Japan: Society and Ideology	国際教育交流センター	近藤 佐知彦
33	イノベーションの管理と変遷	Managing Innovation and Change	国際教育交流センター	近藤 佐知彦/ 三森 八重子
34	UC Frontier Science I	UC Frontier Science I	大阪大学とカリフォルニア 大学との学術交流推進室	John Hampton INO
35	自主研究A 自主研究B 自主研究C	Independent Study A Independent Study B Independent Study C		各自主研究担当教員

2021 年度春夏学期 国際交流特別講義開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	薬品製造化学特別講義	Advanced Topics in Synthetic Medicinal Chemistry	薬学研究科	赤井 周司
2	量子シミュレーション特論 I	Topics in Quantum Simulations I	工学研究科	森川 良忠
3	量子シミュレーション特論 II	Topics in Quantum Simulations II	工学研究科	森川 良忠
4	超音波工学	Ultrasonic Engineering	工学研究科	萩 博次
5	国際ナノ理工学特論B	Nanoscience and Nanoengineering B	基礎工学研究科	竹田 精治
6	国際ナノ理工学特論C	Nanoscience and Nanoengineering C	基礎工学研究科	竹田 精治
7	知能と学習	Intelligence and Learning	情報科学研究科	沼尾 正行
8	システムインタフェース設計論	System Interface Design	情報科学研究科	竹村 治雄
9	バイオ情報工学入門	Introduction to Bioinformatic Engineering	情報科学研究科	全教員

3. 2021 年度秋冬学期 : OUSSEP 学生名簿と国際交流科目開講リスト

2021 年度秋冬学期 OUSSEP 学生名簿

No.	国籍 / 地域	出身校名	所属名
1	アルゼンチン	マドリード自治大学	人間科学部
2	インドネシア	ガジャマダ大学	人間科学部
3	オーストリア	ミュンヘンルートウヴィヒ・マクシミリアン大学	基礎工学部
4	オーストリア	ウィーン大学	外国語学部
5	オランダ	グローニンゲン大学	理学部
6	シンガポール	ダーラム大学	法学部
7	台湾	国立成功大学	情報科学研究科
8	台湾	国立成功大学	工学研究科
9	デンマーク	コペンハーゲン大学	人間科学研究科
10	デンマーク	コペンハーゲン大学	人間科学部
11	デンマーク	コペンハーゲン大学	国際公共政策研究科
12	デンマーク	南デンマーク大学	工学研究科
13	デンマーク	南デンマーク大学	外国語学部
14	ドイツ	アーヘン工科大学	基礎工学部
15	ドイツ	アーヘン工科大学	理学部
16	ドイツ	アーヘン工科大学	国際公共政策研究科
17	ドイツ	アーヘン工科大学	工学研究科
18	ドイツ	ウィーン大学	経済学研究科
19	ドイツ	ゲッティンゲン大学	人間科学研究科
20	ドイツ	ハイデルベルク大学	理学部
21	ドイツ	ハイデルベルク大学	理学研究科
22	ドイツ	ハイデルベルク大学	人間科学部
23	ドイツ	ビーレフェルト大学	外国語学部
24	ドイツ	ミュンヘン工科大学	経済学研究科
25	フィンランド	オーボアカデミー大学	情報科学研究科
26	フィンランド	オーボアカデミー大学	工学研究科
27	フィンランド	オーボアカデミー大学	経済学研究科
28	フィンランド	ユヴァスキュラ大学 (数・理学部)	理学研究科
29	ブラジル	カンピーナス大学	工学部
30	フランス	リール政治学院	外国語学部
31	フランス	リール政治学院	外国語学部
32	フランス	ストラスブール大学	外国語学部
33	フランス	ストラスブール大学	外国語学部
34	フランス	ストラスブール大学	外国語学部
35	ブルガリア	ミュンヘン工科大学	工学研究科
36	ベトナム	ベルリン工科大学	基礎工学部
37	ペルー	ローマ教皇庁立ペルー・カトリック大学	基礎工学部
38	英国	リーズ大学	外国語学部
39	英国	リーズ大学	外国語学部
40	英国	リーズ大学	外国語学部
41	英国	リーズ大学	外国語学部
42	韓国	中央大学校	人間科学部
43	台湾	国立台湾大学 (工学院と電気情報学院)	工学研究科
44	中国	浙江大学	外国語学部
45	中国	復旦大学	理学部
46	中国	復旦大学	外国語学部
47	中国	浙江大学	経済学部
48	日本	ダーラム大学	理学研究科

2021 年度秋冬学期 国際交流科目開講リスト

No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	歴史学と史資料	History and historical sources	文学研究科	中谷 惣
2	社会学	Sociological Theory	人間科学部	Christian Etzrodt
3	多変量統計科学	Multivariate Statistical Science	人間科学部	足立 浩平
4	移動の社会学	Sociology of Migration	人間科学部	Viktoriya Kim
5	日本における多様性と人権	Diversity and Human Rights in Japan	人間科学部	北山 夕華
6	メディア社会学	Media Sociology	人間科学部	Viktoriya Kim
7	日本のサル学	Primateology in Japan	人間科学部	James Anderson
8	異文化理解演習	Seminar Course for Intercultural Understanding	外国語学部	筒井 佐代
9	日本法の諸問題	Topics in Japanese Law	法学研究科	Elbalti Beligh
10	比較法の諸問題	Topics in Comparative Law	法学研究科	Elbalti Beligh
11	特別講義 (比較契約法・不法行為法の諸問題)	Special lecture (Topics in Comparative Contract and Torts Law)	法学研究科	Leonardo Ciano
12	戦略とイノベーションの歴史	History of Strategy and Innovation	経済学研究科	Xia Chenxiao
13	宇宙地球科学への招待	Introduction to Earth and Space Science	理学研究科	松本 浩典
14	応用理工学入門	Introduction of Mechanical, Materials and Manufacturing Science	工学研究科	大畑 充
15	精密科学入門	Introduction to Precision Science and Technology	工学研究科	萩 博次
16	国際理解入門	Introduction to International Understanding	工学研究科	藤田 清士
17	生体医工学への招待	Introduction to biomedical engineering	基礎工学研究科	清野 健
18	近代・現代日本文学	Japanese Literature, Modern and Contemporary	言語文化研究科 (豊中)	村上スミス・ アンドリュウ
19	UC Frontier Science II	UC Frontier Science II	大阪大学とカリフォルニア 大学との学術交流推進室	John Hampton INO
20	科学と社会	Science and Society	国際教育交流センター	岡本 紗知
21	異文化コミュニケーション入門	Introduction to Intercultural Communication	国際教育交流センター	石倉 佑季子
22	言語コミュニケーションとパフォーマンス	Language Communication and Performance	国際教育交流センター	中野 遼子
23	文化：その理解へのアプローチ	Approaches to Understanding Cultures	国際教育交流センター	有川 友子
24	コンピュータを活用した語学学習	Computers in Language Learning	国際教育交流センター	魚崎 典子
25	日本のメディアとコミュニケーション	Media and Communications in Japan	国際教育交流センター	近藤 佐知彦
26	ソーシャルイノベーションと ソーシャルデザイン	Social Innovation and Social Design	国際教育交流センター	近藤 佐知彦/ 三森 八重子
27	総合日本語JA100-トラック 1	Japanese JA100 - Track 1	国際教育交流センター	難波 康治
28	総合日本語JA100-トラック 2	Japanese JA100 - Track 2		
29	総合日本語JA100-トラック 3	Japanese JA100 - Track 3		
30	総合日本語JA200-トラック 1	Japanese JA200 - Track 1	国際教育交流センター	福良 直子
31	総合日本語JA200-トラック 2	Japanese JA200 - Track 2		
32	総合日本語JA300-トラック 1	Japanese JA300 - Track 1	国際教育交流センター	西口 光一
33	総合日本語JA300-トラック 2	Japanese JA300 - Track 2		
34	総合日本語JA400-トラック 1	Japanese JA400 - Track 1	国際教育交流センター	義永 美央子
35	総合日本語JA400-トラック 2	Japanese JA400 - Track 2		
36	日本語・グローバル理解演習 JGU500a	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500a	国際教育交流センター	大谷 晋也
37	日本語・グローバル理解演習 JGU500b	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500b	国際教育交流センター	藤澤 好恵
38	日本語・グローバル理解演習 JGU500c	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU500c	国際教育交流センター	伊藤 創
39	日本語・グローバル理解演習 JGU600a	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600a	国際教育交流センター	岡崎 洋三
40	日本語・グローバル理解演習 JGU600b	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600b	国際教育交流センター	大谷 晋也
41	日本語・グローバル理解演習 JGU600c	Seminar in Japanese and Global Understanding JGU600c	国際教育交流センター	小原 俊彦
42	自主研究A 自主研究B 自主研究C	Independent StudyA Independent StudyB Independent StudyC		各自自主研究担当教員

2021 年度秋冬学期 国際交流特別講義開講リスト

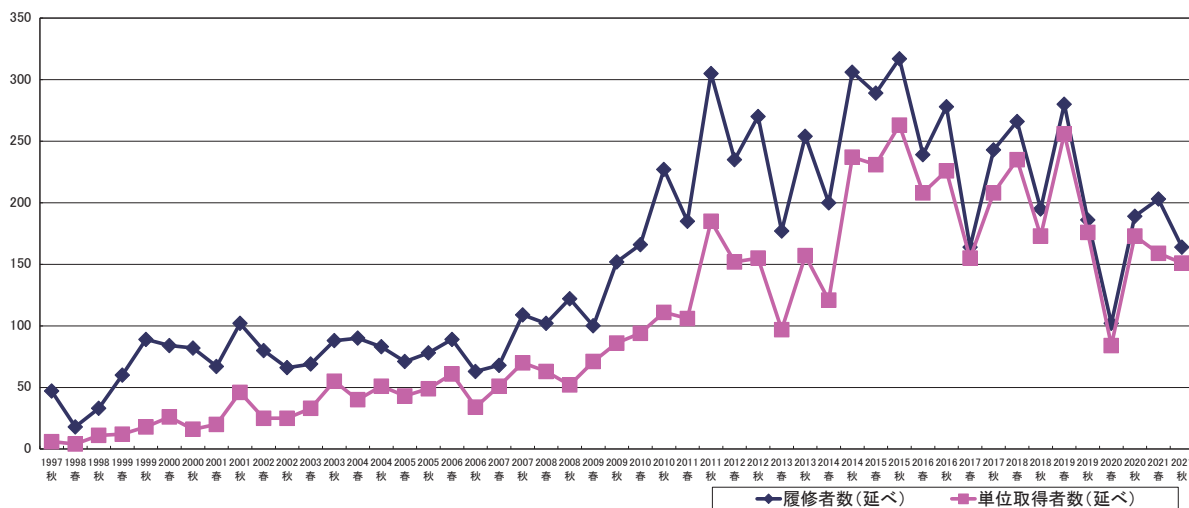
No.	科目名 (和文)	科目名 (英文)	科目提供部局	主担当教員名
1	医薬合成化学特別講義	Synthetic Organic Chemistry for Drug Development Special Lecture	薬学研究科	有澤 光弘
2	量子計測学	Quantum metrology	工学研究科	村田 勲
3	国際ナノ理工学特論 A	International Exchange Lecture on Nanoscience and Nanoengineering A	基礎工学研究科	竹田 精治
4	OUICP・ナノサイエンス・ナノテクノロジー	OUICP-Nanoscience and Nanotechnology	基礎工学研究科	伊藤 正
5	ナノ生体科学概論 I	Introduction to Nanobiology I	生命機能研究科	石島 秋彦
6	細胞ネットワーク概論 II	Introduction to Biomolecular Networks II	生命機能研究科	高島 成二
7	細胞ネットワーク概論 VI	Introduction to Biomolecular Networks VI	生命機能研究科	廣瀬 哲郎
8	時空生物学概論 IV	Introduction to Integrated Biology IV	生命機能研究科	吉森 保
9	生体ダイナミクス概論 III	Introduction to Biophysical Dynamics III	生命機能研究科	木村 真一

4. OUSSEP 学生以外の国際交流科目履修者数と単位取得者数

部局別：OUSSEP 学生以外の国際交流科目履修者数と単位取得者数

学部	文	人科	外	法	経済	理	医	歯	薬	工	基工	言語	国公	情報	生命	高司	計	G/R
2021 春	11 (10)	46 (39)	30 (26)	19 (17)	42 (21)	10 (9)	5 (4)	1 (1)	1 (1)	17 (14)	16 (12)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	203 (159)	0.78
2021 秋	1 (1)	38 (35)	30 (28)	22 (22)	37 (33)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	24 (22)	6 (4)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	164 (151)	0.92
2021 春・秋合計	12 (11)	84 (74)	60 (54)	41 (39)	79 (54)	13 (12)	6 (5)	1 (1)	1 (1)	41 (36)	22 (16)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	367 (310)	0.84
1996 春から 2021 秋の合計	511 (342)	732 (462)	1119 (684)	718 (452)	689 (468)	488 (318)	152 (75)	14 (9)	57 (33)	881 (517)	624 (409)	78 (61)	59 (41)	34 (25)	35 (19)	3 (1)	6194 (3916)	0.63

いずれも延べ数。() 内の数字は単位取得者数を表す。G/R は、履修者数に対する単位取得者数の割合を示す。



国際交流科目受講状況および単位取得状況の推移

5. 国際交流科目における授業の質保証の取り組み

近年の教育の国際化にともない英語での授業科目が増えている。国際交流科目は、本学の日本人学生や正規留学生などの一般学生と協定校からの交換留学生がともに英語でさまざまな授業を受講する科目であり、その数は年々増え、2021年度も、国際教育交流センターを含む全学のさまざまな部局から多様な授業が提供された。国際教育交流センターではカリキュラムの時間割調整や授業コーディネートをを行っている。

(1) FDオリエンテーション

英語による専門科目授業の質保証のため、当センターでは学期毎に授業担当教員およびTA（ティーチングアシスタント）を対象にFDオリエンテーションを実施している。2018年度から2019年度にかけて、全学教育推進機構教育学習支援部（TLSC）の佐藤浩章准教授のご支援・ご監修のもと、FD研修内容の改善に努め、「国際交流科目ティーチング・ティップス集」や「国際交流科目受講学生へのラーニング・ティップス集」の作成にも取り組んだ。また、本年度よりFDオリエンテーションは、新任教員研修プログラムとして認定され、新任教員の参加も増えつつある。

2020年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、FDオリエンテーションは、オンラインでの開催をしている。FDオリエンテーションでは、オンライン授業の実施を受け、授業評価アンケートの回答結果から、特に学生がオンラインの授業にどのような課題を抱えているのか、またどのような授業を望んでいるのかを共有し、今後の授業展開の展望をFDの参加者の教員及びTAと共に考えるような内容で実施した。

2021年度 春～夏学期 国際交流科目 担当教員・TA対象 FDオリエンテーション

- 2021年4月5日(月) オンラインによる実施 (ZOOM) 14:00～

〈プログラム〉

I. オリエンテーション

「通常の授業と国際交流科目はここが違う！」
(国際教育交流センター 教授 近藤 佐知彦)

II. FD研修

FD研修 (国際教育交流センター 准教授 石倉 佑季子)
「アンケートから見る学生の望む国際交流科目とは？」
～オンラインで国際交流科目を実施する秘訣～
*ご講演・ワークショップは日本語で行われます。

III. 授業実施に関わる情報交換会

2021年度 秋～冬学期 国際交流科目 担当教員・TA対象
FDオリエンテーション

● 2021年9月28日(火) オンラインによる実施 (ZOOM) 14:00～

〈プログラム〉

I. オリエンテーション

「通常の授業と国際交流科目はここが違う！」

(国際教育交流センター 教授 近藤 佐知彦)

II. FD研修

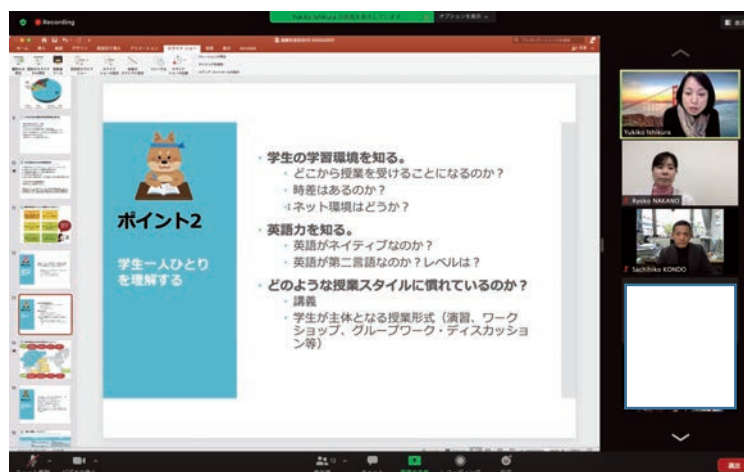
FD研修 (国際教育交流センター 准教授 石倉 佑季子)

「アンケートから見る学生の望む国際交流科目とは？」

～オンラインで国際交流科目を実施する秘訣～

*ご講演・ワークショップは日本語で行われます。

III. 授業実施に関わる情報交換会



オンラインFDオリエンテーションの様子

(2) 授業評価アンケートの実施とフィードバック

授業の質保証の取り組みとして、2019年度までは毎学期2回、2020年度からは教員の負担軽減のため毎学期1回、授業中に時間をとって受講生による授業評価アンケートを実施している。アンケートは集計して個別の授業の結果及び全体の集計結果を返送し、授業改善に役立てていただいている。詳しくは巻末資料編の資料5のアンケートのサンプルを参照いただきたい。また、2019年度秋冬学期からは、集計の簡略化や紙資源の削減を目的として、KOANによるオンラインアンケートを開始した。そして、2020年度以降は、大半の授業がオンライン形式となったため、オンライン授業に関する質問項目を追加し、さらに、同期型・非同期型授業用の「実施要項」も新たに作成し、対応した。

2021年7月5日

2021年度春夏学期国際交流科目担当教員 殿

国際教育交流センター長
有川 友子

「国際教養・専門複合型プログラム(OUSSEP)」に係る 国際交流科目の受講学生を対象とした「授業アンケート」の実施について(依頼)

標記「国際交流科目」につきまして、平素から御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。先生方にご開講頂いております国際交流科目は「大学の国際化」という大きな目標の中で、海外協定校等へ留学する学生にとって重要な準備過程の一環であり、また同時に（その交換留学派遣のために不可欠である）海外協定校からの交換留学生の受入れに大きく貢献している講義群であることから、その質の確保と共に本学の学生に対する効果検証が強く求められております。

このような趣旨に基づき、毎学期、受講学生を対象とした「授業アンケート」を実施しております。今回も貴重な授業時間を割いて頂くこととなり誠に恐縮ですがなにとぞご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。2019年度秋冬学期より、KOANによるオンラインアンケートを実施しており、具体的なアンケート実施方法の詳細につきましては、添付の「実施要項」をご参照ください。

なお本アンケートの結果は各科目（主）担当の先生へお送り申し上げます。授業の成果検証および授業設計の資料等としてご活用頂ければ幸いです。

また同結果は国際交流科目担当教員FDの企画等の参考にもさせて頂きたく、併せてよろしくお願ひ申し上げます。もちろん集計データ等から個々の科目や受講学生が特定されることの無いよう情報の取扱いにつきましては十分注意させて頂きます。

ご多忙のところ恐れ入ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

なおこの件に関し、ご質問のある方は以下までご連絡のほどよろしくお願い申し上げます。

国際教育交流センター 柏原 美佐緒
kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp
Tel : 06-6879-7128 (内線 7128)

2022年1月7日

2021年度秋冬学期国際交流科目担当教員 殿

国際教育交流センター長
有川 友子

「国際教養・専門複合型プログラム (OUSSEP)」に係る
国際交流科目の受講学生を対象とした「授業アンケート」の実施について (依頼)

標記「国際交流科目」につきまして、平素から御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。先生方にご開講頂いております国際交流科目は「大学の国際化」という大きな目標の中で、海外協定校等へ留学する学生にとって重要な準備過程の一環であり、また同時に（その交換留学派遣のために不可欠である）海外協定校からの交換留学生の受入れに大きく貢献している講義群であることから、その質の確保と共に本学の学生に対する効果検証が強く求められております。

このような趣旨に基づき、毎学期、受講学生を対象とした「授業アンケート」を実施しております。今回も貴重な授業時間を割いて頂くこととなり誠に恐縮ですがなにとぞご高配賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。授業アンケートは、KOANによるオンライン形式となっておりますので、具体的なアンケート実施方法の詳細につきましては、添付の「実施要項」をご参照ください。

なお本アンケートの結果は各科目（主）担当の先生へお送り申し上げます。授業の成果検証および授業設計の資料等としてご活用頂ければ幸いです。

また同結果は国際交流科目担当教員FDの企画等の参考にもさせて頂きたく、併せてよろしくお願ひ申し上げます。もちろん集計データ等から個々の科目や受講学生が特定されることの無いよう情報の取扱いにつきましては十分注意させて頂きます。

ご多忙のところ恐れ入ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なおこの件に関し、ご質問のある方は以下までご連絡のほどよろしくお願ひ申し上げます。

国際教育交流センター 柏原 美佐緒
kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp
Tel : 06-6879-7128 (内線 7128)

End of semester Evaluation Questionnaire manual (for instructors)

1. When

During class from July 12th (Mon) to August 9th (Mon), 2021.
(The time required: about 15 min)

2. Questionnaire

Please provide the following instruction to students to answer the questionnaire:

1. Log in to KOAN with a PC or a smart phone
2. Choose the Surveys tab and answer End of semester Evaluations Questionnaire (International Exchange Subjects) for this course.
3. Read the instruction before you answer the questionnaire
4. When finished answering, click Check Responses and Submit

*To instructors:

If you give in-person or synchronous online classes, please conduct the questionnaire during class.

If you give asynchronous online classes, please tell students to answer the questionnaire by the due date.

3. Remarks

- The survey results will be sent to the (representative) professor/instructor after tallying them up. We would really appreciate it if the results could be some help for reconfirming the contents and design of your class.
- Please note that the survey results may be used by the faculty to improve the academic program and teaching, and other research purposes in an anonymous form.

[Contact]

KASHIWABARA, Misao (Ms.)

E-mail: kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp

Phone: 06-6879-7128 (ext.7128)

期末アンケート実施要項

1. 日時

2021年 7月12日(月) ~ 8月9日 (月) の授業時間中 (所要時間：約15分)

2. 実施

1. 学生にパソコンかスマートフォンからKOANにログインさせてください。
2. KOANにログイン後、「Surveys」に進み、ご担当の授業科目の「End of semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects)」を回答するよう指示してください。
3. アンケート概要を良く読んでから回答を開始するようご指示ください。
4. 回答が終わったら、「Check Responses」→「Submit」で提出完了です。

- ※ 同期型の授業を実施されている先生は、授業中の実施をお願いいたします。
- ※ 非同期型の授業を実施されている先生は、期日までにアンケートを回答するよう指示をお願いいたします。

3. その他

- 回収したアンケート結果は集計後、先生方へ送付いたします。
授業の成果検証および授業設計の資料等としてご活用頂ければ幸いです。
- 同結果は、個別の科目名等が特定されないよう配慮した上で、FD等研修や教育研究目的に活用させていただく場合があります。予めご了承下さい。

【お問い合わせ先】

国際教育交流センター

短期プログラム開発研究チーム 柏原 美佐緒

メール: kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp

電話: 06-6879-7128 (内線: 吹田 7128)

End of semester Evaluation Questionnaire manual (for instructors)

1. When

During class from January 14th (Fri) to February 7th (Mon), 2022.
(The time required: about 15 min)

2. Questionnaire

Please provide the following instruction to students to answer the questionnaire:

1. Log in to KOAN with a PC or a smart phone
2. Choose the Surveys tab and answer End of semester Evaluations Questionnaire (International Exchange Subjects) for this course.
3. Read the instruction before you answer the questionnaire
4. When finished answering, click Check Responses and Submit

***To instructors:**

If you give in-person or synchronous online classes, please conduct the questionnaire during class.

If you give asynchronous online classes, please tell students to answer the questionnaire by the due date.

3. Remarks

- The survey results will be sent to the (representative) professor/instructor after tallying them up. We would really appreciate it if the results could be some help for reconfirming the contents and design of your class.
- Please note that the survey results may be used by the faculty to improve the academic program and teaching, and other research purposes in an anonymous form.

[Contact]

KASHIWABARA, Misao (Ms.)

E-mail: kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp

Phone: 06-6879-7128 (ext.7128)

期末アンケート実施要項

1. 日時

2022年 1月14日(金) ~ 2月 7日 (月) の授業時間中 (所要時間：約15分)

2. 実施

1. 学生にパソコンかスマートフォンからKOANにログインさせてください。
2. KOANにログイン後、「Surveys」に進み、ご担当の授業科目の「End of semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects)」を回答するよう指示してください。
3. アンケート概要を良く読んでから回答を開始するようご指示ください。
4. 回答が終わったら、「Check Responses」→「Submit」で提出完了です。

※ 対面/同期型の授業を実施されている先生は、授業中の実施をお願いいたします。

※ 非同期型の授業を実施されている先生は、期日までにアンケートを回答するよう指示をお願いいたします。

3. その他

- 回収したアンケート結果は集計後、先生方へ送付いたします。
授業の成果検証および授業設計の資料等としてご活用頂ければ幸いです。
- 同結果は、個別の科目名等が特定されないよう配慮した上で、FD等研修や教育研究目的に活用させていただく場合があります。予めご了承下さい。

【お問い合わせ先】

国際教育交流センター

短期プログラム開発研究チーム 柏原 美佐緒

メール: kashiwabara-m@office.osaka-u.ac.jp

電話: 06-6879-7128 (内線: 吹田 7128)

V. 授業料徴収型『超短期』プログラム

1. 『超短期』プログラム

平成 20 年度以来、当センターでは、いわゆる「超短期」と呼ばれるプログラムを運用してきている。平成 21 年度には「ナノテクノロジーコース」と「日本語日本文化コース」の二つのプログラムを「Spring Intensive Program 2010」のタイトルの下で「超短期」プログラムとして並行開催した。これは平成 20 年度大学改革推進等補助金で「21 世紀型『超短期』受入プログラム開発」で試行したパイロットプロジェクトであり、全国の Short - Stay プログラム普及への先鞭をつけた。

日本学生支援機構（JASSO）によって Short - Stay 奨学金が創設された平成 23 年度には、東日本大震災の悲劇を受け「日本語日本文化プログラム」に止まらない「ショートステイ日本語・防災プログラム」として再設計、阪神淡路大震災の経験など「防災・減災」の取り組みについても紹介するプログラムとして運用することとして、様々な経緯を経ながら現在に至っている。

平成 30 年度は、マレーシアの大学の要望に合わせたプログラムを実施し、同校から 20 名の学生を受け入れた。韓国協定校対象の冬プログラムは例年通り開催された。2019 年度は、韓国協定校対象の春プログラムが定員に満たなかったため不開講だったが、夏プログラムに関しては、中国の西南大学と大連理工大学から 43 名の学生を受け入れた。

2020 年度は、2019 年度と同様のプログラムを準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全ての対面プログラムが中止となった。その代わりに、3 週間の Winter Online Japanese Course を新たに開発・実施し、10 名の学生を受け入れた。

2021 年度も、すべての対面プログラムが中止されたが、3 週間の Summer Online Japanese Course（5 名）と、5 週間（授業は週 3 回）の Winter Online Japanese Course（11 名）を実施した。2022 年度は、対面プログラムの再開を目指して準備を進めている。

2021 年度 Summer Online Japanese Course
(2021.8.2-2021.8.31 実施)

	在籍校	国籍	専攻
1	大連理工大学	中国	Computer Science
2	大連理工大学	中国	Computer Science
3	大連理工大学	中国	Computer Science
4	大連理工大学	中国	Computer Science
5	西南大学	中国	Japanese

2021 年度 Winter Online Japanese Course
(2022.1.11-2022.2.16 実施)

	在籍校	国 籍	専 攻
1	ソウル神学大学校	大韓民国	Japanese Cultural Contents
2	ソウル神学大学校	大韓民国	Japanese Cultural Contents
3	ソウル神学大学校	大韓民国	Japanese Cultural Contents
4	ソウル神学大学校	大韓民国	Japanese Cultural Contents
5	ソウル神学大学校	大韓民国	Japanese Cultural Contents
6	モナシュ大学	中国	Marketing and Arts
7	モナシュ大学	中国	Arts
8	モナシュ大学	スリランカ	Medicine, nursing, and health sciences
9	モナシュ大学	オーストラリア	Arts
10	モナシュ大学	オーストラリア	Science and Arts
11	モナシュ大学	オーストラリア	Arts

2. 『ショートステイ学期内日本語専修プログラム』 J-ShIP

J-ShIPは平成23年度夏に新たに創設された。設立に至る経緯や、プログラムのねらいについては近藤(2012)等に譲るが、日本語をキラーコンテンツとし、平成23年度に新設されたShort-Stayプログラム奨学金を最大限獲得する設計のプログラムである。平成24年度には、新たに「夏プログラム」も増設し、カリフォルニア大学(UC)を中心とした米国の協定校の「夏休み」期間にあわせた開講プランを作り、数多くのアメリカ人学生に対して、日本語に親しみ、また日本語単位を在籍校において互換しうる機会を提供してきている。

平成26年度以降は米国向け90コマ8週間のサマーインスティテュート(6-8月)、および豪州向け45コマ5週間のウィンターインスティテュート(12-1月)の2サイクルを運営することになった。ハード面では箕面に教室および職員室を増設して3教室体制を整備している。また非常勤講師のボランティアに頼っていた「オフィスアワー」を制度化し、参加学生の旺盛な学習ニーズに込んでいる。平成29年度の夏からは海外などで活躍する日本語教師の先生方を期間中に特任教員として雇用し、J-ShIPの一部の運営をお任せするなど、実験的なプログラムとしても先進的に運用を続けている。平成30年度の夏は、大阪北部地震や西日本豪雨の自然災害に加え、2019年度は2人の学生が体調不良により途中帰国を余儀なくされ、対応に追われたが、多くの方々からの協力により、最後までプログラムを実施することができた。今後プログラムを継続するにあたって、危機管理体制を整える契機となった。

2021年度については、2020年度同様、夏J-ShIPおよび冬J-ShIPは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、全て中止となった。しかし、3週間のSummer Online Japanese Courseと、5週間(授業は週3回)のWinter Online Japanese Courseを実施することができ、計16名の学生を受け入れた。

- 近藤佐知彦(2012)SSプログラムJ-ShIPの1年目;新コンセプトの超短期日本語プログラムへの挑戦 大阪大学国際教育交流センター研究論集 多文化社会と留学生交流 16 97-106

3. 『学外連携実習』 ExPERT

平成30年度には、新たにExPERT（Extension Program for Education in Real – world Trainings）を開始した。同プログラムは、平成30年度3月に締結された「国立大学法人大阪大学と三井不動産株式会社との連携協定」に基づく取り組みのキックオフプログラムとなった。

かねてより、多くの協定校から職業体験型プログラムへの要望が強く、より多くの優秀な学生を受け入れるため、吹田キャンパス近郊のエキスポシティ内にある大阪英語村（Osaka English Village, 以下OEV）と共同で、8週間の無給職業トレーニングプログラムを開発した。参加学生へ単位を付与するために、教職課程の『教育実習』の科目を参考にしながら、『学外連携実習』を新たに正規科目として登録した。

OEVは体験型英語教育施設で、アメリカの日常や歴史、文化をテーマにした様々なシチュエーションルームが23種類あり、各ルームでは、英語ネイティブのインストラクターとともに英語を楽しみながら学ぶことができる（OEVホームページ参照）。ExPERT生は、インストラクターの訓練を受けながら、授業見学、アシスタント業務、そして実習体験を通して、主に子どもや高校生以下の児童・生徒に対する英語教授法を修得する。

宿舎については、ホームステイの斡旋会社ネクステージと協力し、「英語インストラクター実習生のホームステイ」として、ExPERT生にホストファミリーへの週3回の1時間英語レッスンを義務付け、その代わりに宿泊費を安価に提供する新たなホームステイの枠組みも開発した。

平成30年度はパイロット・プログラムとして、アメリカ合衆国から4名の学生を、2019年度はオレゴン大学から1名の学生を受け入れた。ウィークリーレポート、最終プレゼンテーション、OEVによる評価を経て、4名とも無事に修了し、単位（4単位）が付与され、本センターとOEV連名の修了証書が授与された。また、参加者のうち1名は、2019年4月にOEVにて正式に就業した。

2021年度は、神奈川県にある、EDURE LCAが運営するLCA国際小学校が受け入れ先となるExPERTプログラムを準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中止となった。今後も、EDURE LCAと協力してプログラムを継続予定である。

4. Faculty – ledプログラムUMOS

2019年度より、メルボルン大学からの要請に応じて新たにUMOS（University of Melbourne Overseas Subject）というFaculty – ledプログラムを開始した。UMOSは、メルボルン大学で開講されている科目と同等の授業を海外の大学で実施し、メルボルン大学の単位として認定するプログラムである。大阪大学では、「Variation in Japanese Language」という科目が開講され、大阪大学の単位（4単位）が付与される。授業の目的は、日本語上級レベルを持つメルボルン大学の学生が、授業、一日職業体験、ホームステイおよび文化体験を通して日本語のバリエーションについて学ぶことである。メルボルン大学の渡邊講師が招へい教員・プログラムコーディネーターとして引率および半分以上の授業を担当し、約3週間で、吹田市旭通商店街と大阪大学吹田キャンパスにおいて計30コマが実施される。また、大阪大学のUMOSはオーストラリア政府によるニューコロombo計画の支援も受けている。

2021年度もUMOSの実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、プログラムは中止となった。しかし、パンデミック収束後には、ニューコロombo計画の支援を受けながら、プログラムの継続を計画している。

VI. 留学生支援

国際教育交流センター交流アドバイジング研究チームは、吹田キャンパスは留学生交流情報室（IRIS: Information Room for International Students）、豊中キャンパスは国際教育交流センター豊中分室に、箕面キャンパスは国際教育交流センター箕面分室に生活相談に対応するスタッフを配置し、アドバイジング担当教員との密接な連携のもと、留学生支援を継続的に行っている。留学生が気軽に出入りできるスペースを提供するとともに、相談しやすい雰囲気を作り、関係部局とも連携しながら、迅速に対応している。新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度に開始したZOOMによるチャットルームは予約不要で留学生が気軽に相談できる場となり、今年度も継続して実施している。定期的に発行するIRISレター等のメールによる情報提供も行っている。このほか、学生間の交流の促進の観点から、大阪大学留学生会（OUISA: Osaka University International Student Association）やB.S.P.（Brothers and Sisters Program）の支援も継続して行っている。例年行っている地域の国際交流団体やボランティアグループとの連携行事は中止となった。地域の学校の国際理解教育プログラムへの協力はオンラインで継続して行っている。このほか、短期プログラム開発研究チームの一般学生の海外留学支援にも協力している。

1. 生活・就学支援

(1) 国際教育交流センターにおける相談対応

国際教育交流センターでは、留学生とその家族が日本で生活する上で、生活習慣や文化に円滑に適應できるようにアドバイスにあたりるとともに、さまざまな留学生関連プログラムなどの情報提供をしている。また、国際交流活動等についての相談にも応じるなど、留学生に対する総合的な支援をしている。

こうした相談や情報提供は、吹田地区ではセンター内の留学生交流情報室（IRIS（あいらす）はInformation Room for International Studentsの略。以下IRISと記す。）にて平日8時半～18時の間、豊中地区では学生交流棟2階の豊中分室で平日10時半～17時の間、箕面分室は原則として平日10時半～17時の間、原則として休業日を除く学期期間中、行っている。表1にIRIS、表2に豊中分室、表3に箕面分室への対応件数を記す。各種情報提供のほか、相談内容により担当教員との連携および、関係部局との連携をしながら留学生の相談対応を実施した。

(2) 新規来日留学生への支援

例年国際教育交流センターが関わる新規来日留学生に対して、情報提供を含め、来日前からコンタクトを取っている。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により対象学生の来日が遅れたため、来日後に順次、情報提供を行なった。また例年来日当初のオリエンテーションプログラムを、国際学生交流課や国際教育交流センター日本語教育研究チーム、短期プログラム開発研究チーム等と連携して実施し、学生の円滑な留学がスタートできるように支援しており、それぞれオンラインや対面でのオリエンテーションを実施した。

国際教育交流センターは、例年留学生および地域社会がお互いの文化・習慣を正しく認識し、相互理解を深めることを目的として、大阪大学留学生ホストファミリープログラム（略称OHP）を実施しているが、

本年度は中止となった。また、来日当初に留学生が指導教員と面談できるように、留学生来日前に指導教員と連絡をとり日程調整して行っている研究室訪問サポートも中止となった。学生間の交流や支援の観点

表1 大阪大学国際教育交流センター留学生交流情報室「IRIS」の相談状況及び来室・利用状況

令和3年度相談対応延べ状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交 流		175	86	149	155	32	140	357	372	278	300	104	99	2247
日 本 語		5	1	1	3	1	7	4	3	13	16	18	12	84
奨 学 金		3	1	0	3	3	1	0	0	0	3	2	4	20
保 証 人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 居 保 証 人		0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
医 療		1	0	6	15	2	0	0	4	8	6	9	7	58
入 管 関 係		1	2	11	0	0	2	2	4	0	0	0	2	24
家 族 に つ い て		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就 職		141	156	37	52	52	136	187	215	44	90	42	144	1296
住 居		1	1	4	2	2	3	0	4	0	4	3	6	30
各 種 情 報 提 供		95	46	84	72	65	135	103	104	177	121	138	200	1340
生 活 用 品		0	0	1	4	0	1	2	0	5	1	3	4	21
学 習 ・ 研 究		13	19	15	11	9	5	31	6	18	11	6	0	144
事 故 ・ ト ラ ブ ル		4	26	49	10	73	84	113	86	49	35	33	43	605
引 越		5	0	0	0	0	3	1	0	0	0	2	3	14
ア ル バ イ ト		1	2	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	11
ホ ス ト ファ ミ リ ー		3	0	0	7	4	8	0	2	0	3	0	3	30
ホ ー ム ス テ イ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海 外 留 学 相 談		0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	5
問 合 わ せ 等 (学 外)		22	18	14	7	7	16	35	38	7	11	8	16	199
そ の 他		69	53	45	44	50	83	47	59	90	56	55	53	704
計		539	411	416	385	302	629	885	897	689	663	424	597	6837

相談対応件数推移

年 度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
件 数	2877	3496	3461	4125	4246	5163	5280	5366	5405	5124	5087	4675	4880	4489	4413	5112	4517

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
件 数	5553	6114	8106	7106	7398	8104	9860	6133	6837

*ここでいう「相談対応」は項目に関する相談受付及びその対応回数の延べ（電話・メールも含む）を示す。

来室者推移

年 度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1
件 数	16450	17848	17996	18025	18077	19255	19356	19934	19532	19574	20909	20107	20176	19170	19252	19858	15076

年 度	R2	R3
件 数	2745(932)	3799(1316)

留学生交流情報室「IRIS」の利用延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
留 学 生	138(46)	92(73)	88(30)	84(12)	59(8)	70(14)	301(135)	210(134)	291(83)	362(66)	178(21)	138(38)	2011(660)
日 本 人 学 生	23(4)	36(29)	65(28)	33(12)	7(0)	18(7)	64(10)	57(6)	36(3)	44(11)	33(10)	32(6)	448(126)
そ の 他 ・ 一 般	68(4)	63(18)	141(42)	75(9)	45(2)	68(4)	116(30)	108(52)	120(25)	102(33)	287(237)	147(74)	1340(530)
合 計	229(54)	191(120)	294(100)	192(33)	111(10)	156(25)	481(175)	375(192)	447(111)	508(110)	498(268)	317(118)	3799(1316)

*ここでいう「利用」は留学生交流情報室「IRIS」に来室した延べ人数（イベント等含む）を示す。

*その他・一般はホストファミリー、国際理解教育関連（小・中・高校の教師）、ボランティアなどである。

*（ ）書きはオンラインイベント参加者数（内数）である。

から、B.S.P.の学生によるキャンパスツアー、大阪大学留学生会（OUIA）の活動の紹介を学生達と連携して行った。

表2 大阪大学国際教育交流センター豊中分室の相談状況及び来室・利用状況

令和3年度相談対応延べ状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交 流		67	25	92	381	38	18	137	109	105	45	25	50	1092
日 本 語		0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	0	2	8
奨 学 金		1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	5
保 証 人		0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8
住 居 保 証 人		0	0	0	0	0	0	0	0	16	1	0	0	17
医 療		0	1	1	3	0	1	3	2	0	0	1	0	12
入 管 関 係		0	0	0	0	1	1	1	1	0	3	1	1	9
家 族 に つ い て		0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	4
就 職		0	1	1	1	1	3	1	0	0	2	3	2	15
住 居		0	4	3	9	1	2	1	2	1	1	1	1	26
各 種 情 報 提 供		29	3	13	14	13	9	7	5	10	5	14	21	143
生 活 用 品		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
学 習 ・ 研 究		1	0	5	0	0	1	4	3	3	2	1	0	20
事 故 ・ ト ラ ブ ル		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
引 越		1	0	1	0	0	0	2	1	1	1	0	1	8
ア ル バ イ ト		1	2	4	2	0	1	6	4	4	21	6	15	66
ホ ス ト ファ ミ リ ー		0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
ホ ー ム ス テ イ		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
海 外 留 学 相 談		8	2	7	7	5	3	6	5	0	2	2	3	50
問 合 わ せ (学 外)		0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	4
そ の 他		19	5	3	1	6	3	2	3	2	5	1	4	54
合 計		128	44	132	420	65	43	177	135	154	94	58	101	1551

相談対応件数推移

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件 数	2843	2294	1352	1164	1139	805	916	1253	1271	993	906	1302	2192	2721

年 度	H30	H31/R1	R2	R3
件 数	2713	3080	1306	1551

*ここでいう「相談対応」は項目に関する相談受付及びその対応回数（延べ）（電話・メールも含む）を示す。

来室者数推移

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件 数	8320	7524	5183	5324	7508	5212	6029	9065	11230	10563	9580	9612	12806	13406

年 度	H30	H31/R1	R2	R3
件 数	12618	12769	2189 (407)	3427 (216)

豊中分室の利用延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
留 学 生	195(3)	84(6)	133(20)	169(2)	53(3)	69(1)	197(10)	168(1)	213(46)	109(1)	61(0)	109(5)	1551(98)
日 本 人 学 生	126(1)	68(17)	159(53)	438(8)	95(6)	55(2)	112(20)	130(0)	109(5)	68(2)	36(0)	78(4)	1474(118)
教 官 ・ 学 外 な ど	19(0)	13(0)	52(0)	48(0)	17(0)	34(0)	43(0)	34(0)	30(0)	41(1)	22(0)	40(0)	393(1)
合 計	340(4)	165(23)	344(73)	655(10)	165(9)	158(3)	352(30)	332(1)	352(51)	218(4)	119(0)	227(8)	3427(216)

*ここでいう「利用」は国際教育交流センター豊中分室に来室した延べ人数（イベント等含む）を示す。

*その他・一般はホストファミリー、国際理解教育関連（小・中・高校の教師）、ボランティアなどである。

*（ ）書きはオンラインイベント参加者数（内数）である。

表3 大阪大学国際教育交流センター箕面分室の相談状況及び来室・利用状況

令和3年度相談対応延べ状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交 流	95	82	84	154	6	16	76	105	124	97	31	13	883
日 本 語	3	1	0	0	1	5	0	0	0	2	2	0	14
奨 学 金	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
保 証 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住 居 保 証 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療	1	0	2	2	1	0	0	3	3	4	2	0	18
入 管 関 係	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
家族について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就 職	0	2	2	5	3	0	1	1	1	1	2	1	19
住 居	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	7
各種情報提供	65	24	21	23	21	16	26	20	17	9	7	18	267
生 活 用 品	4	7	15	9	2	0	9	9	3	10	2	1	71
学 習 ・ 研 究	4	1	8	0	0	0	0	2	3	4	3	0	25
事故・トラブル	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	5
引 越	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ア ル バ イ ト	1	0	3	2	1	1	0	0	2	1	1	0	12
ホ ス ト フ ァ ミ リ ー	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
ホ ー ム ス テ イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外留学相談	1	3	17	7	2	2	0	0	0	1	0	0	33
問 合 わ せ (学 外)	7	3	2	3	0	12	3	2	1	1	0	12	46
そ の 他	11	14	4	1	3	3	3	8	1	1	9	5	63
計	193	138	158	210	41	55	120	150	157	132	65	50	1469

相談対応件数推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
件 数	1488	966	840	661	831	797	731	854	788	699	591	885	718

年 度	R3
件 数	1469

*ここでいう「相談対応」は項目に関する相談受付及びその対応回数の延べ（電話・メールも含む）を示す。

来室者推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
件 数	2893	3517	4477	5249	5703	5024	4570	4525	3907	4867	4403	4421	1479 (151)

年 度	R3
件 数	4282 (141)

箕面分室の利用延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
留 学 生	125(8)	101(15)	196(2)	265	38	8	69(1)	62	115(1)	149(4)	91	48	1267(31)
日 本 人 学 生	389(8)	165(43)	300(13)	446	40	28(6)	395(5)	284(4)	295(5)	243(4)	52(5)	15	2652(93)
そ の 他 ・ 一 般	83(1)	35(4)	28	23	22	20(3)	42	30(4)	17(3)	19(1)	16(1)	28	363(17)
合 計	597(17)	301(62)	524(15)	734	100	56(9)	506(6)	376(8)	427(9)	411(9)	159(6)	91	4282(141)

*ここでいう「利用」は留学生交流情報室「IRIS」に来室した延べ人数（イベント等含む）を示す。

*その他・一般はホストファミリー、国際理解教育関連（小・中・高校の教師）、ボランティアなどである。

*（ ）書きはオンラインイベント参加者数（内数）である。

(3) 学生交流支援

学生支援については、B.S.P.と大阪大学留学生会（OUIA）の活動の支援を行った。新型コロナウイルスの感染状況により、適宜、オンライン、ハイブリッド、対面形式で実施した。表4にB.S.P.の活動、表5に大阪大学留学生会（OUIA）の活動を記す。

表4 令和3年度 B.S.P.の活動内容

<主な活動内容>

月	日	内 容	Online	Offline	キャンパス	備 考
4	5	全教外国人留学生向けキャンパスツアー		○	豊中	OUIA 共催
		全教外国人留学生ガイダンスでB.S.P.の紹介		○	豊中	
	6	全学交換留学プログラムオリエンテーションでB.S.P.の紹介	○		吹田	
	7	Japanese Time～Kanji～（毎週水曜日）	○		吹田	
	12	Welcome Walk		○	吹田	
	12～16	相談週間		○	箕面	
	14	Campus Walking		○	豊中	
	27	3キャンパス合同日本語カフェ（毎週火曜日）	○		全体	
30	いちょう祭「留学生による自国紹介動画」公開	○		吹田	OUIA 共催	
5	11	Japanese Time～Kanji～（毎週火・水曜日）	○		吹田	
	19	Snack Tournament	○		吹田	
	27	Word Wolf Game Event	○		箕面	
	31	中国語カフェ	○		箕面	
6	2	いしんでんしんゲーム	○		豊中	
	9	B.S.P.説明会	○		豊中	
	21	ドイツ語カフェ		○	箕面	
	23	Online Trip（琵琶湖）	○		吹田	
	30	Welcome Party		○	吹田	OUIA 共催
7	1	Welcome Party		○	豊中	
	7	七夕パーティー		○	箕面	
	13	韓国語カフェ		○	豊中	
	18	One Day Trip（民俗学博物館）		○	箕面	
	20	人狼ゲーム		○	豊中	
	22-23	サークルオリエンテーション参加		○	豊中	
8	1	One Day Trip（箕面公園）		○	吹田	OUIA 共催
	10	家にあるものしりとり	○		豊中	
9	28	全学交換留学プログラムオリエンテーションでB.S.P.の紹介	○		吹田	
10	3	City Walk（カップヌードルミュージアム池田城跡）		○	吹田	OUIA 共催
	4	日本語カフェ（毎週月曜日）	○	○	箕面	*
	8	日本語カフェ（毎週金曜日）		○	豊中	
	8	Japanese Time～Kanji～（毎週火曜から金曜）	○	○	吹田	*
	14	ワードウルフ（英語）	○		豊中	
	20	ワードウルフ（日本語）	○		豊中	
	26	中国語カフェ		○	豊中	
	28	Online Trip（嵐山）	○		吹田	
	29	吹田 Welcome Party		○	吹田	OUIA 共催
11	8	Telestration		○	豊中	
	9	お弁当作り		○	吹田	
	18	モノしりとり	○	○	豊中	*
	21	City Walk（嵐山）		○	吹田	OUIA 共催

月	日	内 容	Online	Offline	キャンパス	備 考
11	22	豊中B.S.P.Festival		○	豊中	
	24	プラバン作り		○	豊中	
	26	箕面B.S.P.Welcome Paty		○	箕面	
	28	Half Day Trip (箕面の滝)		○	豊中箕面	
	30	秋のリース体験		○	豊中	
12	1	染色体験		○	豊中	
	6	以心伝心	○		豊中	
	9	90周年記念学生交流イベント	○		豊中	
	15	英語カフェ		○	豊中	
	16	韓国語カフェ		○	箕面	
	21	年賀状作り		○	豊中	
1	4	書初め		○	吹田	
	6	書初め		○	豊中	
	12	書初めパーティー		○	箕面	
	12	あんこ餅作り		○	豊中	
	13	ZOOM国際交流会 (ゲーム)	○		箕面	
2	7	日本語カフェ特別版		○	豊中	
	25	3キャンパス幹部ミーティング	○		吹田	
	25	Half Day Trip (カップヌードルミュージアム・池田城跡)		○	豊中	
3	1	English Café		○	豊中	
	4	3キャンパス幹部ミーティング	○		吹田	
	28	マレーシア国民大学との学生交流	○		吹田	

* Online・Offline同時開催

表5 令和3年度 大阪大学留学生会 (OUISA) の活動内容

月	日	内 容	Online	Offline	場 所	備 考
4	2	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	5	全教外国人留学生向けキャンパスツアー		○	豊中	B.S.P.共催
		全教外国人留学生ガイダンスでOUISAの紹介		○	豊中：全教B218講義室	
	6	全学交換留学プログラムオリエンテーションでOUISAの紹介	○			
	13	Arabic Time		○	吹田：ICホールIRIS	
6	30	いちょう祭「留学生による自国紹介動画」公開	○			B.S.P.共催
6	30	Welcome Party		○	吹田：ICホールIRIS	B.S.P.共催
8	1	One Day Trip (箕面公園)		○		B.S.P.共催
9	9	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	14	Meeting	○			
	28	全学交換留学プログラムオリエンテーションでOUISAの紹介	○			
	29	B.S.P.と合同Meeting		○		
10	3	City Walk (カップヌードルミュージアム)		○		B.S.P.共催
	5	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	12	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	19	OUISA Hour (Sri Lanka)	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	20	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	26	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	29	吹田 Welcome Party		○	吹田：ICホールIRIS	B.S.P.共催
11	16	OUISA Hour (Peru)	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	18	Meeting	○	○	吹田：ICホールIRIS	*
	21	City Walk (嵐山)		○		B.S.P.共催

月	日	内 容	Online	Offline	場 所	備 考
12	1&8	CIEE 国費留学生オリエンテーションで OUISA の紹介		○	吹田：IC ホール IRIS	日本語集中コース留学生対象
	16	OUISA Hour (Egypt)	○	○	吹田：IC ホール IRIS	*
	19	Half Day Trip (勝尾寺)		○		
1	14	餅つきイベント		○	吹田：IC ホール IRIS	
2	4	OUISA Hour (Mongolia)	○	○	吹田：IC ホール IRIS	*
		Meeting	○	○	吹田：IC ホール IRIS	*
	24	Cookies Making Event		○	吹田：IC ホール IRIS	
3	16	Meeting	○	○	吹田：IC ホール IRIS	*

* Online・Offline 同時開催

(4) 大阪大学国際同窓会

大阪大学国際同窓会 (OUIAA) は、阪大に在籍し、卒業・評価修了した元留学生の同窓会として、2010 年 9 月 25 日、大阪大学創立 80 周年記念事業の一環として設立された。OUIAA の主な目的は、同窓生の国際的なソーシャルネットワークを構築し、本学と地域社会との関係を強化することである。「Live Locally, Support Globally」というモットーの元、阪大を卒業した留学生らが積極的に活動している。今年度の活度は、コロナ禍の影響で全てオンライン実施となった。基本的に、毎月 1 回、役員ミーティング及び交流会が開催されている。

表 6 令和 3 年度 大阪大学国際同窓会 (OUIAA) の活動内容

No	年	日 時	イベント名	参加人数
1	2021	4 月 4 日 (日) ~ 5 月 1 日 (土)	HanamiPhoto Contest/Video Project 2021	
2		5 月 8 日 (土) 21:00 ~	OUIAA Hour-Hobby Exchange	13 名+スタッフ 1 名
3		5 月 16 日 (日) 14:00 ~	OUIAA Reunion	9 名+スタッフ 1 名
4		6 月 26 日 (土) 21:00 ~	OUIAA Hour-Hobby Exchange	19 名+スタッフ 1 名
5		7 月 31 日 (土) 21:00 ~	OUIAA Gathering	17 名+スタッフ 1 名
6		8 月 14 日 (土) 21:00 ~	OUIAA Gathering	14 名
7		9 月 4 日 (土) 21:00 ~	Monthly meeting	7 名+スタッフ 1 名
8		10 月 2 日 (土) 21:00 ~	OUIAA Hour-Hobby Sharing	11 名+スタッフ 1 名
9		11 月 13 日 (土) 21:00 ~	OUIAA Reunion	12 名+スタッフ 1 名
10		12 月 5 日 (日) 21:00 ~	Monthly meeting	5 名+スタッフ 1 名
11		12 月 17 日 (金) 21:00 ~	OUIAA Hour-Hobby Sharing	10 名
12	2022	1 月 16 日 (日) 12:30 ~	Monthly meeting	7 名
13		2 月 4 日 (金) 22:00 ~	Monthly meeting	9 名
14		3 月 4 日 (金) 22:00 ~	Monthly meeting	7 名
15		3 月 25 (金) 22:00 ~	OUIAA Hour-Hobby Sharing	

(5) 学内連携

国際教育交流センターは、学内の各部署の留学生関係者との連携の強化も継続して実施している。各部署の留学生相談室フロントスタッフと連携した組織「大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク」の定例ミーティングを定例で計 4 回実施し、それ以外にも必要に応じて電話やメール等で連絡や意見交換を行った。毎年開催されている国際教育交流センター主催の国際教育交流/留学生支援連絡会は令和 3 年 9 月 17 日に開催した。

2. 地域との連携

(1) 留学生支援ボランティアとの連携

国際教育交流センターは、地域との連携を積極的に行っており、日頃より地域のボランティアや関係者との連絡を緊密に取っているが、本年度はホストファミリープログラムが中止となったことにより、例年2回開催されている大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会も中止となった。表7は本年度までの団体別のホストファミリーと留学生の組み合わせ数である。

表7 大阪大学留学生ホストファミリープログラム組合せ団体別数推移

	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/ R1	R2	R3	計	
ホストファミリーグループアミーゴ	4	7	8	8	7	15	8	16	8	12	11	11	9	15	10	13	14	12	16	13	11	10	7	9	8	11			273	
茨木市国際親善都市協会	4	13	12	8	11	18	8	7	8	11	7	12	11	15	13	10	9	6	8	7	10	7	10	16	10	14			265	
(公財)とよなか国際交流協会	0	18	15	7	17	20	19	14	19	27	16	14	29	42	85	80	73	68	80	73	63	62	65	79	73	67			1125	
(公財)箕面市国際交流協会	0	10	6	11	12	10	6	11	15	16	13	10	9	22	36	23	28	36	35	32	42	50	39	24	32	33			561	
池田市公益活動促進協議会*6	0	12	11	7	9	10	7	9	11	9	15	10	15	14	13	12	8	8	4	8	8	7	9	6	6	6			234	
(公財)吹田市国際交流協会	0	1	18	7	23	19	12	14	20	14	9	16	15	16	30	28	24	29	32	39	41	47	62	61	61	64			702	
国際交流の会とよなか(TIFA)	0	1	6	9	9	9	10	9	13	11	25	20	18	14	12	14	15	15	13	19	18	11	14	13	13	15			326	
川西市国際交流協会*1									11	13	14	9	9	19	16	12	11	9	6	15	14	15	10	7	10	14			214	
留学生さとおやの会*2												5	8	7	6	7	6	6	7	10	8	11	9	10	13	13			126	
海外協力グループクスクス*3															7	12	11	13	6	4	6	10	9	11	11	9			109	
国際交流グループチャーターボックス*4																11	12	9	8	12	10	11	13	8	10	9			113	
三井ボランティアネットワーク事業団*7																								3	3	3	4			13
シルバーアドバイザーネットワーク大阪*8																										8	11			19
OHP/IRISに直接登録*5	3	3	6	5	8	17	20	17	20	2	5	6	4	6	19	17	20	15	25	27	24	32	29	35	38	14			417	
計	11	65	82	62	96	118	90	97	125	115	115	113	127	170	247	239	231	226	240	259	255	273	279	282	296	284			4497	

*1 川西市国際交流協会のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成14年10月開始

*2 留学生さとおやの会のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成17年4月開始

*3 海外協力グループクスクスのメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成20年9月開始

*4 チャーターボックスのメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成21年4月開始

*5 ホストファミリーの学内公募平成19年8月開始

*6 池田ホームステイ友の会は平成24年3月で終了、平成24年9月より池田市国際交流協議会、平成29年4月より池田市公益活動促進協議会として参加

*7 三井ボランティアネットワーク事業団のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成28年10月開始

*8 シルバーアドバイザーネットワーク大阪のメンバーと留学生とのホストファミリー組合せは平成30年4月開始

(2) 国際理解教育への協力

地域の学校における国際理解教育プログラムへの協力は例年積極的に行っているが、本年度はすべてのプログラムがオンライン実施となった。表8は、令和3年度に国際理解教育プログラムにおいて協力した学校名、オンライン参加した留学生数および参加学生出身国である。例年小中高で実施しているが、本年度は高校のみとなった。例年1回開催されている大阪大学・地域「国際理解教育」推進連絡協議会も中止となった。

留学生の参加は、地域の学校からの依頼に対して、学校交流ボランティアに登録している留学生にメール等で案内を出して希望者を募り、学校側と留学生との事前打ち合わせを行い、実施後、留学生には報告書の提出、というプロセスで実施している。

表8 令和3年度「国際理解教育」実施状況

No	月	日	学校／プログラム名	派遣人数	派遣学生国籍
1	6	29	かんらんこども園	2	イラン・メキシコ
2	9	14	兵庫県立川西北陵高等学校	8	イラン・インドネシア・キューバ・タイ・トルコ・ナイジェリア・バングラデシュ・フィリピン
3	11	4	摂津市立摂津小学校	4	インドネシア・キューバ・ベトナム・モンゴル
4	11	11	大阪府立住吉高等学校	12	イラン・インドネシア・キューバ・スーダン・タイ・パキスタン・バングラデシュ・フィリピン・ベトナム・メキシコ
5	11	18	豊能町立東能勢中学校	5	キューバ・タイ・ナイジェリア・ベトナム・マレーシア
6	12	18	大阪府立茨木高等学校	25	アルジェリア・イラン・インドネシア・キューバ・サウジアラビア・シリア・スーダン・タイ・ナイジェリア・バングラデシュ・フィリピン・ベトナム・ペルー・ボリビア・マレーシア・ヨルダン
7	12	23	関西大倉中学・高等学校①	9	イラン・インドネシア・キューバ・シリア・タイ・バングラデシュ
8	1	14	大阪府立豊中高等学校	20	イラン・インドネシア・キューバ・サウジアラビア・シリア・タイ・パキスタン・バングラデシュ・フィリピン・ブラジル・ベトナム・ボリビア・マレーシア
9	1	27	高槻市立第一中学校	4	タイ・パキスタン・バングラデシュ
10	2	3	大阪府立千里高等学校	2	タイ・トルコ
11	3	12	関西大倉高等学校②	15	イラン・インドネシア・キューバ・トルコ・バングラデシュ・ブラジル・ベトナム・ペルー・ボリビア・マレーシア・メキシコ・南アフリカ

計：11件／106名

※令和3年度は新型コロナウイルスの流行により、留学生は派遣ではなくオンラインでの参加となった。

※新型コロナウイルスの影響により中止…1件（1/20（木）能勢町立能勢中学校）

3. 留学生に対するキャリア支援

日本での就職を希望している外国人留学生を支援する目的で、令和3年度、国際教育交流センターでは、「留学生のための就職対策講座」を全9回開催した。また個々の相談に対応するため就職相談コーナーを開室した。

(1) 留学生のための就職対策講座

2021年10月より2022年1月にかけて「留学生のための就職対策講座」を開催した(図1参照)。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のためZOOMによるオンライン開催となった。講座は外部講師、学内のキャリアカウンセラー、内定者の留学生の協力のもと全9回のシリーズとして開催され、参加者数は述べ214名(昨年度168名)であった。コンテンツはYouTubeで一週間限定公開した。



図1 就職対策講座ポスター

(i) アンケート調査結果

各回の参加人数、および所属内訳、出身国、学年の内訳は図2～4および表9に示す通りである。全9回のうち、第1回「Introduction to job search for international students」の参加者が最も多く44名、次に第6回「内定者による体験談(2)」の32名が続いた(cf.図2)。いずれも英語によるセミナーであった。参加者の所属別では工学系が最も多く68名であった(cf.図3)。出身国では中国が最も多く111名で、全体の52%を占めた(cf.表9)。学年別では博士課程前期1年次が最も多く81名で全体の38%を占めた(cf.図4)。

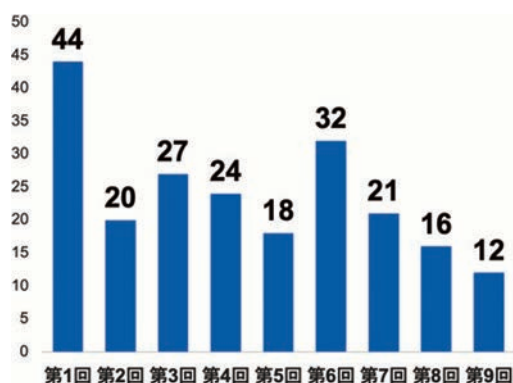


図2 各回の参加人数

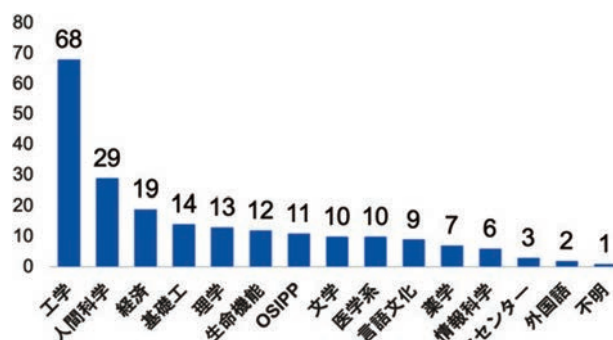


図3 参加者の所属

表9 参加者の出身国

中 国	111	バングラデシュ	2
インドネシア	24	フィリピン	2
ベトナム	12	米 国	2
インド	8	パキスタン	2
ミャンマー	7	シンガポール	2
ヨルダン	6	ヨルダン	2
韓 国	5	アルゼンチン	1
アゼルバイジャン	4	エチオピア	1
サウジアラビア	4	英 国	1
ハンガリー	4	日 本	1
スーダン	3	マラウイ	1
イラン	2	トルコ	1
オマーン	2	スウェーデン	1
タイ	2	不 明	1
		計	214

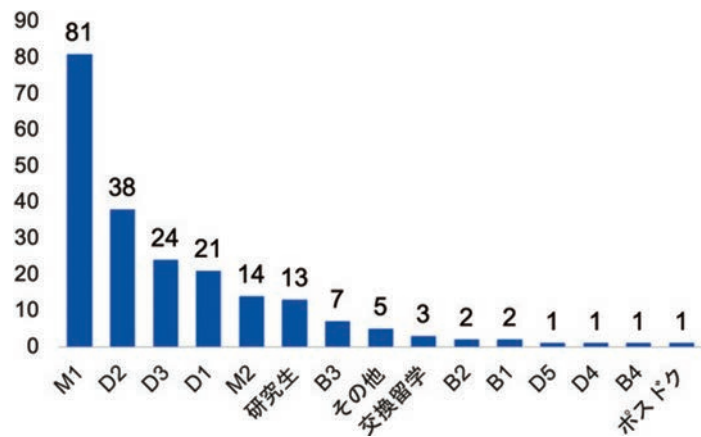
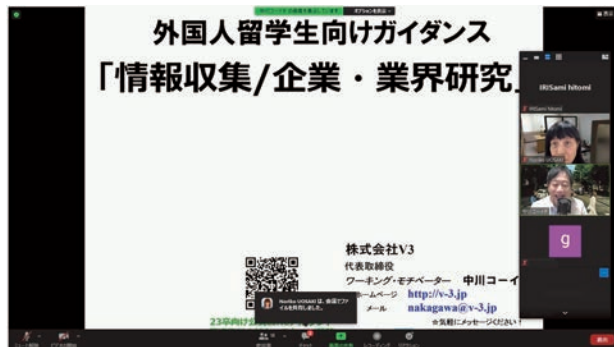
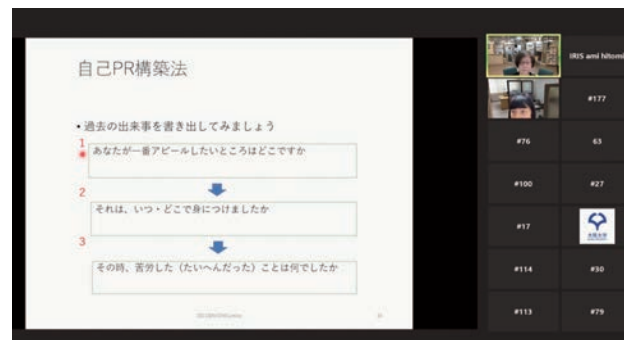


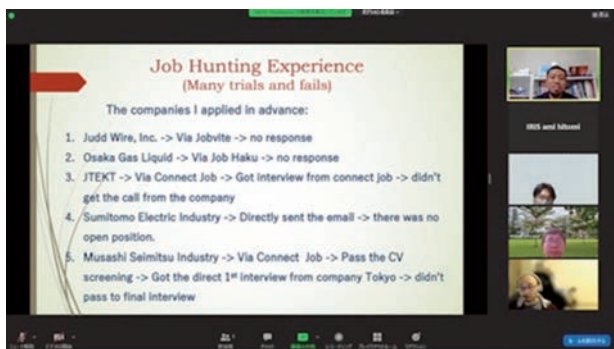
図4 参加者の学年



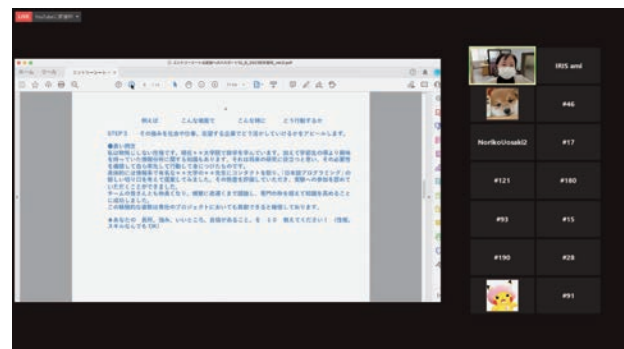
i) 第2回 情報収集および企業・業界研究



ii) 第3回 自己分析/キャリアデザイン



iii) 第4回 OB・OGによる体験談



iv) 第7回 エントリーシートの書き方/合同企業説明会等対策

キャリアセミナーの様子

(2) 留学生のための就職相談コーナー

留学生の就職活動に対する「迷い」や「悩み」に対処するため留学生のための就職相談を行っている。対面は吹田、豊中および箕面キャンパスで週1回開室している。2021年度利用者数は対面相談が延べ27名（昨年度23名）、ZOOM相談が延べ27件（昨年度22件）、メールによる相談は延べ187件（昨年度135件）となっている。（図5 & 6、表10～12参照）

2021年度 留学生のための就職相談コーナー

対面

- 豊中** 毎週火曜日12:00～13:00 学生交流棟2階 国際教育交流センター ミーティングルーム
- 箕面** 毎週水曜日12:00～13:00 外国学研究講義棟5階 国際教育交流センター 箕面分室
- 吹田** 毎週木曜日12:00～13:00 ICホール2階 講義室3

ZOOM 担当者と日程調整します。 **メール** いつでもメール可能

申込み career@ciee.osaka-u.ac.jp

・ 1. 希望するメディア **対面** **ZOOM** **メール** ※対面の場合は希望日
 2. 氏名 3. 学部/学科 4. 学年 5. 国籍 を書いて申し込んでください。
 ・ 件名に「相談コーナー申し込み」と書いてください。

Center for International Education and Exchange Coordinator: Noriko UOZAKI, specially appointed associate professor

図5 就職相談コーナーポスター

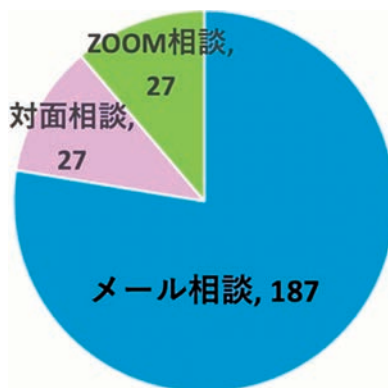


図6 就職相談コーナーメディア利用状況

表 12 メール相談利用状況（月別・出身国別・部局別・学年別）

	出身国別						計	部局別										計									
	中 国	インド ネシア	タ イ	ミヤ ンマー	韓 国	イ ン ド		工 学	経 済	理 学	医 学 系	生 命 機 能	文 学	法 学	日 々 セ ン タ ー	国 際 公 共	言 語 文 化		M 1	M 2	D 3	D 5	D 2	D 4	交 換 留 学 生	ポ ス ド ク	
4月	12	2					14	4月	2	5	5			2			14	4月		7			3	2		2	14
5月					1		1	5月			1						1	5月			1						1
6月	11			2			13	6月	7	3			3			13	6月	8	3	2							13
7月	3			2	2		7	7月	4			1		2		7	7月		2	3				2			7
8月			9				9	8月			9					9	8月		9								9
9月	4						4	9月				4				4	9月			4							4
10月		1					1	10月	1							1	10月		1								1
11月	16	6					22	11月	18		4					22	11月	12	6		4						22
12月		2					2	12月	2							2	12月		2								2
1月	12	14					26	1月	14	12						26	1月	7	19								26
2月	14	3					17	2月	5	12						17	2月	14	3								17
3月	59	11				1	71	3月	17	19	17			1	9	8	71	3月	42	11	17				1	71	
	131	39	9	4	3	1	187		70	51	10	26	5	3	2	3	187		83	63	27	4	3	2	3	2	187

主な相談内容は以下の通りである。

- エントリーシートの日本語チェック（多数）
- 履歴書の日本語チェック（複数）
- オンライン面接について（複数）
- 英語で就活がしたい。（複数）
- インターンシップがしたい
- 国際教育交流センターで企業の紹介はしてもらえるか
- 卒業後の就活について（特定活動ビザ）
- 面接でのプレゼンを指導してもらいたい
- 英語のできるインターンシップ
- 特定活動ビザについて/ビザの変更について
- 志望動機の書き方がわからない
- 日本の就活制度について

Ⅶ. 海外派遣留学支援

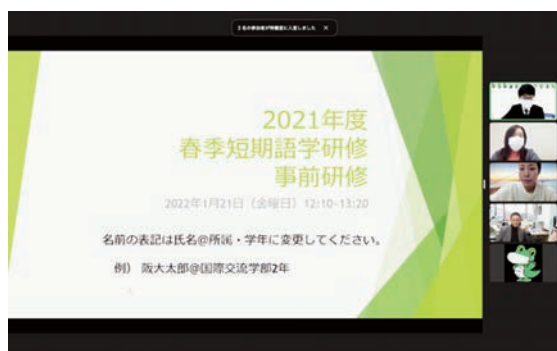
国際教育交流センターでは、本学学生の海外派遣留学を促進・支援するために、毎年様々な取り組みを行っている。留学を希望する学生数の増加や休暇期間を利用した語学留学へのニーズに応え、短期語学研修プログラムを企画・実施するとともに、海外留学オリエンテーションでの情報の提供や、学期中の相談体制を通じて、留学に対する学生の疑問や不安にこたえ、サポートを充実させている。

1. 海外研修・異文化体験プログラム

2021年度の短期海外研修として、(1) 英国のヨーク大学での夏季語学研修を対面で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面での研修が全て中止となった。これらのプログラムは、海外体験を希望する学生への夏季・春季休暇を活用した語学留学機会の提供に加え、協定校への交換留学に向けたステップとなる海外体験としても位置付けている。ヨーク研修では英語力の強化の目安および学習への動機づけとして、研修前と、研修中あるいは研修後に、IELTSまたはTOEFLの受験を義務付けている。また、事前研修として留学生との交流学习の場も提供予定であった。

対面による語学研修は中止となったが、その代替プログラムとして、フィリピン・エンデランカレッジ、オーストラリア・フリンダース大学、カナダ・トンブソンリバーズ大学による3週間の夏季語学研修プログラム、およびフィリピン・エンデランカレッジによる4週間の春季語学研修プログラムが実施され、計14名の学生が参加した。研修の教育的効果を高めるために、事前研修（2021年7月8日、2022年1月21日）と事後研修（2021年9月13日、2022年3月7日）をオンラインにより実施した。オーストラリア・西シドニー大学による春季語学研修も準備していたが、残念ながら応募者がいなかった。事前研修では、研修中の目標設定を行い、事後研修では設定した目標の達成度を確認した後、今後の語学学習の目標を考える機会とした。オンラインでの語学研修であったが、英語を話す機会が得られたと参加者からは好評であった。今後も、より多くの学生が海外語学研修に参加できる機会を提供するために、オンライン語学研修の提供は継続予定である。

(1) 事前研修と事後研修の様子



【事前研修の様子】



【事後研修の様子】

(2) 研修日程と参加者リスト

2021 年度エンデランカレッジ夏季語学研修プログラム
(2021.8.23-9.10 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月23日～9月10日	文学部	U3
2	8月23日～9月10日	文学部	U1
3	8月23日～9月10日	外国語学部	U2
4	8月23日～9月10日	外国語学部	U1
5	8月23日～9月10日	工学部	U3
6	8月23日～9月10日	理学部	U2

2021 年度フリンダース大学夏季語学研修プログラム
(2021.8.23-9.24 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月23日～9月24日	経済学部	U3
2	8月23日～9月24日	工学部	U1
3	8月23日～9月24日	生命機能研究科	M2

2021 年度トンプソンリバーズ大学夏季語学研修プログラム
(2021.8.9-8.27 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月9日～8月27日	歯学部	U5
2	8月9日～8月27日	基礎工学部	U4
3	8月9日～8月27日	外国語学部	U3

2021 年度エンデランカレッジ春季語学研修プログラム
(2022.2.8-3.4 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	2月8日～3月4日	医学部	U1
2	2月8日～3月4日	工学部	U3

2021 年度エンデランカレッジ春季語学研修プログラム
(2022.2.8-3.4 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	2月8日～3月4日	医学部	U1
2	2月8日～3月4日	工学部	U3

2021 年度トンプソンリバーズ大学夏季語学研修プログラム
(2021.8.9-8.27 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月9日～8月27日	歯学部	U5
2	8月9日～8月27日	基礎工学部	U4
3	8月9日～8月27日	外国語学部	U3

2021年度フリンダース大学夏季語学研修プログラム
(2021.8.23-9.24 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月23日～9月24日	経済学部	U3
2	8月23日～9月24日	工学部	U1
3	8月23日～9月24日	生命機能研究科	M2

2021年度エンデランカレッジ夏季語学研修プログラム
(2021.8.23-9.10 実施)

	プログラム期間	所属部局	学年
1	8月23日～9月10日	文学部	U3
2	8月23日～9月10日	文学部	U1
3	8月23日～9月10日	外国語学部	U2
4	8月23日～9月10日	外国語学部	U1
5	8月23日～9月10日	工学部	U3
6	8月23日～9月10日	理学部	U2

2. 海外留学オリエンテーション

国際教育交流センターでは、本学の学生の海外派遣留学促進のために様々な取り組みを行っている。留学を希望する学生数の増加に応え、短期語学研修プログラムの実施、海外留学オリエンテーションでの情報の提供、相談対応による疑問や不安の解消に努めている。

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインで実施し、配布資料や当日のビデオを大阪大学のホームページに掲載した。また、海外留学フェアは今年度も中止となった。

(1) 海外留学オリエンテーション入門編

主に新入生を対象とし、入学当初の段階で海外への興味関心を喚起する目的で、1・2年生が共通教育を受ける豊中キャンパスで実施を予定していた。オリエンテーションの主な内容は、在学中の交換留学制度や夏季・春季休暇を使った短期語学研修プログラムの説明のほか、プログラム参加学生の体験談や、質疑応答である。また、交換留学に向けた準備として、交換留学生と本学の一般学生が共に受講する英語科目である国際交流科目や、教員や留学経験学生による留学相談などの情報提供も行う予定であった。

(2) 海外留学フェア

海外留学フェアは、2019年度から開始され、留学に関心のある学生に対し、留学の様々な選択肢を紹介し留学への動機付けを図るとともに、学内の各留学プログラムや大学間交換留学等海外留学に関する情報を幅広く得てもらうことを目的としている。ここでは学内関係部局のみならず、協定校や、大使館などの関係団体も数多く参加してもらい、学生に対して留学の魅力を広くアピールし、留学の実現につなげることを目指している。

(3) 大学間交換留学オリエンテーション

交換留学の制度と手続きを解説する大学間交換留学オリエンテーションを国際部国際学生交流課の協力のもと開催している。

表1 オリエンテーションの開催日時と参加者数

	開催場所	開催日時	参加者数
海外留学オリエンテーション入門編	オンライン	4月20日(18:30~19:30)	101
大学間交換留学オリエンテーション	オンライン	6月28日(18:00~19:00)	66



【海外留学オリエンテーション入門編の様子と内容】

3. 大学間交換留学人数

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年度春夏学期の大学間交換留学派遣は全て中止となったが、2021年6月15日、文部科学省により「安全確保の徹底を前提として海外への約1年間の長期留学を容認する通知」が出されたため、8月以降、交換留学生の派遣が再開された。派遣された学生は、計96名(うちオンライン9名)であった(表3と表4参照)。

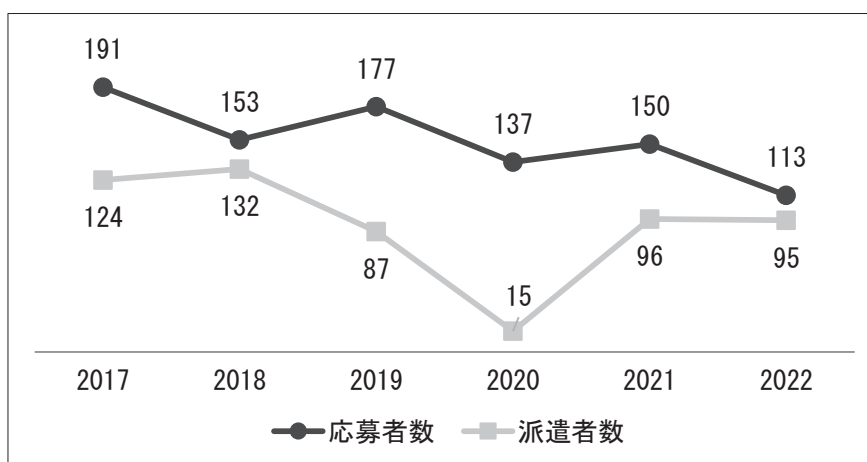
このような状況の中、2022年度大学間交換留学へは113名の応募があった。応募者については、提携大学が受け入れに際し要求する語学能力水準などの条件をクリアし、書類選考を通過した学生に対し、学内面接選考を実施した。これに合格して、2022年度の交換留学派遣の推薦を得た学生数は、107名(そのうち、辞退者10名、中止2名)である。過去6年間の大学間交換留学への応募者数は表3の通りである。ここから、コロナ禍であっても多くの学生が海外留学への意志を強く持っていることがうかがえる。

表2 2021年度の交換留学内定学生の状況

■ 2021年度について

状 態	人 数
中止	7
辞退	36
留学期間の変更（再応募予定）	3
オンライン授業参加（渡航なし）	9
現地派遣	87
内定者合計	142

表3 大学間交換留学応募者数と派遣者数の推移



※ 2017～2019年応募者数は追加募集・本募集の合計、2022年度は現時点では本募集者数のみ
 ※ 2020年度の派遣者15名および2021年度の96名中9名はオンラインによる参加
 ※ 2022年度の派遣者数は現時点では予定者数

表4 交換留学派遣推薦者数(大学間協定)

学部・ 研究科名	相手大学名	国・地域名	地域名	2021	
					うちオンライン
全部局	カセサート大学	タ イ	ア ジ ア	1	
全部局	タマサート大学	タ イ	ア ジ ア	1	
全部局	チュラロンコン大学	タ イ	ア ジ ア	1	
全部局	モンゴル国立大学	モ ン ゴ ル	ア ジ ア	1	
全部局	忠南大学校	韓 国	ア ジ ア	1	
全部局	全南大学校	韓 国	ア ジ ア	1	
全部局	漢陽大学校	韓 国	ア ジ ア	1	
全部局	釜山大学校	韓 国	ア ジ ア	9	
全部局	延世大学校	韓 国	ア ジ ア	1	
全部局	国立成功大学	台 湾	ア ジ ア	1	1
全部局	国立台湾大学	台 湾	ア ジ ア	3	3
全部局	上海交通大学	中 国	ア ジ ア	1	1
全部局	清華大学	中 国	ア ジ ア	1	
全部局	香港中文大学	香 港	ア ジ ア	1	
全部局	リーズ大学	英 国	ヨーロッパ	4	
全部局	ウィーン大学	オーストリア	ヨーロッパ	4	
全部局	グローニンゲン大学	オ ラ ン ダ	ヨーロッパ	2	
全部局	デルフト工科大学	オ ラ ン ダ	ヨーロッパ	1	
全部局	イエーテボリ大学	スウェーデン	ヨーロッパ	1	
全部局	マドリード自治大学	ス ペ イ ン	ヨーロッパ	1	
全部局	コペンハーゲン大学	デンマーク	ヨーロッパ	2	
全部局	南デンマーク大学	デンマーク	ヨーロッパ	1	
全部局	エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレク サンダー大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	ゲッティンゲン大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	ハイデルベルク大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	3	
全部局	ミュンヘン工科大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	1	
全部局	ミュンヘンルートウヴィヒ・マクシミリアン大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	3	
全部局	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・ アム・マイン	ド イ ツ	ヨーロッパ	5	1
全部局	ルール・ボーフム大学	ド イ ツ	ヨーロッパ	4	2
全部局	オスロ大学	ノルウェー	ヨーロッパ	3	
全部局	エトヴェシュ・ロラード大学	ハンガリー	ヨーロッパ	1	
全部局	ヘルシンキ大学	フィンランド	ヨーロッパ	5	
全部局	エックス・マルセイユ大学	フ ラ ン ス	ヨーロッパ	2	
全部局	ストラスブール大学	フ ラ ン ス	ヨーロッパ	3	
全部局	ボルドー大学	フ ラ ン ス	ヨーロッパ	1	
全部局	サンクトペテルブルク大学	ロ シ ア	ヨーロッパ	4	
全部局	ウェズリアンカレッジ	ア メ リ カ	北 米	1	
全部局	カリフォルニア大学	ア メ リ カ	北 米	8	
全部局	ジョージア大学	ア メ リ カ	北 米	3	
全部局	トロント大学	カ ナ ダ	北 米	1	
全部局	ブリティッシュ・コロンビア大学	カ ナ ダ	北 米	4	
全部局	カンピーナス大学	ブ ラ ジ ル	中 南 米	1	
全部局	サンパウロ大学	ブ ラ ジ ル	中 南 米	1	1
大学間協定に基づく交換留学生数				96	9

4. 海外留学・研修等派遣前危機管理オリエンテーション

2021年度は、2021年8月16日にオンラインにて実施した。60名超の参加があり、海外渡航時の危機管理・健康管理への意識を高めることを主目的とし、海外渡航中の健康管理など日常生活における危機管理に加え、テロを含む海外での治安に関する注意点などについての情報提供を行った。

また、同内容は学内Webにて動画および資料を公開し、海外渡航学生に随時情報が提供できる体制を整えた。

以下に、当日のスケジュールを示している。

【プログラム】

2021年度留学・海外研修等危機管理オリエンテーション

日 時：2021年8月16日（月）15：00～16：30
場 所：ZOOM
司 会：富山 大（国際部 国際学生交流課）

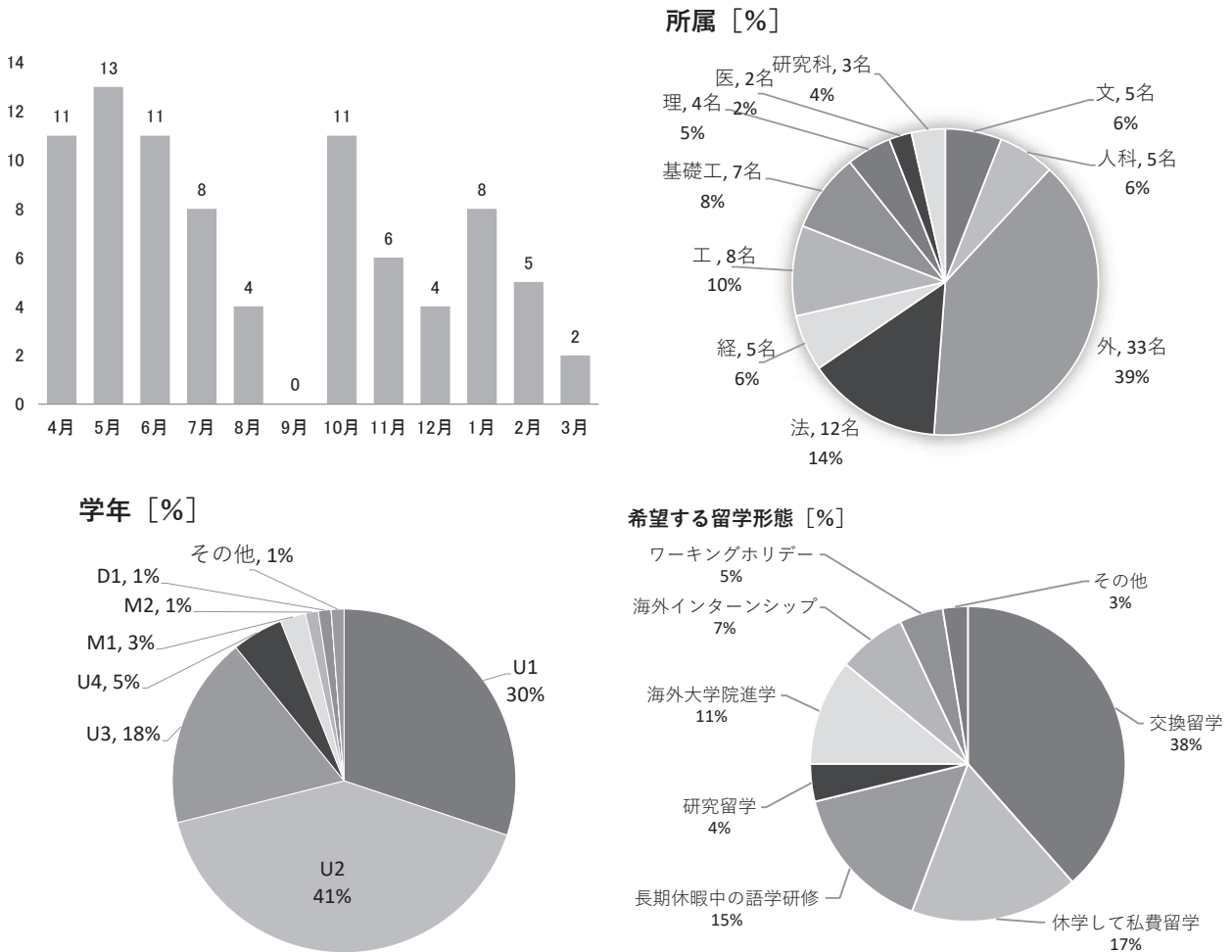
〈プログラム〉

- ① 15：03～15：05 開会の挨拶
近藤 佐知彦（国際教育交流センター 教授）
- ② 15：05～15：25 海外渡航時の諸手続きと留意事項について
富山 大（国際部 国際学生交流課）
- ③ 15：25～15：45 海外渡航時の健康管理について
馬場 幸子（医学系研究科 助教）
- ④ 15：45～16：30 海外渡航時の危機管理およびOSSMAサービスについて
江見 裕明（日本エマージェンシーアシスタンス株式会社 営業部 部長）

5. 海外留学相談

(1) 教員による留学相談

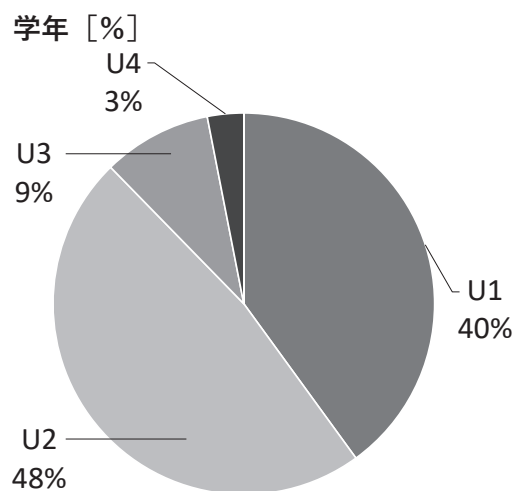
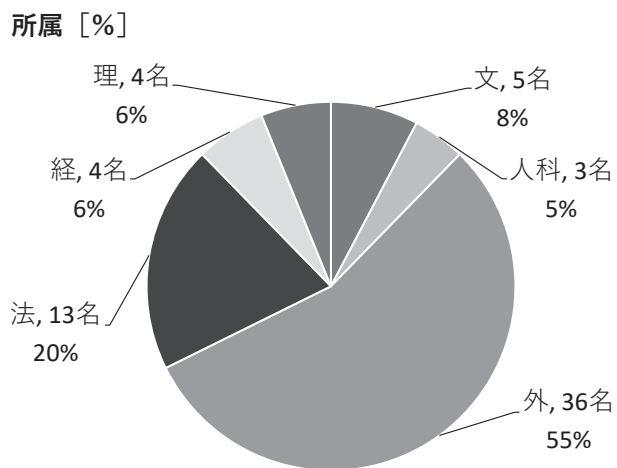
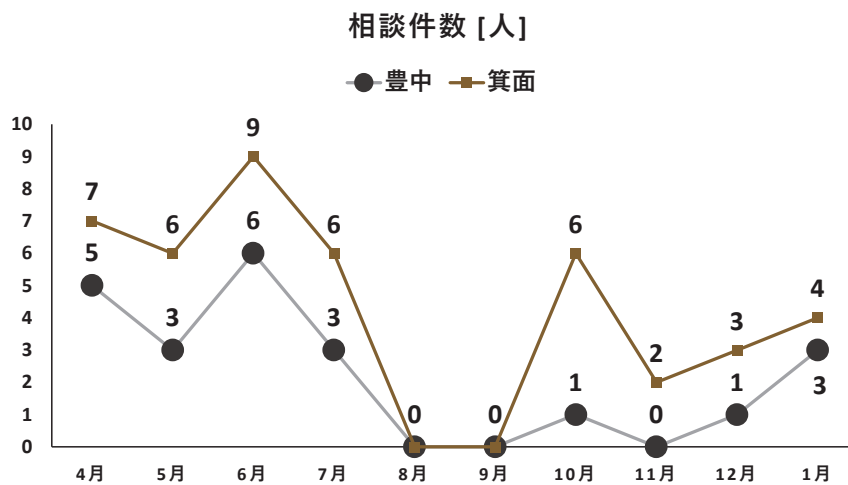
2021年度は、ZOOMを用いて、授業期間中（2021年4月6日～2022年2月3日）に週2～3回、2～3月に週1回、教員による留学相談をオンラインで実施した。留学相談は留学ポートフォリオシステムを用いて随時受け付けた。相談利用者の総数は138名（2021年度は計79名、2019年度は計124名）で、内訳は以下の通りである（留学ポートフォリオシステムによる集計、有効回答者数83名）。



【オンラインによる留学相談の様子】

(2) 学生による留学相談

交換留学を経験した本学学生2名により、ZOOMにて定期的なオンライン留学相談会を開催した。相談利用者の総数は65名（2020年度は計16名、2019年度は計31名）で、内訳は以下の通りである。



6. 英語学習支援プログラム Project HELP !

国際教育交流センターでは、2015年度から本学の英語学習者（メンティー）と英語が堪能な留学生（メンター）をマッチングし、メンティーのInternational English Language Testing System（英語力証明試験。以下、IELTS）のスコア向上を目指す3ヶ月間の英語メンタリング学習プログラム‘Project HELP！（Harmonized English Language Program, 以下、HELP！）’を実施している。海外留学に向けて英語能力を向上させたい阪大生「メンティー」と、その英語学習をサポートする意思のある「メンター」（主に大阪大学への留学生。母語は英語に限らない）をマッチングし、約3か月の期間内に90分×8回のメンタリングを行い、海外留学実現のために必要な英語力の獲得を目指す。

Project HELP!概要	
目的	留学生 (Mentor メンター) ① 日本理解の促進、② 日本留学の魅力を向上させる「能動的社会参加」の提供 阪大生 (Mentee メンティー) ① 異文化理解、② 留学可能なレベルの外国語（英語）習得（IELTS6.0以上）を目指す
メンタリング	<ul style="list-style-type: none"> 90分×8回、3か月以内の終了を目指す 学習支援システムMEntOR上に学習記録記入 8回終了後、メンターへ認定証の発行
開始時期	2015年10月～（現在第14期目）
担当教職員	近藤佐知彦教授、石倉佑季子准教授、中野遼子特任助教、垣塚保子事務補佐員
協力	ブリティッシュ・カウンシル、日本英語検定協会 株式会社アンザスインターナショナル

3月/9月中旬 メンター募集開始

4月/10月初め メンティーの募集開始

4月/10月半ば メンター・メンティーのマッチング

4月/10月後半 **HELP!オリエンテーション**

- ・メンター：IELTS講習会 (by BC)
- ・メンティー：IELTSレベルチェックテスト (by 英検協会、L, R, W)
- ・顔合わせ (スケジュール提出、教科書貸し出し等)

5月 / 11月 メンタリング開始

- ・MEntORシステムサポート
- ・メンター・メンティー交流会
- ・各ペアのメンタリングのサポート、中間アンケート

7月 / 1月 メンタリング終了

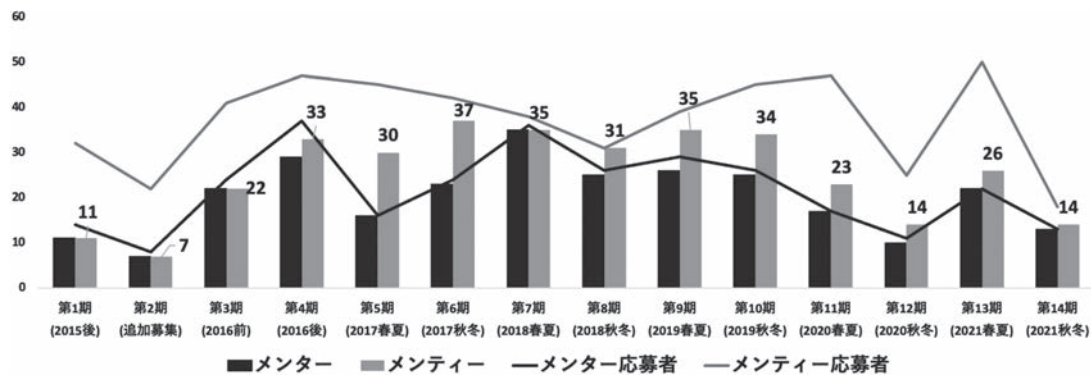
8月 / 2月 **メンター審議・認定証発行**

終了後アンケート、メンティーIELTS受験予定日報告
メンティーはProject開始から6ヶ月以内にIELTS受験

8回のメンタリング終了後、メンティーにはIELTS受験およびスコア報告を義務付けており、メンターには修了証が授与される。このように、外部機関の協力により制度化された本プログラムは、メンター・メンティーともに参加者満足度が高く、每期平均95%以上である。

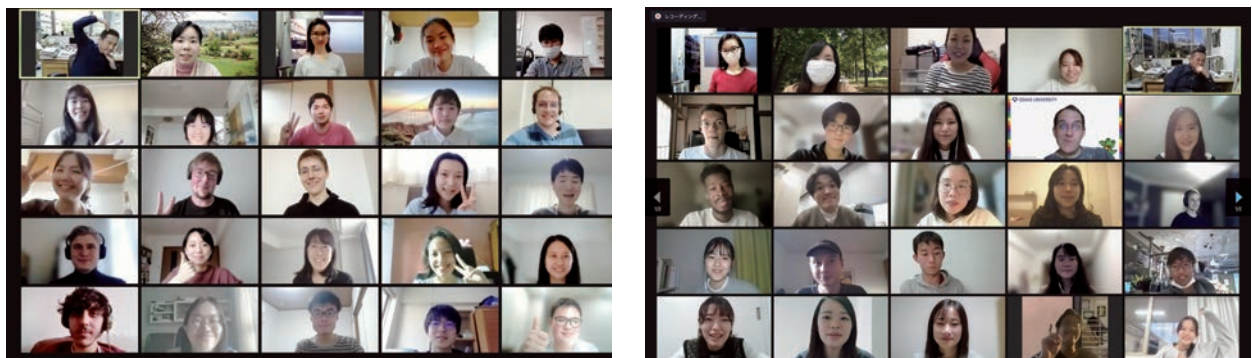
メンターの国籍は様々であり、これまでに50カ国からの留学生が参加している。また、メンティーの所属学部・研究科については、外国語学部、法学部、経済学部、工学部・工学研究科、基礎工学部、医学部・医学研究科の学生による応募が多く、HELP！は全学的に需要のあるプログラムであるといえる。

2021年度は、昨年度同様、パンデミックの影響により、説明会、オリエンテーションをオンラインで実施した。メンタリングは、学内の活動基準に合わせて、対面とオンライン併用可とした。参加者については、第13期は26組（メンター22名、メンティー26名）、第14期は14組（メンター13名、メンティー14名）であり、メンタリング修了率は100%であった。



また、每期メンターとメンティーの交流会も実施している。2021年度はオンラインにより実施し、海外にいる元メンターをゲストに迎えて、交流を行った。

さらに、2018年度から、学内プロジェクトとしてのHELP！の他に、外部機関と連携して、HELP！+を実施している。2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった。その代わりに、KSCと大阪女学院高等学校によるキャリアワークショップにHELP！経験学生を派遣し、昨年度に続き、学外連携・地域貢献の取り組みを進めた。



【HELP！オンラインオリエンテーション後の集合写真】

教員による留学相談

学期期間中を中心に、大阪大学国際教育交流センター教員による海外留学に関する個別面談を実施しています(予約制)。交換留学への応募を考えている方や、留学に興味のある方は、ぜひ個別面談を活用してみてください。

2021年度秋冬学期は、当面 ZOOM で留学相談を行っております。対面が可能になれば、また留学ポートフォリオ上でお知らせします。

(状況によって、相談方法が変更される場合があります。詳細はポートフォリオをご覧ください。)

面談予約方法



留学相談予約は WEB サイト「留学ポートフォリオ」の「面談予約」から行ってください。

留学ポートフォリオ URL
<https://exportfolio.ciee.osaka-u.ac.jp>



「留学ポートフォリオ」はマイハンドアのショートカット「留学支援サイト」からもアクセスできます。



2021年度 秋冬学期の面談予定

※面談日に変更がある場合は、留学ポートフォリオ上でお知らせします。

毎週火曜日

◇時間： 学期期間中の毎週火曜日 12:00～13:00
ZOOM によるオンライン相談

毎週木曜日

◇時間： 学期期間中の毎週木曜日 12:00～13:00
ZOOM によるオンライン相談

第2・4金曜日

◇時間： 学期期間中の第2・4金曜日 12:00～13:00
ZOOM によるオンライン相談

※この件に関するお問い合わせは、国際教育交流センター (go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp) までお願いします。

交換留学経験学生による留学相談

Interested in studying abroad? Come on in!

「交換留学経験者に生の情報を聞いてみたい」という方、昼休みに交換留学経験者が相談を受け付けています。留学前の準備のこと、留学中のこと、留学後のこと…etc. ぜひ相談してください。お待ちしております！

2021年度 秋～冬学期の予定

2021年度秋～冬学期は、新型コロナウイルスの影響により、オンラインによる留学相談を行います。

オンライン留学相談を希望する人は、以下の、希望する相談担当者の Google フォームに記入して、ZOOM URL を取得してください。



月曜日担当：金井七瑠（法学部国際公共政策学科4年）

Google フォーム：<https://forms.gle/LghWUHGjv2nUVyrb9>



金曜日担当：山崎由真（外国語学部外国語学科中国語専攻4年）

Google フォーム：<https://forms.gle/ULMrVxd8Z7pgjVwMA>

* 相談が重なる場合は、待ってもらうことがあります。

その場合は、担当者の指示にしたがってください。



企画：大阪大学交換留学経験者有志

協力：大阪大学国際教育交流センター／国際部国際学生交流課

この件に関するお問い合わせは、国際教育交流センター（go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp）までお願いします。

交換留学経験学生による留学相談

2021 年度 秋～冬学期の予定

◇担当：金井七瑠（法学部国際公共政策学科 4 年）

ジョージア大学（アメリカ）交換留学

留学先での専攻：国際政治

10 月 4 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
10 月 18 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
11 月 15 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
11 月 29 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
12 月 6 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
12 月 20 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
1 月 17 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00
1 月 31 日	（月）	12 : 00	～	13 : 00

◇担当：山嵯由真（外国語学部外国語学科中国語専攻 4 年）

リーズ大学（イギリス）交換留学

留学先での専攻：芸術・人文・文化学部 言語・文化・社会学専攻

業務スーパージャパンドリーム財団

10 月 15 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
10 月 29 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
11 月 12 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
11 月 26 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
12 月 10 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
12 月 24 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
1 月 7 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00
1 月 21 日	（金）	12 : 00	～	13 : 00

企画：大阪大学交換留学経験者有志

協力：大阪大学国際教育交流センター／国際部国際学生交流課

この件に関するお問い合わせは、国際教育交流センター（go-abroad@ciee.osaka-u.ac.jp）までお願いします。



Ⅷ. サポートオフィスの活動

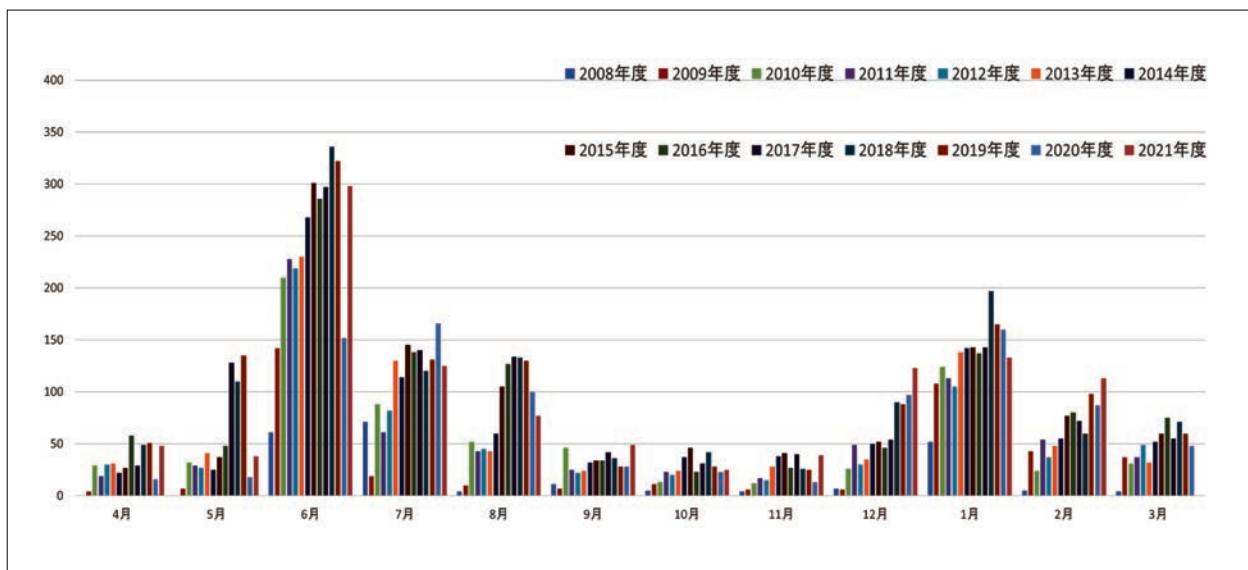
2007年10月に国際部学生交流推進課内に設置されたサポートオフィスは、大阪大学が文部科学省から国際化拠点整備事業（Global 30）に採択されたことに伴い、2009年10月、国際教育交流センター（旧留学生センター）内に新オフィスを設立し、事業を拡大・拡充した。

サポートオフィスでは、留学生・外国人研究者、およびその家族の方が必要とする、来日前の査証（ビザ）に関わる手続き、宿舍手配の支援、来日直後に必要な諸手続き、また日本滞在中に必要な在留手続き等を中心に、サポートや情報提供を行なっている。このような活動をとおして、世界中から大阪大学に来る留学生・外国人研究者と大阪大学のスタッフ全員の絆を大切に、留学生・外国人研究者が安心して日本で生活し、本来の目的である勉学・研究活動に集中できるように支援することを目指している。2021年度のサポートオフィスの主な取り組みは次のとおりである。



1. 査証（ビザ）関連手続きの支援

2021年度の在留資格認定証明書（CESR）交付申請手続きの件数は1068件であった（「留学」894件、「教授」87件、「文化活動」48件、「家族滞在」39件、その他0件）。新型コロナウイルス感染症の影響により減少した昨年度より1割程度増加した。CESR Web申請システムは、申請者が利用しやすくなるよう年々改良を重ねている。ビザ関連支援に関連する電話対応件数は約815件、窓口対応件数は約49件であった（2022年3月分は含まず）。グラフは2008年度からの月別のCESR Web申請件数を示す。



2. 住宅・宿舍手配の情報提供・支援

2010年4月にUR都市機構との留学生・外国人研究者に対する賃貸住宅貸与に関わる全学での包括協定が締結され、連帯保証人不要・敷金減免や研究者向けには家具家電付住宅とNPOによる生活サポートサービスが実現した。これに伴い、URとの契約件数（入居者人数）は、2009年度は1件（1名）だったが、サポートオフィスが業務を引き継いだ2010年は10件（14名）、2011年度は33件（42名）、2012年度は48件（62名）、2013年度19件（26名）、2014年度43件（51名）、2015年度47件（60名）、2016年度77名と確実に支援実績を伸ばしている。2017年3月には約55名がキャンパス周辺の賃貸住宅に居住していた。

2017年3月31日をもってサポートオフィスでのUR新規受付は終了し、4月1日以降は大阪大学生協マイルームにて受付並びに対応を開始した。ハウジングリクエスト機能は2019年7月31日をもって終了しているが、引き続きホームページにおいて、留学生や外国人研究者自身がおおよそどのような宿舎に該当するのかを導く宿舎ナビシステムの提供をしている。2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る水際対策の強化により、留学生の新規渡日は困難な状況が続き、在学中の学生にとっても、授業の多くがオンラインで実施されたため、宿舎支援に関する電話・窓口対応は大きく減少した。2021年度後半からは水際対策の緩和もあり、留学生が増えるにつれて問い合わせも増加傾向となった。情報提供のツールとしてホームページの役割が増す中、大阪大学生協の協力を得て、「オンライン内覧」を利用してもらうことで部屋探しをサポートすることができた。

3. 新規来日外国人留学生・研究者向けオリエンテーションの開催

サポートオフィスとIRISが主催となり、サイバーメディアセンターの協力のもと、新規来日者向けに、吹田・豊中キャンパスにて年2回オリエンテーションを開催した。昨年度同様、新規渡日が難しい状況が続き、2021年度の参加者の合計は43名であった。主な内容は以下のとおりであった。

- ① 異文化での生活についてのアドバイス
- ② 学内外のコミュニティとネットワークの紹介
- ③ 在留資格に関する案内
- ④ 市役所等での手続きの案内
- ⑤ 学内の情報ネットワークの説明
- ⑥ 日本語履修についての説明（留学生対象）

2021年度 秋期
新規来日留学生・外国人研究者向けオリエンテーション
主催：サポートオフィス&IRIS (国際教育交流センター)

◆ 開催日時・場所

2021年 9月29日 (水) 豊中キャンパス 豊中総合学館 3階 講義室301
英語 13時00分 受付開始 13時30分～(55分程度)
日本語 14時30分 受付開始 15時00分～(55分程度)

2021年 10月5日 (火) 吹田キャンパス 情報科学研究科 B棟1階 B101
英語 13時00分 受付開始 13時30分～(55分程度)
日本語 14時30分 受付開始 15時00分～(55分程度)

◆ 実施内容

- ・ 大阪大学で新しい生活を始めるにあたってのアドバイス。
- ・ IRISとその他の学内外コミュニティについて。
- ・ 在留資格について。
- ・ 市役所などでの手続き
- ・ 大阪大学のインターネットサービスについて
- ・ 日本語プログラム履修方法について
- ・ 個別相談 (自由参加)

キャンパスマップ ダウンロード

サポートオフィス
TEL: 06-6879-4750
E-mail: supportoffice@office.osaka-u.ac.jp

留学生交流情報室「IRIS」
TEL: 06-6879-7076
E-mail: iris@ciee.osaka-u.ac.jp

4. 留学生・外国人研究者受入事務に初めて関わる担当者向け研修会の開催

留学生・外国人研究者の受入に関わる体制支援の強化を目指して、留学生・外国人研究者受入事務に初めて関わる担当者を対象に、受入に伴う在留資格認定証明書交付申請に必要な手続きや宿舍支援（情報提供）に関する研修会を以下の日程で開催した。グラフは研修会への参加者数の推移を示す。

【2021（R.3）年度第1回研修会】

参加者 50 名（教員 1 名、事務職員 49 名）

2021 年 6 月 3 日（木）13：30-15：50（吹田）

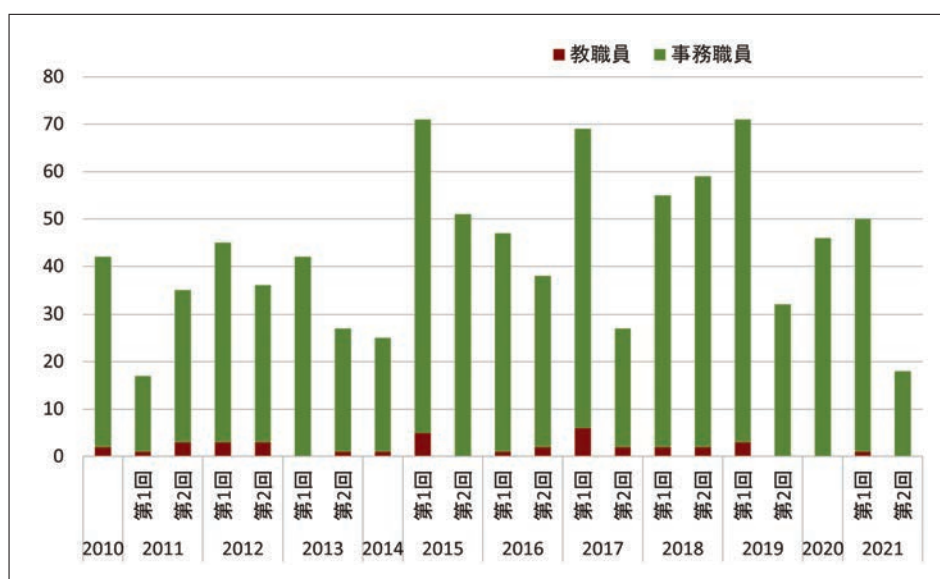
2021 年 6 月 4 日（金）13：30-15：50（豊中）

【2021（R.3）年度第2回研修会】

参加者 18 名（教員 0 名、事務職員 18 名）

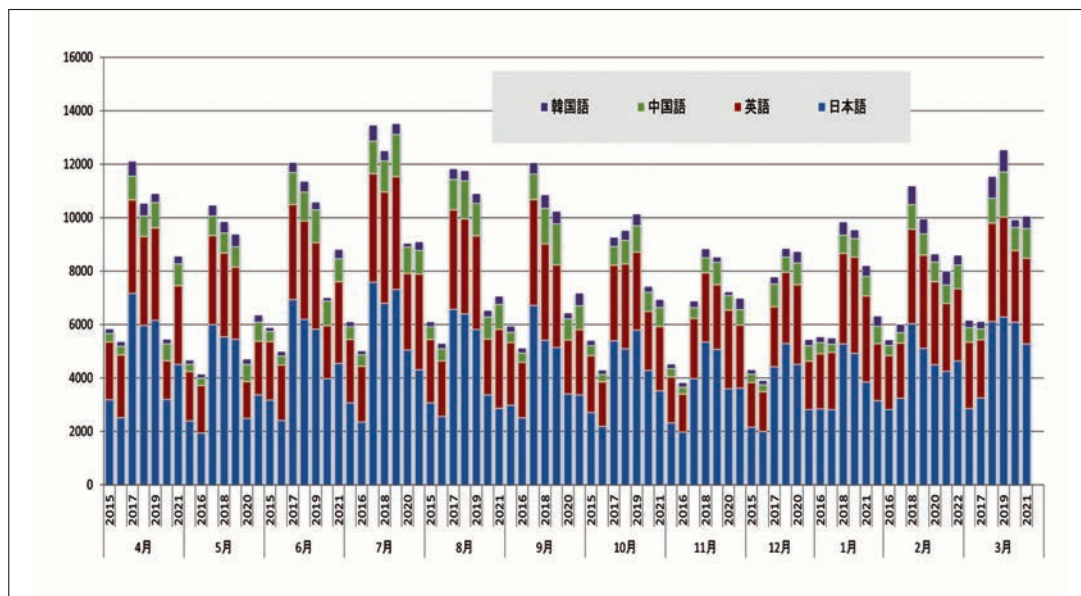
2021 年 11 月 29 日（月）13：30-15：50（豊中）

2021 年 12 月 1 日（水）13：30-15：50（吹田）



5. ホームページの管理運営

サポートオフィスの業務や留学生・外国人研究者が必要な情報を集約したホームページを4ヶ国語で公開している（日・英サイトは2010年4月より、中・韓サイトは2011年4月より公開）。2021年度のサイトの閲覧件数は、日本語サイトが約40,723件、英語サイトが約28,332件、中国語サイトが約8,566件、韓国語サイトが約3,687件であった（2022年3月分は含まず）。グラフは各言語の閲覧件数を示す。



6. 各種印刷物の改訂版作成・配布

『Coming to Osaka』は、主にCESR送付時にE-mailで、『Living in Osaka』は新規来日者向けオリエンテーションおよび留学生・外国人研究者受入事務担当者研修会でホームページからのダウンロードを呼び掛けた。



IX. 大学院・学部教育

国際教育交流センター教員はそれぞれの専門分野に応じて、兼任教員として大学院・学部教育を担当している。以下、1. 授業担当、2. 研究指導、3. 研究指導学生学位論文、4. リサーチ・アシスタント (RA) の受入れの順で、教学活動を記述する。

1. 授業担当

(1) 言語文化研究科

① 博士前期課程

【科目名】言語文化社会・文化研究A (西口光一)

【講義概要】第二言語の習得について主要な理論を知り、習得支援の基本原則を理解すること、第二言語教育の対象としての日本語という言語の特性について理解すること、声 (voice、バフチン、1988) の獲得をめざす第二言語教育としての表現活動の日本語教育の企画を知り、同企画の中でコーディネータの役割、学習者の役割、教授者の役割を理解すること、表現活動の日本語教育の中での習得の原理を知り、具体的な習得促進活動を理解することを目標として、『新次元の日本語教育の理論と企画と実践』(くろしお出版)を繙読しながら、議論を行った。また、自己表現の日本語教育の主要リソースである『NEJ: A New Approach to Elementary Japanese — テーマで学ぶ基礎日本語』(くろしお出版)を批判的に検討し、実際の授業方法を研究した。

【科目名】言語文化社会・文化研究B (西口光一)

【講義概要】第二言語教育の教育方法を考える場合には、しばしば即座に奥表現と及びその構造などが注目される。しかしながら、習得支援の営みである第二言語教育を根本的に考えるためには、個別言語に注目する以前に言語というものそのものの性質や役割などを知る必要がある。本講では、人文学や社会科学において、ことばがどのように見られ、どのような役割を人間に対して果たしているかを理解することを目的として、『第二言語教育のためのことば学』(福村出版)を繙読しながら、議論を行った。

【科目名】言語技術研究A

【講義題目】日本語による書記言語によるコミュニケーション (村岡貴子)

【講義概要】本授業の目的は、日本語による書記言語の特徴と関連の概念について理解し、それをもとに、種々のメディアを通じたコミュニケーション、および言語教育の実践上の問題について考察することである。考察に際しては、ジャンル分析の手法を援用しつつ、各種文書の具体的な言語資料を材料として表現やテキスト構造の分析を行った。また、関連の学術論文等の文献を読むことにより、書記言語でのコミュニケーションにおいて生じる誤解や、正確な伝達の不成功に関する課題についても認識を促した。

本授業では、基本的に、講義に加え、議論や意見交換を促し、全体での議論を深化させる形態をとった。また、学期後半の受講者による発表期間には、自身が発表を担当しない文献の場合にも事

前に必ず読んでコメントができるように、問題意識を持って議論に臨むよう注意を促した。

【科目名】 言語技術研究B

【講義題目】 アカデミック・ライティングの実践と研究（村岡貴子）

【講義概要】 本授業の目的は、関連の学術論文等の文献を読み、コミュニケーションの目的や場面に
応じた、書記言語 コミュニケーションとしてのライティング活動について理解を深めることであ
る。特に、大学院生として研究活動を行う上で必要となるアカデミック・ライティングに関して、
ディスコース・コミュニティの概念から、受講者各自の専門分野における事情や方法論を客観的に
把握できることを目指した。原著論文をはじめ、レポートやレジュメ、要旨の作成といった、アカ
デミックな場面でのライティング活動の特徴、および多様な背景を有する読み手への配慮につい
て、具体例に基づき、十分な意見交換を行った。

本授業では、基本的に、講義に加え、ペアか3人程度の小グループでの議論や意見交換の結果を
クラスで共有し、全体での議論を深化させる形態をとった。また、学期後半の受講者による発表の
期間には、自身の発表担当文献ではない場合にも事前に必ず読んでコメントができるように、問題
意識を持って議論に臨むよう注意を促した。個別の発表を行う期間に、院生自身の研究テーマやそ
の方法の課題についても意見交換を行う時間を設けた。

【科目名】 コミュニケーション論A

【講義題目】 第二言語の学習・教育と質的研究（義永美央子）

【講義概要】 本講義では、質的研究のデザイン、方法、パラダイムについて指定図書の輪読をもとに
検討した。その後、質的研究の手法を用いた論文を読み、質的データ分析に基づく第二言語教育・
学習の研究がどのようにして可能になるのかを考察した。これらの過程を通じ、質的研究に関する
理解を深め、受講生各自の今後の研究に役立てることを目指した。

【科目名】 コミュニケーション論B

【講義題目】 第二言語学習とオートノミー（義永美央子）

【講義概要】 近年、言語学習において、学習者の自律（オートノミー）、すなわち自分自身の学習を管
理する能力に注目が集まっている。教室外にも学習リソースが豊富にある現代社会において、言語
学習者は「何をどのように学ぶか」をどのように決定しているのか。また、主体的な学習を教師は
どのように支援できるのか。本講義では、自律学習に関する基本概念を検討した上で、自律学習・
学習者オートノミーやその支援に関する論文を読み、自律学習がどのように生起するのか、また自
律学習をどのように支援できるのかを考察した。

【科目名】 第二言語教育実践研究A

【講義題目】 ITによる言語教育の拡張（難波康治）

【講義概要】 第二言語教育あるいは外国語教育にとって、IT技術の活用がどのような意味を持つか
について検討した。前期は、インストラクショナルデザインの基礎となる教育学および心理学の理
論について学び、特にオンライン教育で問題となる動機付けについてARCSモデル等、既存のデザ
インを参考に検討を行った。

【科目名】第二言語教育実践研究B

【講義題目】外国語教育におけるインターフェイスの変革（難波康治）

【講義概要】ITを用いた新たな教育の一環として、メタバース（仮想空間）における教育に焦点をあて、それがどのように第二言語教育を変えうるかについて実践的に検討した。具体的には、演習の場としてVRゴーグルを用いたメタバース環境を全面的に採用し、その中でVR映像・動画を利用した言語・文化教材を作成した。これらのツールおよび環境を活用した教育活動を企画、実践、評価することを通して、仮想空間における第二言語（外国語）教育実践の可能性を検討した。

【科目名】第二言語社会・文化研究A

【講義題目】第二言語社会・文化研究入門（大谷晋也）

【講義概要】言語とは、文化とは、言語文化とは、そして言語文化教育とは何かということ、それらを取り巻く周辺領域を視野に入れながら再考した。世界の多言語・多文化状況を確認した後、フランスや日本などを例にとりながら、言語文化教育が担い、担わされてきた負の歴史について振り返るとともに、それを正へと転換する方策について考察した。

同時に、言語文化・言語文化教育、およびその周辺領域に関する時事問題について随時取り扱い、この方面に関する幅広い視野の形成を期した。

【科目名】第二言語社会・文化研究B

【講義題目】言語文化教育の現状と課題（大谷晋也）

【講義概要】ヨーロッパや旧ソ連・北米・オーストラリア・シンガポール・ブルネイ・モーリシャスなど、いくつかの国や地域に焦点を当て、現在行われている言語文化教育を知るとともに、よりよい教育の可能性について、院生の発表を元に検討した。

特に、異言語教育や少数言語に関する各国の言語（教育）政策を取り上げ、その目的と効果、理想と現実について知り、より平等で開かれた社会を目指した言語文化教育がどのようなものであるべきなのかを考察した。

同時に、言語文化・言語文化教育、およびその周辺領域に関する時事問題について随時取り扱い、この方面に関する幅広い視野の形成を期した。

【科目名】グローバリゼーション論A

【講義題目】グローバリゼーションと国民国家（西村謙一）

【講義概要】グローバリゼーションの時代における国家や国民の実態及び概念のあり方について、市民社会論やアイデンティティ論、エスニシティ論等を援用しつつ考察した。まず、グローバリゼーションといわれる現象を分析するためのさまざまな理論的枠組みについて検討を加え、その後「市民社会」概念やエスニシティの複数性に関する議論について概観した。

【科目名】グローバリゼーション論B

【講義題目】グローバリゼーションの中の市民社会（西村謙一）

【講義概要】グローバリゼーションのもとで国家や国民の実態及び概念のあり方について、市民社会論やアイデンティティ論、エスニシティ論等を援用しつつ考察した。「グローバリゼーション論A」

で学んだ理論的枠組をもとに、具体的な事例を取り上げて公共圏や親密圏のあり方や一国内における社会的包摂／排除について検討した。

② 博士後期課程

【科目名】第二言語教育学特別研究A（西口光一）

【科目名】第二言語教育学特別研究B（西口光一）

【科目名】言語コミュニケーション論特別研究A（村岡貴子）

【科目名】言語コミュニケーション論特別研究B（村岡貴子）

【科目名】コミュニケーション論特別研究A（義永美央子）

【科目名】コミュニケーション論特別研究B（義永美央子）

(2) 人間科学研究科

① 博士前期課程

【科目名】共生行動論特別研究Ⅰ及び共生行動論特別研究Ⅱ（渥美公秀、権藤恭之、近藤佐知彦）、
共生行動論特定研究Ⅰ及び共生行動論特定研究Ⅱ（渥美公秀、権藤恭之、近藤佐知彦）

【講義題目】国際化と共生社会（近藤佐知彦担当分）

【講義概要】夏期集中講義を三人の教員で分担、近藤は共生社会実現における国際化に関する分野について講義とワークショップを行った。

【科目名】教育工学特定演習Ⅰ

【講義題目】教育実践研究

【担当教員】西森年寿、齊藤貴浩、村上正行、後藤崇志、岡本紗知、大山牧子

【講義概要】教育工学における教育実践研究に関するテーマを中心として、この分野における重要な文献の輪読、研究方法論の習得、学外の研究者による研究紹介と議論を行う。

② 博士後期課程

【科目名】教育工学特別演習Ⅰ

【担当教員】西森年寿、齊藤貴浩、村上正行、後藤崇志、岡本紗知、大山牧子

【講義概要】教育工学における教育実践研究に関するテーマを中心として、この分野における重要な文献の輪読、研究方法論の習得、学外の研究者による研究紹介と議論を行う。

(3) 大学院高度副プログラム

【プログラム名】インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践

【プログラム実施部局／連携部局】国際教育交流センター／言語文化研究科

【履修対象者】大学院博士前期（修士）課程学生および博士後期課程学生

【修了要件】8単位以上を修得すること（原則として1年で修得すること）

【プログラムの趣旨・概要】グローバル化、ボーダレス化の進展に伴い、言語や文化を必ずしも共有しない人々の間でのコミュニケーションの必要性が大いに高まっている。こうした「インターカルチュラル・コミュニケーション」は、多様な価値観や思考様式への気づきを促す契機となる一方

で、様々な誤解や対立を引き起こす場合もある。このような問題は、自文化で当然とされる言語行動様式等が共有されていないことが原因であることが多いものである。本プログラムでは、現代社会の多言語・多文化化の現状やインターカルチュラル・コミュニケーションに関する基礎理論を学ぶと同時に、実際のインターカルチュラル・コミュニケーション場面で生じる問題への対処方法について、実践的な課題を通じて考える。

【到達目標】本プログラムでの学習を通じて多様性への自覚を促し、地球市民としての知恵と態度を涵養すること。また、各授業での協働的な学習活動を通じて、背景の異なる他者とのコミュニケーションの際に、他者の話を傾聴し、かつ、他者への配慮ある発信方法を獲得すること。

【カリキュラムの構成】コミュニケーション論A・B（義永美央子）、言語技術研究A・B（村岡貴子）、第二言語社会・文化研究A・B（大谷晋也）、グローバリゼーション論A・B（西村謙一）から原則として1年以内に8単位を修得する。

(4) 学際融合教育科目

【春～夏学期】

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
上級専門日本語（アカデミック・ライティング）A	Advanced Japanese (academic writing) A	村岡 貴子
第二言語学習方法論	Methodology of Second Language Learning	義永美央子
上級専門日本語（アカデミック・リーディング）A	Advanced Japanese (academic reading) A	西村 謙一
キャリアデザインとビジネス・コミュニケーション	Career Design and Business Communication	魚崎 典子
上級専門日本語（アカデミック・コミュニケーション）A	Advanced Japanese (academic communication) A	瀬井 陽子

【秋～冬学期】

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
上級専門日本語（アカデミック・ライティング）B	Advanced Japanese (academic writing) B	村岡 貴子
言語学習アドバイジング入門	Introduction to Advising in Language Learning	義永美央子
上級専門日本語（アカデミック・リーディング）B	Advanced Japanese (academic reading) B	西村 謙一
上級専門日本語（アカデミック・コミュニケーション）B	Advanced Japanese (academic communication) B	瀬井 陽子

(5) インターナショナル・カレッジ

【春～夏学期】

国際交流科目（※共通教育科目の基礎教養科目として設定）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
オンライン・リソースを活用したL2学習	Second Language Learning with Online Resources	魚崎 典子
日本の社会とイデオロギー	Japan: Society and Ideology	近藤佐知彦
科学英語入門	Introduction to Scientific English	岡本 紗知
異文化コミュニケーションとパフォーマンス	Intercultural Communication and Performance	中野 遼子

日本語 100 ～ 600 レベル

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
国際コミュニケーションセミナー 日本語 103	International Communication Seminar (Japanese) 103	難波 康治
国際コミュニケーションセミナー 日本語 203	International Communication Seminar (Japanese) 203	福良 直子
国際コミュニケーションセミナー 日本語 303	International Communication Seminar (Japanese) 303	西口 光一
国際コミュニケーションセミナー 日本語 403	International Communication Seminar (Japanese) 403	義永美央子
日本語・グローバル理解演習 500e	Japanese and Global Understanding 500e	大谷 晋也
日本語・グローバル理解演習 600d	Japanese and Global Understanding 600d	大谷 晋也

日本語 700 レベル（共通教育科目）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
総合日本語	Japanese for Advanced Communication	難波 康治
総合日本語	Japanese for Advanced Communication	福良 直子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	義永美央子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	難波 康治
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	岡本 紗知
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	大谷 晋也
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	西村 謙一
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	有川 友子

【秋～冬学期】

国際交流科目（※共通教育科目の基礎教養科目として設定）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
文化：その理解へのアプローチ	Approaches to Understanding Cultures	有川 友子
異文化コミュニケーション入門	Introduction to Intercultural Communication	石倉佑季子
コンピュータを活用した語学学習	Computers in Language Learning	魚崎 典子
日本のメディアとコミュニケーション	Media and Communications in Japan	近藤佐知彦
科学と社会	Science and Society	岡本 紗知
異文化コミュニケーションとパフォーマンス	Intercultural Communication and Performance	中野 遼子

日本語 100 ～ 600 レベル

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
国際コミュニケーションセミナー 日本語 103	International Communication Seminar (Japanese) 103	難波 康治
国際コミュニケーションセミナー 日本語 203	International Communication Seminar (Japanese) 203	福良 直子
国際コミュニケーションセミナー 日本語 303	International Communication Seminar (Japanese) 303	西口 光一
国際コミュニケーションセミナー 日本語 403	International Communication Seminar (Japanese) 403	義永美央子
日本語・グローバル理解演習 500a	Japanese and Global Understanding 500a	大谷 晋也
日本語・グローバル理解演習 600b	Japanese and Global Understanding 600b	大谷 晋也

共通教育科目（700 レベル）

科目名（日本語名称）	科目名（英語名称）	担当教員名
総合日本語	Japanese for Advanced Communication	福良 直子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	義永美央子
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	難波 康治
専門日本語	Japanese for Academic Purposes	村岡 貴子
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	岡本 紗知
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	西村 謙一
多文化コミュニケーション (日本語)	Communication in Multicultural Contexts (Japanese)	大谷 晋也

2. 研究指導

(1) 言語文化研究科

① 博士前期課程学生

学年	研 究 題 目	指 導 教 員
M1	複言語環境で育った人にとっての補習授業校の役割	(山下 仁) 西口 光一
M1	中国人上級日本語学習者における ICT ツールの利用実態 — 学習段階による違いに注目して —	村岡 貴子 難波 康治
M1	留学生アドバイジングのあり方の考察 — 大学院進学希望者を対象に進学準備の事例に基づいて —	義永美央子 (田中 智行)
M1	大学院教室における例を用いた相互行為の会話分析	(岡田 悠佑) 大谷 晋也
M1	非漢字系学習者の漢字学習教材の効果 — 帝京マレーシア日本語学院の学生の自己評価をもとに —	(榎本 剛士) 西村 謙一
M2	日中同形類義語学習に関する考察 — JFL 環境における日本語教材の開発に向けて —	西口 光一 (ホドシチェック・ボル)
M2	中国語を母語とする留学生の日本語によるピアレスポンスの実態 — 「研究計画書」作成支援のためのオンライン活動プロセスの分析から —	村岡 貴子 (瀧田 恵巳)
M2	アクティブラーニング型授業での学習者の自己開示について — 日本語教室における学生の発話を中心に —	義永美央子 (小口 一郎)
M2	日本語のアカデミック・ライティングにおける引用の実態 — 中国人留学生を例として —	義永美央子 (高橋 克欣)
M2	在日華僑華人家庭の子どもの継承語保持に関する質的研究 — TEM による言語使用と言語意識の分析を中心として —	(植田 晃次) 大谷 晋也
M2	m-learning における言語学習の学習意欲に関する研究 — 中国のリーディング語学アプリから —	(岩居 弘樹) 難波 康治
M2	普遍的なメタファーと写像の欠落について — ANGER IS THE HEAT OF A FLUID IN A CONTAINER からみた日越対照研究 —	(田村 幸誠) 西村 謙一

注) 「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。() 内は言語文化研究科・サイバーメディアセンター教員。

② 博士後期課程学生

学年	研 究 題 目	指 導 教 員
D1	日本語アカデミック・ライティングにおけるパラフレーズの諸相 — 中国の大学生の事例をもとに —	村岡 貴子 大谷 晋也
D2	資質・能力を養成するオンライン日本文化コースの開発 — 中国の日本語専攻教育をもとに —	西口 光一 (岩居 弘樹)
D2	日本生まれ・幼少期に来日した外国にルーツを持つ子どものリテラシー形成過程	西口 光一 (村上スミスアンドリュウ)
D2	日本国内勤務のビジネスパーソンの背景事情が配慮言語行動に与える影響 — Eメールによる日本語での書記言語コミュニケーションに焦点を当てて —	村岡 貴子 (植田 晃次)
D2	一般市民の「民法の言葉」に関する意識の調査 — 「分かりやすくする工夫」提案に向けて —	村岡 貴子 (山下 仁)
D2	仮想学習環境における自律学習に基づく学習コミュニティの形成過程 — 成人日本語クラスでのバーチャルエスノグラフィをもとに —	義永美央子 難波 康治
D2	日本語学校経営者のライフストーリーの探求	義永美央子 (小口 一郎)
D3	日本語名詞修飾節の習得と教育上の課題 — エジプト人中級日本語学習者を中心に —	西口 光一 (平山 晃司)
D3	看護師への調査から見た医療現場における業界用語の使用実態 — 業界用語の学習支援に向けて —	村岡 貴子 (大谷 晋也)
D3	外国につながる子どもと公教育 — 日本語教育ディスコースの批判的談話研究 —	義永美央子 難波 康治
D3	対話における協働とは — 日本語での批判的読みを目指した協働学習における事例研究 —	義永美央子 (岡田 悠佑)
D3	日本語学校の非常勤講師たちの「労働世界」 — テキスト/インタビューにおける成員カテゴリー化の実践 —	義永美央子 (岡田 悠佑)
D3	在日留学生同士の会話の中で表出されるアイデンティティー	義永美央子 (秦 かおり)

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は言語文化研究科教員。

3. 研究指導学生学位論文

(1) 言語文化研究科

① 修士学位論文

論文題目	指導教員
日中同形類義語学習に関する研究 —JFL環境における日本語教材の開発に向けて—	西口 光一 (ホドシチェック・ボル)
中国語を母語とする留学生の日本語によるピアレスポンスの実態 —「研究計画書」作成支援のためのオンライン活動プロセスの分析から—	村岡 貴子 (瀧田 恵巳)
アクティブラーニング型授業での学習者の自己開示について —日本語教室における学生の発話を中心に—	義永美央子 (小口 一郎)
日本語のアカデミック・ライティングにおける引用の実態 —中国人留学生を例として—	義永美央子 (高橋 克欣)
m-learningにおける言語学習の学習意欲に関する研究 —中国のリーディング語学アプリから—	(岩居 弘樹) 難波 康治
普遍的なメタファーと写像の欠落について —ANGER IS THE HEAT OF A FLUID IN A CONTAINERからみた日越対照研究—	(田村 幸誠) 西村 謙一

注)「指導教員」欄については、前者が主指導教員で、後者が副指導教員。()内は言語文化研究科教員。

② 博士学位論文

論文題目	指導教員
ベトナム系移住者のモバイル・ライヴズとことば —難民としての経験と日本での生活—	義永美央子 西口 光一 *(小川 敦)

*印は博士論文資格審査後の研究指導教員。()内は言語文化研究科教員。

4. リサーチ・アシスタント (RA) の受入れ

研究プロジェクト名	採用時間数	担当教員
アカデミックプレゼンテーション教育方法開発のための基礎調査	24時間	福良 直子

X. その他の活動

1. 各種行事

○学内行事

- 2021年4月5日 Project HELP!メンティー向けミニ説明会
於：オンラインで実施
- 2021年4月5日 OUマルチリンガルプラザ 2021年度春夏学期 TAオリエンテーション
於：OUマルチリンガルプラザ豊中キャンパス 参加者3名
- 2021年4月6日 OUマルチリンガルプラザ 2021年度春夏学期 TAオリエンテーション
於：OUマルチリンガルプラザ豊中キャンパス 参加者3名
- 2021年4月8日 OUマルチリンガルプラザ 2021年度春夏学期 TAオリエンテーション
於：OUマルチリンガルプラザ豊中キャンパス 参加者3名
- 2021年5月8日 Project HELP! 交流会（協力：一般社団法人イケダ大学）
於：オンラインで実施
- 2021年5月10日 令和3年度前期新任教員研修プログラム（教育能力開発プログラム）
「外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法」
於：リモートで実施 参加者10名
- 2021年5月31日 2021年度英語による留学生のためのオンライン就職対策入門セミナー
於：リモートで実施 参加者51名
- 2021年6月5日 Project HELP! 交流会（協力：一般社団法人イケダ大学）
於：オンラインで実施
- 2021年6月8日 第94回大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：豊中キャンパス 待兼山会館2階会議室 参加者17名
- 2021年7月3日 Project HELP! 交流会（協力：一般社団法人イケダ大学）
於：オンラインで実施
- 2021年9月8日 第95回 大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：吹田キャンパス ICホール2階 講義室5 & 6 参加者15名
- 2021年9月17日 令和3年度国際教育交流／留学生支援連絡会
於：オンライン 参加者59名
- 2021年10月4日 Project HELP! メンティー向けミニ説明会
於：オンラインで実施
- 2021年10月4日 OUマルチリンガルプラザ 2021年度秋冬学期 TAオリエンテーション
於：リモートで実施 参加者6名
- 2021年10月7日 OUマルチリンガルプラザ 2021年度秋冬学期 TAオリエンテーション
於：リモートで実施 参加者4名
- 2021年10月8日 OUマルチリンガルプラザ 2021年度秋冬学期 TAオリエンテーション
於：リモートで実施 参加者5名

- 2021年10月11日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第1回目「Introduction」
 於：リモートで実施、参加者44名
- 2021年10月18日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第2回目「情報収集及び企業・
 業界研究」
 於：リモートで実施、参加者20名
- 2021年10月28日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第3回目「自己分析 キャリアデ
 ザイン」
 於：リモートで実施、参加者27名
- 2021年11月5日 国立大学フェスタ OUマルチリングプラザ体験「会話練習・大学院生企画」
 於：リモートで実施 参加者数10名（会話練習6名、大学院生企画4名）
- 2021年11月6日 国立大学フェスタ OUマルチリングプラザ体験「言語学習ポートフォリオワ
 ークショップ」
 於：リモートで実施 参加者数6名
- 2021年11月12日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第4回目「OBOGによる体験談」
 於：リモートで実施、参加者24名
- 2021年11月18日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第5回目「内定者による体験談」
 於：リモートで実施、参加者18名
- 2021年11月25日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第6回目「博士OBOGによる体
 験談」
 於：リモートで実施、参加者32名
- 2021年12月7日 第96回 大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
 於：豊中キャンパス 待兼山会館2階会議室 参加者16名
- 2021年12月6日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第7回目「エントリーシートの
 書き方／合同企業説明会等対策」
 於：リモートで実施、参加者21名
- 2022年1月7日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第8回目「面接・グループディ
 スカッション（オンライン／対面）対策」
 於：リモートで実施、参加者16名
- 2022年1月21日 令和3年度留学生のためのキャリアセミナー 第9回目「オンライン集団面接
 練習会」
 於：リモートで実施、参加者12名
- 2022年2月3日 留学生支援フロントスタッフ向けセミナー（研修会）
 於：豊中キャンパス 待兼山会館2階会議室 参加者14名
- 2022年2月7日 令和3年度後期新任教員研修プログラム（教育能力開発プログラム）「外国人留
 学生に向けたキャリア・就職支援の方法」
 於：リモートで実施、参加者8名
- 2022年2月10日 2021年度第2回国立大学法人留学生指導研究協議会 兼 第55回大阪大学留
 学生教育・支援協議会
 於：リモートで実施、学内参加者14名、学外参加者130名、合計144名

- 2022年2月11日 第10回留学生交流・指導研究会
於：リモートで実施、参加者：午前30名、午後31名
- 2022年2月24日 学生対応研修会
於：ZOOM 参加者21名
- 2022年2月24日 日本語授業教務オリエンテーション
於：ZOOM 参加者20名
- 2022年2月25日 学生対応研修会
於：ZOOM 参加者13名
- 2022年2月25日 日本語授業教務オリエンテーション
於：ZOOM 参加者14名
- 2022年3月5-6日 言語文化教育研究学会 第8回年次大会「ディスアビリティ・インクルージョンと言語文化教育」
於：リモートで実施 参加者263名
- 2022年3月9日 第97回 大阪大学留学生支援フロントスタッフネットワーク・ミーティング
於：吹田キャンパス ICホール2階 講義室5 & 6 参加者14名

2. 海外出張・海外研修

新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響により、世界各国が入国規制措置を実地したため、2021年度の海外出張および海外研修の実施は1件のみとなった。

○海外出張

- 2022年2月19日－3月2日 近藤佐知彦教授 アメリカ合衆国のルイジアナ州・ニューオリンズ、カリフォルニア州サンディエゴ、ハワイ州ホノルルに出張
Association for International Education Administrators (AIEA) での研究発表、UCサンディエゴ校およびハワイ大マノア校訪問のため

3. 出版物・印刷物等（2021年5月から2022年4月まで）

No.	出版物のタイトル	発行年月
1	大阪大学国際教育交流センター 2020年度年報	2021年6月
2	留学生日本語プログラムガイドブック 2021年度版（秋冬編）（web版） GUIDEBOOK 2021: Japanese Language Programs for International Students	2021年8月
3	留学生日本語プログラムガイドブック 2022年度版（春夏編）（web版） GUIDEBOOK 2022: Japanese Language Programs for International Students	2022年2月
4	大阪大学留学生センター研究論集 多文化社会と留学生交流 第26号 Journal of Multicultural Education and Student Exchange No. 26	2022年3月

4. 来訪者対応

新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響により、わが国を含めた世界各国が入国規制措置を実地したため、2021年度は来訪者の受け入れはなかった。

5. 研究者のためのオーラル・コミュニケーション日本語

2018年度より、核物理研究センターと国際教育交流センターは共同して外国人研究員等に対する基礎日本語コース Oral Communications in Japanese for International Researchers（研究者のためのオーラル・コミュニケーション日本語、略してOCJプログラム）クラスを開始した。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、いずれのクラスもオンライン開催となった。実施実績は以下の通り。

□秋のOCJプログラム

- 期 間：2021年11月15日（月）から同12月24日（金）の期間の月曜日と金曜日の各計12回
- 履修状況：(1) Aクラス（初習者クラス）12名
(2) Bクラス（既習者クラス）6名

6. にほんごテーブル

にほんごテーブルは、国際教育交流センターとの連絡・調整・協力の下で、ボランティアグループが主催する自主的な活動である。にほんごテーブルでは、参加者はボランティアとペアになって、ひらがなや漢字の学習をしたり、各自が選んだ教科書に沿ってボランティアといっしょに日本語の練習をしたり、自由に会話を楽しんだりしている。こうした活動に参加することで、参加者は自身の日本語学習の達成感を得てさらにモチベーションを高めることができ、いっそう日本語力を伸ばすことができる。また、にほんごテーブルでは、参加しているボランティアの方々から、日本での生活を快適に過ごすことができるさまざまな生活情報等も得ることができ、参加する外国人研究者や留学生及びその配偶者にとって、日本で快適に楽しく暮らす上でたいへん貴重な場となっている。国際教育交流センターは、各部局の留学生相談室等への案内や、留学生会のメーリングリストでの案内など広報の面で日本語テーブルの活動を支援している。

○吹田地区でのにほんごテーブル活動

吹田地区ではボランティアグループ竹の子にほんご交流会がにほんごテーブルを運営している。竹の子にほんご交流会は、外国人研究者とその配偶者や留学生等の日本語習得支援と交流を目的とした市民ボランティアグループで、市民ボランティアと国際教育交流センターとで協議して平成18年4月に発足した。会員数は、発足時が41名で、令和3年4月現在31名である。

先年度末に、豊中地区で活動しているマチカネにほんご交流会と合同でZoom活用研修会等を実施し、本年度は、オンラインでにほんごテーブルを実施した。

□実施状況

- 期 間：春季 令和3年5月11日（火）－7月27日（火）
秋季 令和3年11月2日（火）－令和4年2月22日（火）
- 参 加 登 録：国際教育交流センターと竹の子にほんご交流会の両ホームページ（<https://www.takenoko-jlt.com>）に、募集ポスターとRegistrationを掲載して、E-mailにて参加登録を受けつけた。
- 曜 日 と 時 間：上記期間中の毎週火曜日 13時00分－14時30分
春季は12回、秋季は15回
- 場 所：Zoom会議システムにより実施した。
- 平均参加者数：春季 外国人参加者：10.0人、日本人参加者：13.3人
秋季 外国人参加者：7.4人、日本人参加者：8.4人

□交流会活等

本年度実施予定の交流会等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにすべての活動は中止となった。

□研修会（ZoomによるWeb会議にて実施）

- 開催日時：令和4年3月15日（火）14：00～15：15
- 講 師：国際教育交流センター 西口光一教授
- 題 名：共生社会のための「つながる日本語」を育む基礎的な日本語教育

□総 会（ZoomによるWeb会議にて実施）

- 開催日時：令和4年3月22日（火）13：00～14：00
- 議 案：①令和3年度活動報告 ②令和3年度会計報告及び監査報告
③会則改定（会員の退会等の条文追加） ④運営委員の退任者と新委員の選出
⑤令和4年度活動計画

○豊中地区でのにほんごテーブル活動

ホストファミリーなどの活動をしている市民ボランティアの方々から豊中地区でのにほんごテーブルの開催のご提案があり、国際教育交流センターとしてもそうした活動の意義を認識したところから、平成26年6月より、豊中地区においても、市民ボランティアグループの自主運営と国際教育交流センターがそれを支援する形で、にほんごテーブルが開設されることとなった。豊中地区ではボランティアグループマチカネにほんご交流会がにほんごテーブルを運営している。参加者は主として、実施場所である国際交流会館に居住する外国人研究者や留学生・外国人研究者などの配偶者である。研究生や大学院生等も参加している。

マチカネにほんご交流会は、外国人研究者とその配偶者や留学生等の日本語習得支援と交流を目的とした市民ボランティアグループで、市民ボランティアと国際教育交流センターとで協議して平成26年5月に発足した。会員数は、令和3年4月現在23名である。

先年度末に、吹田地区で活動している竹の子にほんご交流会と合同でZoom活用研修会等を実施し、本年度は、オンラインでのにほんごテーブルを実施した。Zoom活用研修会に参加したのは、9名であった。

□実施状況

- 期 間：春季 令和3年4月14日（水）－7月28日（水）
秋季 令和3年10月6日（水）－令和4年1月26日（水）
- 曜日と時間：上記期間中の毎週水曜日 10時30分－12時00分
春季は15回、秋季は15回
- 場 所：Zoom会議システムにより実施した。
- 平均参加者数：春季 外国人参加者：3人、日本人参加者：3人
秋季 外国人参加者：6人、日本人参加者：6人

□マチカネにほんご交流会総会

総会、研修会はコロナウイルス感染拡大のため中止となった。

□研修会

竹の子にほんご交流会と合同で実施した。

7. CIEE研究会

国際教育交流センターに所属する教員は、各専門分野において活発な研究活動を行っており、その研究活動の成果報告や意見交換の場として、センター研究会が実施されている。2021年度は下記の通り実施された。

第1回

- 日 時：2021年5月14日（金）14：30－15：30
- 場 所：オンライン形式
- 講 師：ひろばWGメンバー（義永先生、難波先生、韓先生、瀬井先生）
- 題 名：「日本語学習支援サイト・OU日本語ひろばの開発について」

第2回

- 日 時：2022年2月4日（金）15：00－16：00
- 場 所：オンライン形式
- 講 師：近藤佐知彦先生
- 題 名：「大学教育および大学国際化における Planned Happenstances と Learning Outcome に関する考察」

XI. 教員個人データ

【記載事項】

1. 専門分野
2. 授業担当 (1) 共通教育 (2) 学際融合教育科目 (3) 大学院 (4) 留学生日本語プログラム (5) 国際交流科目 (6) インターナショナル・カレッジ (7) その他
3. 学生指導 (1) 博士後期課程 (2) 博士前期課程 (3) 日本語集中コース生 (4) 短期留学特別プログラム (5) インターナショナル・カレッジ学部正規生 (6) その他
4. 教育 (学外) 5. 学内運営 6. 外部資金 原則としてresearchmap参照
7. 研究業績 原則としてresearchmap参照 (1) 論文 (2) 著書 (3) 口頭発表
8. 学外運営 9. 会議運営 10. 講演 11. 報道 12. その他

※以下の記載の7の(1)論文と(3)口頭発表の記載の末尾にある「有」「無」は、査読の有無。

有川友子

1. 専門分野

教育人類学、異文化間教育学

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

多文化コミュニケーションI/II-3

(5) 国際交流科目

○秋～冬学期

Approaches to Understanding Cultures

(6) インターナショナル・カレッジ

○秋～冬学期

Approaches to Understanding Cultures (上記国際交流科目を英語コース学生へのオープンとした)

3. 学生指導

- 留学生の相談対応

5. 学内運営

(職指定を含む)

- 国際教育交流センター長
- 国際交流委員会委員
- ハウジング委員会委員
- 経営協議会委員
- 総長選考会議委員

6. 外部資金

- 科学研究費 分担者 (代表者：太田亨 (金沢大学)、基盤研究 (B) (一般)「アジア圏留学生の学修・キャリア支援教育における総合的支援に関する学際的研究」(令和3年度～令和7年度))

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0054911>

(3) 口頭発表

- 有川友子、2021、「これからの留学生教育交流の課題と展望—新型コロナウイルス感染症拡大の経験を通して考える—」(単独ポスター)、異文化間教育学会第42回大会、2021年6月12-13日(オンライン開催)。

8. 学外運営

- 国立大学留学生指導研究協議会 事務局幹事

9. 会議運営

- 令和3年度第2回国立大学法人留学生指導研究協議会、企画運営、大阪大学国際教育交流センター、2022年2月(オンライン開催)

1. 専門分野

高等教育の国際化、大学入学者選抜の多様化、異文化コミュニケーション

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

多文化コミュニケーション（日本語）

学問の扉（多文化コミュニケーションセミナー 大学の国際化：多様な学生を受け入れるための大学づくり）

(2) 国際交流科目

○春～夏学期

Internationalization of Higher Education

○秋～冬学期

Introduction to Intercultural Communication

(3) その他

- HAO (Handai Admission Officer) Program 「多面的・総合的評価 203」、書類選抜
- オーストラリア「異文化体験」演習、“Multicultural Interaction between Australia and Japan”

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

- OUSSEP学生 37名（春夏学期）、28名（秋冬学期）
- Summer Online Japanese Course 学生 5名、Winter Online Japanese Course 学生 11名

(6) その他

- 2021年度エンデランカレッジ夏季語学研修プログラム 学生 6名
- 2021年度フリンダース大学夏季語学研修プログラム 学生 3名
- 2021年度トンプソンリバース大学夏季語学研修プログラム 学生 3名
- 2021年度エンデランカレッジ春季語学研修プログラム 学生 2名
- 教員による留学相談 138名
- 大学間交換留学応募学生 113名

5. 学内運営

- ファкультイ・ディベロップメント委員会 委員
- 国際交流委員会 海外派遣候補者選考 WG 委員
- 国際教養・専門複合型プログラム（OUSSEP）運営 Sub WG 委員
- 国連ユースボランティアプログラム推進タスクフォース 委員
- 国際教育交流センター 広報出版委員会 委員

- 教員による留学相談 企画・実施担当
- 国際交流科目担当教員およびTA対象オリエンテーション・FD 企画・実施担当
- Project HELP！ (Harmonized English Learning Program) コーディネーター

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/yukikoishikura>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/yukikoishikura>

8. 学外運営

- 令和3年度に向けた文部科学省国際バカロレア教育推進コンソーシアム審査委員会 委員

魚崎典子

1. 専門分野

教育工学、外国語教育学

2. 授業担当

(2) 学際融合教育科目

○春学期

キャリアデザインとビジネスコミュニケーション

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

オンライン・リソースを活用したL2学習

○秋～冬学期

コンピュータを活用した語学学習

3. 学生指導

- ・就職相談コーナーにおいて留学生の個別相談対応（豊中・吹田・箕面キャンパス）
- ・留学生の相談対応（IRIS、豊中分室、箕面分室）

5. 学内運営

- ・海外派遣候補者選考WG
- ・学生交流支援検討WG
- ・大阪大学学内留学生指導フロントスタッフネットワーク・ミーティング構成員
- ・大阪大学キャリアセンター 連携教員
- ・大阪大学卒業生担当者ネットワーク連絡会構成員
- ・大阪大学国際教育交流センター広報委員会

6. 外部資金

https://researchmap.jp/noriko_uosaki/research_projects

7. 研究業績

https://researchmap.jp/noriko_uosaki/published_papers

8. 学外運営

- ・グローバル人材活用運営協議会構成員
- ・CARES-Osaka 運営委員会構成員
- ・CUMTEL SIG（Classroom, Ubiquitous and Mobile Technologies Enhanced Learning Special Interest Group, sub-division of ICCE2020） program committee member

- LTLE2021 (9th International Conference on Learning Technologies and Learning Environments) program committee member

12. その他

- 2021年度「留学生のためのキャリアセミナー」企画運営、大阪大学国際教育交流センター、2021年10月～2022年1月（計9回）

大谷晋也

1. 専門分野

応用言語学、言語社会学、文献学

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

多文化コミュニケーション（日本語）／学問への扉

○秋～冬学期

多文化コミュニケーション（日本語）／アドヴァンストセミナー

(3) 大学院（言語文化研究科）／外国語学部

○春～夏学期

第二言語社会・文化研究A／言語文化教育論（F）

○秋～冬学期

第二言語社会・文化研究B／言語文化教育論（G）

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

日本語・グローバル理解演習JGU500e

日本語・グローバル理解演習JGU600d

○秋～冬学期

日本語・グローバル理解演習JGU500a

日本語・グローバル理解演習JGU600b

(6) インターナショナル・カレッジ

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 500e

国際コミュニケーションセミナー日本語 600d

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 500a

国際コミュニケーションセミナー日本語 600b

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 2（留学生）

(2) 博士前期課程 2（留学生）

5. 学内運営

- ・大学院言語文化研究科兼任教員
- ・マルチリンガル教育センター兼任教員

- マルチリンガル教育センターカリキュラム委員会委員
- 情報化推進会議委員
- 情報セキュリティ推進会議委員
- 情報セキュリティ対策室部局CSIRT
- マチカネにほんご交流会担当教員

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/otani.shinya>

8. 学外運営

- 国・地方公共団体（箕面市等）、医療事務連絡会 委員
- 国・地方公共団体（箕面市・大阪大学）、みのおTAMASA（日本語支援活動等）顧問
- その他、みのお外国人医療サポートネット 運営委員

岡 本 紗 知

1. 専門分野

微生物学、科学教育学、科学英語

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

多文化コミュニケーション（日本語）

多文化コミュニケーションセミナー I

○秋～冬学期

多文化コミュニケーション（日本語）

多文化コミュニケーションセミナー II

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

Introduction to Scientific English（科学英語入門）

○秋～冬学期

Science and Society（科学と社会）

3. 学生指導

- 留学生の相談対応（吹田IRIS、豊中分室）
- 留学生の個別相談対応

5. 学内運営

- 学生生活委員会委員
- 大阪大学ハラスメント相談室専門アドバイザー
- 大阪大学学内留学生指導フロントスタッフネットワーク・ミーティング構成員
- 国際教育交流センター評価WG委員
- 国際教育交流センター人権・セクシャルハラスメント対策委員
- 国際教育交流センター財務委員
- 国際教育交流センター研究倫理教育 実施担当
- 国際教育交流センター研究調査申請 対応窓口
- 国際教育交流センター研究会 実施担当

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/pochi>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/pochi>

8. 学外運営

- 一般社団法人 日本科学教育学会 学会誌「科学教育研究」編集委員
- 国立教育政策研究所「学校における教育課程編成の実証的研究」国際研究班委員

10. 講演

- 同志社大学言語学習アドバイジングワークショップ、「九州大学 SALC の取り組みについて」、京都、2021.9.22

近藤 佐知彦

1. 専門分野

ディスコース・レトリック分析、社会心理学、留学生教育、グローバル人材育成教育

2. 授業担当

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

日本の社会とイデオロギー、“Japan; Society and Ideology”

イノベーションの管理と変遷（三森八重子招聘教授と共同開講）

○秋～冬学期

日本のメディアとコミュニケーション、“Media and Communications in Japan”

ソーシャルイノベーションとソーシャルデザイン（三森八重子招聘教授と共同開講）

○集中

Osaka University Anniversary Lecture（Medical and Life Sciences）

オーストラリア「異文化体験」演習、“Multicultural Interaction between Australia and Japan”

フィリピン「異文化体験」演習（夏）、“Intercultural Experience in Philippines（Summer）”

フィリピン「異文化体験」演習（春）、“Intercultural Experience in Philippines（Spring）”

(7) その他

○集中

人間科学部 ・ 人間科学研究科 共生行動論Ⅱ

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

- ・ OUSSEP 学生 37 名（春夏学期）、28 名（秋冬学期）

(6) その他

フィリピン「異文化体験」演習（夏）6 名（派遣）

オーストラリア「異文化体験」演習 3 名（派遣）

フィリピン「異文化体験」演習（春）2 名（派遣）

トンプソンリバース大学夏季語学研修プログラム 3 名（派遣）

Summer Online Japanese Course 学生 5 名（受入）

Winter Online Japanese Course 学生 11 名（受入）

5. 学内運営

- ・ 国際教養・専門複合型プログラム（OUSSEP）運営 Sub WG 座長
- ・ 海外派遣候補者選考 WG 委員
- ・ 国連ユースボランティアプログラム推進タスクフォース 委員
- ・ 国際教育交流センター 広報委員長

- Project HELP！ (Harmonized English Learning Program) コーディネータ
- 体育会ボクシング部 部長

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/read0076589>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0076589>

8. 学外運営

- 留学生教育学会 会
- (公財) 吹田市国際交流協会 理事長
- (公財) 大阪府国際交流財団 評議委員長
- (一社) 外国人留学生高等教育協会 理事
- 特定非営利活動法人JAFSA 監事
- 留学生支援コンソーシアム大阪 誘致委員長
- 官民協働「トビタテ！留学Japan」学識者選考委員
- (公財) 業務スーパージャパンドリーム財団 選考委員

9. 会議運営

- 留学生教育学会 25 回総会・研究大会 (8 月 20 日 および 21 日)、東京会場 (東京外大) 設営の上、オンライン開催

10. 講演

- テーマ報告「オンラインでの『留学』はありえるか；2021 年度上半期の全国調査から」国立情報学研究所 - National Institute of Informatics (オンライン・招待講演) 11 月 19 日

11. 報道

- コメント；留学生、来日できぬまま 入国停止 1 年 日本語学校、学生減「いよいよ経営厳しい」(朝日新聞 4 月 3 日)
- コメント；入国待ち「時間の浪費」 留学生 9 割減…来日あきらめ 他国へ (読売新聞 9 月 18 日)
- コメント；「飛行機予約、涙出るかも」入国緩和で留学生 長い「鎖国」に弊害 (朝日新聞 11 月 5 日)
- コメント；(社説)「留学生の受け入れ コロナで試される国際化」(毎日新聞 11 月 21 日)
- コメント；「国民の皆様へ」 国大協が異例の談話 「鎖国」めぐり大学に危機感 (朝日新聞 2 月 14 日)
- コメント；(時時刻刻)「水際、押し切られ転換 世論か経済か、揺れた首相」(朝日新聞 2 月 18 日)
- コメント；「入国待機の留学生 15 万人「かなり先では…」ぬぐえない不信感」(朝日新聞 2 月 18 日)

瀬井陽子

1. 専門分野

第二言語習得、日本語教育学、学習者オートノミー

2. 授業担当

(2) 学際融合科目

○春夏学期

上級専門日本語 アカデミックコミュニケーションA

○秋冬学期

上級専門日本語 アカデミックコミュニケーションB

3. 学生指導

(6) その他

- OUマルチリンガルプラザ：日本語学習アドバイジング 17名
- OUマルチリンガルプラザ：日本語学習ポートフォリオワークショップ 51名

5. 学内運営

- 国際教育交流センター 教務委員会 委員
- マルチリンガル教育センター 兼任教員
- OUマルチリンガルプラザ コーディネーター

6. 外部資金

https://researchmap.jp/ysei/research_projects

7. 研究業績

https://researchmap.jp/ysei/published_papers

8. 学外運営

- 言語文化教育研究学会 年次大会委員会 副委員長

10. 講演

- 国立大学フェスタ 公開講座 OUマルチリンガルプラザ体験「言語学習ポートフォリオワークショップ」

中野 遼子

1. 専門分野

留学生教育、留学交流教育、異文化コミュニケーション

2. 授業担当

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

異文化コミュニケーションとパフォーマンス、“Intercultural Communication and Performance”

インターンシップ実習コース2（春夏）、“Internship Course Course 2 (Spring/Summer)”

○秋～冬学期

言語コミュニケーションとパフォーマンス、“Language Communication and Performance”

インターンシップ実習コース2（秋冬）、“Internship Course Course 2 (Fall/Winter)”

○集中

フィリピン「異文化体験」演習（夏）、“Intercultural Experience in Philippines (Summer)”

オーストラリア「異文化体験」演習、“Intercultural Experience in Australia”

フィリピン「異文化体験」演習（春）、“Intercultural Experience in Philippines (Spring)”

(7) その他

大学院高度副プログラム ユネスコチェア「グローバル時代の健康と教育～健康のための社会デザイン～」

○春～夏学期

異文化コミュニケーションとパフォーマンス、“Intercultural Communication and Performance”

○秋～冬学期

言語コミュニケーションとパフォーマンス、“Language Communication and Performance”

3. 学生指導

(4) 短期留学特別プログラム

- OUSSEP学生 37名（春夏学期）、28名（秋冬学期）

(6) その他

- フィリピン「異文化体験」演習（夏）6名（派遣）
- オーストラリア「異文化体験」演習 3名（派遣）
- フィリピン「異文化体験」演習（春）2名（派遣）
- トンプソンリバース大学夏季語学研修プログラム 3名（派遣）
- Summer Online Japanese Course学生 5名（受入）
- Winter Online Japanese Course学生 11名（受入）
- 教員による留学相談 138名
- 大学間交換留学応募学生 113名（派遣）

5. 学内運営

- 国際教養・専門複合型プログラム（OUSSEP）運営 Sub WG 委員
- 海外派遣候補者選考 WG 委員
- 国連ユースボランティアプログラム推進タスクフォース 委員
- 国際教育交流センター 財務委員会 委員
- 教員による留学相談 企画・実施担当
- 交換留学経験学生による留学相談 コーディネータ
- Project HELP！（Harmonized English Learning Program）コーディネータ

6. 外部資金

https://researchmap.jp/r-nakano/research_projects

- マツダ財団研究助成 ― 青少年健全育成関係 ― 2020-2022年度 「パフォーマンス共同創作を通じた留学生と日本の学生とのコミュニティ形成に関する実践研究」 研究代表者

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/r-nakano>

8. 学外運営

- 多文化関係学会 編集委員
- 国立大学留学生指導研究（COISAN）協議会 大会委員
- 言語文化教育研究学会（ALCE）大会校委員
- 異文化コミュニケーション学会 査読協力者
- 官民協働「トビタテ！留学Japan」学識者選考委員

11. 報 道

- 「海外留学、再開の動き 国内大学、欧米へ今秋渡航めざす ワクチン接種進展が追い風」（日本経済新聞、朝刊2面、2021年7月11日）
- コメント：「Studying becomes a source of stress for students locked out of Japan」（NHK WORLD-JAPAN, 2021年12月23日）

12. その他

- Project HELP！メンテナー向けミニ説明会の実施
2021年4月5日、2021年10月4日、於：オンライン（ZOOM）
- Project HELP！交流会
一般社団法人イケダ大学の協力によりオンラインで3回開催、企画を担当
2021年5月8日、6月5日、7月3日 於：ZOOM
- OUSSEP学生および派遣交換留学生対象オンライン情報交換会の実施
2022年2月17日、於：オンライン（ZOOM）

難 波 康 治

1. 専門分野

日本語教育学、社会言語学、教育工学

2. 授業担当

(1) 全学共通教育科目

○春～夏学期

総合日本語

専門日本語

○秋～冬学期

専門日本語

(3) 大学院

○春～夏学期

第二言語教育実践研究A

○秋～冬学期

第二言語教育実践研究B

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語JA100

○秋～冬学期

総合日本語JA100

(6) インターナショナル・カレッジ

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 103

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 103

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 3 (うち留学生は1)

(2) 博士前期課程 2 (うち留学生は2)

5. 学内運営

• 教育情報化WG

• CALLシステムWG

• インターナショナルカレッジ教務委員会

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0054912>

9. 学外運営

- 公益財団法人日本語教育学会 査読・運営協力者
- 公益信託井内留学生奨学基金運営委員会委員
- 公益信託井内奨学財団評議委員

1. 専門分野

言語哲学、言語心理学、日本語教育学

2. 授業担当

(3) 大学院

○春～夏学期

応用言語学研究A

言語文化教育論特別研究A

○秋～冬学期

応用言語学研究B

言語文化教育論特別研究B

(4) 留学生日本語プログラム

○春～夏学期

IJ100 講義

○秋～冬学期

IJ100 講義

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語JA300-1

○秋～冬学期

総合日本語JA300-1

(6) インターナショナル・カレッジ

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 303

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 303

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 3 (うち留学生は2)

(2) 博士前期課程 2 (うち留学生は1)

(3) 日本語集中コース生 24

4. 教育 (学外)

・関西学院大学言語コミュニケーション文化研究科 日本語教育研究F (集中講義)

・京都外国語大学外国語学研究科 日本語教育研究Ⅲ (集中講義)

5. 学内運営

- 評価委員会
- 吹田地区事業場安全衛生委員会
- OUSSEP 運営サブWG
- Maple 運営 サブWG
- 日本語・日本文化研修留学生プログラム実施WG

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0185223>

8. 学外運営

- 公益社団法人日本語教育学会 副会長（2021年6月から）
- 大阪教育大学 日本語教育プログラム教育課程検討実施委員会及び日本語教育プログラム事業評価委員会 委員
- 京都女子大学 日本語教師養成課程カリキュラム検討部会及び評価部会 委員
- 四国大学 日本語教員養成課程検討・実施委員会及び日本語教員養成課程評価委員会 委員

1. 専門分野

比較政治学、東南アジア地域研究、フィリピン研究

2. 授業担当

(1) 共通教育

○春～夏学期

学問への扉（多文化コミュニケーションセミナーI）／多文化コミュニケーション（日本語）

○秋～冬学期

多文化コミュニケーションセミナーII／多文化コミュニケーション（日本語）

(2) 学際融合教育科目

○春～夏学期

上級専門日本語（アカデミックリーディング）A

○秋～冬学期

上級専門日本語（アカデミックリーディング）B

(3) 大学院

○春～夏学期

グローバリゼーション論A

○秋～冬学期

グローバリゼーション論B

(4) 留学生日本語プログラム

○春～夏学期

日本語集中（研修）コース IJ300 クラス

アカデミックリーディングJR600／JR700（日本語）

○秋～冬学期

日本語集中（研修）コース IJ300 クラス

アカデミックリーディングJR600／JR700（日本語）

3. 学生指導

(2) 博士前期課程 2（うち留学生1）

(4) 日本語集中コース生 10

5. 学内運営

- ・男女協働推進センター会議委員
- ・ハラスメント相談室全学相談員

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/read0068694>

- 京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」令和2年度～令和3年度「インドネシアおよびフィリピンの地方自治に関する住民意識の分析」研究代表者

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0068694>

8. 学外運営

- 兵庫県立高等学校 学校評議員

1. 専門分野

言語学、音声学、日本語学、韓国語学

2. 授業担当

○春～夏学期

アカデミックコミュニケーション 400/500 (トラック 1、トラック 2)

アカデミックライティング 400/500

ビジネス日本語講義 500/600/700

キャリアデザインとビジネスコミュニケーション

国際交流科目日本語・グローバル理解演習 500f/ International Communication Seminar Japanese 500f

○秋～冬学期

アカデミックコミュニケーション 400/500 (トラック 1、トラック 2)

アカデミックライティング 400/500

ビジネス日本語コミュニケーション 500/600/700

5. 学内運営

・評価委員会

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/hhs>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/hhs>

8. 学外運営

・近畿音声言語研究会 世話役

福 良 直 子

1. 専門分野

専門日本語教育研究、日本語教育学

2. 授業担当

(1) 共通教育

○ 春～夏学期

総合日本語

○ 秋～冬学期

総合日本語

(5) 国際交流科目

○ 春～夏学期

総合日本語 JA200

○ 秋～冬学期

総合日本語 JA200

(6) インターナショナル・カレッジ

○ 春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 203

○ 秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 203

(7) その他

○ Summer Online Japanese Course (夏季超短期日本語プログラム、2021年8月2日～8月31日)

コーディネーション及び大阪大学の学生との会話セッション担当 (計6回)

○ Winter Online Japanese Course (冬季超短期日本語プログラム、2022年1月11日～2月16日)

コーディネーション及び参加必須のオフィスアワー担当 (計4回)

○ 夏休み日本語特別演習 (来日遅れなどで日本語の授業を履修できなかった留学生やさらに学びたい

という留学生を対象とした特別演習、2021年9月6日～9月14日) コーディネーション

○ 春休み日本語特別演習 (2022年3月7日～3月15日) コーディネーション

3. 学生指導

(5) その他

• Summer Online Japanese Course 学生 5名

• Winter Online Japanese Course 学生 11名

5. 学内運営

教務委員会、財務委員会

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/n483/>

8. 学外運営

- 公益社団法人日本語教育学会 審査・運営協力員

12. その他

- Summer Online Japanese Course サポーター学生対象事前説明会（2021年7月7日、12日）
- Winter Online Japanese Course サポーター学生対象事前説明会（2021年12月22日）

村岡貴子

1. 専門分野

日本語教育学、アカデミック・ライティング研究、専門日本語教育研究

2. 授業担当

(1) 共通教育

○秋～冬学期

専門日本語B

(2) 学際融合教育科目

○春～夏学期

上級専門日本語（アカデミックライティング）A

○秋～冬学期

上級専門日本語（アカデミックライティング）B

(3) 大学院

○春～夏学期

言語技術研究A

言語コミュニケーション論特別研究A

○秋～冬学期

言語技術研究B

言語コミュニケーション論特別研究B

(4) 留学生日本語プログラム

○春～夏学期

日本語集中コースIJ200（読解）

○秋～冬学期

日本語集中コースIJ200（読解）

3. 学生指導

(1) 博士後期課程 4（うち留学生は2）

(2) 博士前期課程 2（うち留学生は2）

(3) 日本語集中コース生 16

5. 学内運営

- 教育課程委員会委員
- 大学院言語文化研究科兼任教員
- マルチリンガル教育センター兼任教員
- ASEANキャンパス運営WGメンバー
- グローバル教育運営委員会オブザーバー

- 国際教育交流センター財務委員会委員長

6. 外部資金

- <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-19H01269/>
- <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20H01270/>
- <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-21H00537/>
- <https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-21H04417/>
- <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-22K00637/>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/read0171050>

8. 学外運営

- 日本語教育学会審査・運営協力員、2017年9月～
- 専門日本語教育学会査読協力者、2021年9月～
- 専門日本語教育学会会長、2021年4月～

10. 講演

<https://researchmap.jp/read0171050>

12. その他

- 国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」プロジェクト構成員

1. 専門分野

日本語教育学、応用言語学

2. 授業担当

(1) 共通教育科目

○春～夏学期

専門日本語

○秋～冬学期

専門日本語

(2) 学際融合教育科目

○春～夏学期

第二言語学習方法論

○秋～冬学期

言語学習アドバイジング入門

(3) 大学院

○春～夏学期

コミュニケーション論A

コミュニケーション論特別研究A

○秋～冬学期

コミュニケーション論B

コミュニケーション論特別研究B

(5) 国際交流科目

○春～夏学期

総合日本語JA400-1

○秋～冬学期

総合日本語JA400-1

(6) インターナショナル・カレッジ

○春～夏学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 403

○秋～冬学期

国際コミュニケーションセミナー日本語 403

3. 学生指導

- (1) 博士後期課程 6 (うち留学生は2)
- (2) 博士前期課程 3 (うち留学生は2)

5. 学内運営

- 人権問題委員会委員 (全学)
- 大学院言語文化研究科兼任教員
- マルチリンガル教育センター兼任教員
- 国際教育交流センター教務委員長
- 国際教育交流センター人権・ハラスメント対策委員会委員長

6. 外部資金

<https://researchmap.jp/miokoyo7145>

7. 研究業績

<https://researchmap.jp/miokoyo7145>

8. 学外運営

- 日本語教育学会 常任理事
- 社会言語科学会 編集委員
- 第二言語習得研究会 大会運営委員会副委員長 (2021年12月まで)
- 第二言語習得研究会 大会運営委員会委員長 (2022年1月から)
- 言語文化教育研究学会 査読協力者

9. 会議運営

- 第二言語習得研究会第32回全国大会、企画運営、オンライン開催、2021年12月11日～12日

12. その他

- 文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等普及事業」(事業区分：(2)日本語教育人材の研修カリキュラム開発④日本語教師【中堅】に関する研修)「日本語教育学会の人材、知財、ネットワークを活かした中堅日本語教師のための研修事業」(JCN事業) 専門委員

資料 1 国際教育交流センターが提供する日本語科目 2021 年度 留学生日本語プログラム 時間割

春～夏学期 留学生日本語選択コース & 日本語集中コース & 国際融合教育科目

科目種別： 留学生日本語選択コース 国際交流科目 日本語集中コース 国際融合教育科目

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 ～ 10:20	JK201	漢字と語彙 (非漢字系) TAリナ	JB300-T1-1	総合日本語 浦木	JK301	漢字と語彙 (非漢字系) TA横川	JB300-T1-2	総合日本語 小原		
			JB200-T1-1	総合日本語 山崎			JB200-T1-2	総合日本語 岡崎		
			JB100-T1-1	総合日本語 岡田			JB100-T1-2	総合日本語 上仲		
			JK202/302	漢字と語彙 (漢字系) TA横川						
II 10:30 ～ 12:00		IJ100	西口	IJ200	総合日本語 山崎	チュートリアル	IJ100 (漢字と語彙)	TA茶園	チュートリアル	IJ100 (漢字と語彙)
				JB300-T2-1	総合日本語 浦木	チュートリアル	IJ200	TA横川		IJ300
				JB100-T2-1	総合日本語 半田			菅	JW600/700	アカデミック ライティング
				JB200-T2-1	総合日本語 岡田	JC600/700	アカデミック コミュニケーション	山田		
III 13:30 ～ 15:00		IJ100	蔭山	IJ100	矢部			花井		IJ100
		IJ200	畑中	IJ200	山崎			山田		IJ200
		IJ300	西村	IJ300	半田			菅		IJ300
						BJ500/600/700	ビジネス日本語 コミュニケーション	韓	JC400/500	アカデミック コミュニケーション
IV 15:10 ～ 16:40		IJ100	蔭山	IJ100	矢部			花井		IJ100
		IJ200	畑中	IJ200	村岡	学際融合	アカデミック コミュニケーション	瀬井		IJ200
				IJ300	半田				学際融合	キャリアデザインとビジネス コミュニケーション
						JW400/500	アカデミック ライティング	韓		
V 16:50 ～ 18:20	JR600/700	アカデミック ライティング	西村	アカデミック ライティング	村岡	学際融合	アカデミック ライティング			

※日本語集中コースについては、コロナウィルスの影響で上記のカリキュラムから変更があったため、実際の時間割の詳細はⅢ章「留学生日本語プログラム」の記述を参照すること。

春～夏学期 国際交流科目 & 全学共通教育科目 & 学際融合教育科目 & 日本語自律学習支援

科目種別： 国際交流科目 (JA, JGU) 全学共通教育科目 学際融合教育科目 日本語自律学習支援

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 } 10:20			JA100-T1/T2 総合日本語(講義)	難波	JA100-T1 総合日本語	岡田	JA100-T1 総合日本語	藤山		
			JA200-T1/T2 総合日本語(講義)	福良	JA100-T2 総合日本語	花井	JA100-T2 総合日本語	花井		
			JA300-T1 総合日本語	住吉	JA200-T1 総合日本語	上仲	JA200-T1 総合日本語	矢部		
			JA300-T2 総合日本語	岡崎	JA200-T2 総合日本語	半田	JA200-T2 総合日本語	半田		
			JA400-T1 総合日本語	菅	JA300-T1/T2 総合日本語(講義)	西口	JA300-T1 総合日本語	上田		
			JA400-T2 総合日本語	矢部	JA400-T1 総合日本語	岡崎	JA300-T2 総合日本語	岡崎		
			JGU500d 日本語・グローバル理解演習	藤澤	JA400-T2 総合日本語	小原	JA400-T1/T2 総合日本語(講義)	義永		
			JGU600d 日本語・グローバル理解演習	大谷	JGU500e 日本語・グローバル理解演習	大谷	JGU500f 日本語・グローバル理解演習	韓		
					JGU600e 日本語・グローバル理解演習	矢部	JGU600f 日本語・グローバル理解演習	伊藤		
					多文化コミュニケーション	有川				
III 13:30 } 15:00			日本語学習アドバイザー	瀬井						
			学際融合 第二言語学習方法論	義永						
IV 15:10 } 16:40										
			専門日本語	義永	総合日本語	難波	専門日本語	難波	総合日本語	福良
V 16:50 } 18:20			多文化コミュニケーション	岡本	多文化コミュニケーション	西村	多文化コミュニケーション			

※開講予定であった水曜4限「多文化コミュニケーション」については、不開講であったため表中に記載していない。

秋～冬学期 留学生日本語選択コース & 日本語集中コース & 学際融合教育科目

科目種別： 留学生日本語選択コース 国際交流科目 日本語集中コース 学際融合教育科目

時間帯	月		火		水		木		金			
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当		
I 8:50 ～ 10:20	JK201	漢字と語彙 (非漢字系)	TFリナ				JK301	漢字と語彙 (非漢字系)	TF横川	総合日本語	岡崎	
				山崎						総合日本語	矢部	
				小原						総合日本語	上仲	
				浦木								
II 10:30 ～ 12:00				TF横川								
				JK202/302								
				漢字と語彙 (漢字系)								
				IJ200	山口	山崎	IJ100 (漢字と語彙)	TF茶園	IJ200	村岡	IJ100 (漢字と語彙)	TA三輪
				IJ200	畑中	浦木	IJ200	TF横川	IJ300	松田	IJ200	上仲
III 13:30 ～ 15:00				岡田								
				半田								
				半田								
				山崎								
				半田								
				山崎								
IV 15:10 ～ 16:40				山崎								
				半田								
				半田								
				山崎								
				半田								
				山崎								
V 16:50 ～ 18:20				山崎								
				半田								
				半田								
				山崎								
				半田								
				山崎								

※日本語集中コースについては、コロナウィルスの影響で上記のカリキュラムから変更があったため、実際の時間割の詳細はⅢ章「留学生日本語プログラム」の記述を参照すること。

秋～冬学期 国際交流科目 & 全学共通教育科目 (JA, JGU) 国際融合教育科目 & 学際融合教育科目 & 日本語自律学習支援

科目種別： 国際交流科目 (JA, JGU) 全学共通教育科目 学際融合教育科目 日本語自律学習支援

時間帯	月		火		水		木		金	
	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当	授業	担当
I 8:50 } 10:20			JA100-T1/T2 総合日本語(講義)	難波	JA100-T1 総合日本語	岡田	JA100-T1 総合日本語	藤山		
			JA200-T1/T2 総合日本語(講義)	福良	JA100-T2 総合日本語	花井	JA100-T2 総合日本語	花井		
			JA300-T1 総合日本語	住吉	JA100-T3 総合日本語	住吉	JA100-T3 総合日本語	住吉		
			JA300-T2 総合日本語	上田	JA200-T1 総合日本語	上仲	JA200-T1 総合日本語	矢部		
			JA400-T1 総合日本語	菅	JA200-T2 総合日本語	半田	JA200-T2 総合日本語	半田		
			JA400-T2 総合日本語	矢部	JA300-T1/T2 総合日本語(講義)	西口	JA300-T1 総合日本語	上田		
			JGU500a 日本語・グローバル理解演習	大谷	JA400-T1 総合日本語	岡崎	JA300-T2 総合日本語	岡崎		
			JGU600a 日本語・グローバル理解演習	岡崎	JA400-T2 総合日本語	矢部	JA400-T1/T2 総合日本語(講義)	義永		
					JGU500b 日本語・グローバル理解演習	藤澤	JGU500c 日本語・グローバル理解演習	伊藤		
					JGU600b 日本語・グローバル理解演習	大谷	JGU600c 日本語・グローバル理解演習	小原		
II 10:30 } 12:00										
			学際融合	義永						
III 13:30 } 15:00			言語学習 アドバイジング入門	義永						
			日本語学習アドバイジング	瀬井						
IV 15:10 } 16:40										
			専門日本語	義永	専門日本語	村岡	総合日本語	福良		
V 16:50 } 18:20			多文化コミュニケーション	岡本	多文化コミュニケーション	大谷				

資料 2 2021 年度 留学生日本語プログラム（選択コース） 履修登録者数（実人数）一覧

2-1 春～夏学期

(1) 部局別履修者数・身分内訳

研究科／学部	総 計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生*1	研究生*2	特 別 研究学生*3	特 別 聴講学生*3
文学研究科／文学部	12	6	5	1	0	0
人間科学研究科／人間科学部	9	1	8	0	0	0
法学研究科／法学部	12	10	2	0	0	0
経済学研究科／経済学部	24	3	21	0	0	0
理学研究科／理学部	14	1	12	0	1	0
医学系研究科／医学部	11	0	8	3	0	0
歯学系研究科／歯学部	1	0	1	0	0	0
薬学研究科／薬学部	3	2	1	0	0	0
工学研究科／工学部	39	2	34	3	0	0
基礎工学研究科／基礎工学部	18	1	16	0	0	1
言語文化研究科	5	0	3	2	0	0
国際公共政策研究科	5	0	1	1	3	0
情報科学研究科	8	0	6	2	0	0
生命機能研究科	2	0	1	1	0	0
接合科学研究所	1	0	0	1	0	0
蛋白質研究所	1	0	0	1	0	0
微生物病研究所	1	0	0	1	0	0
産業科学研究所	4	0	0	4	0	0
レーザー科学研究所	1	0	0	1	0	0
国際教育交流センター*4	1	0	0	1	0	0
計*5	172	26	119	22	4	1

【特記事項】

- * 1. 大学院生：大学院生には、「学際融合教育科目」として履修登録している学生が含まれる。
- * 2. 研 究 生：大学院レベル、および予備教育生（日本語集中コース）。
- * 3. 特別研究学生・特別聴講学生には、OUSSEP・FrontierLabのほか、iExpoの学生が含まれる。
- * 4. 国際教育交流センター欄の研究生1名は、他大学配属日本語集中コース生。
- * 5. JA・JGU（国際交流科目）受講学生は含まれない。また、正規学部留学生については、本プログラムではなく共通教育の第2外国語科目（国際教育交流センターが提供）を受講しているため、ここには含まれていない。

(2) レベル別身分内訳

選 択 レ ベ ル	総 計	身 分 別 内 訳				
		学部研究生	大学院生	研究生	特 別 研究学生	特 別 聴講学生
(未習) 100	19	0	16	3	0	0
200	40	4	29	7	0	0
300	33	4	20	7	1	1
400	13	2	9	2	0	0
500	11	6	3	1	1	0
600	10	6	0	2	2	0
(超上級レベル) 700*	46	4	42	0	0	0
計	172	26	119	22	4	1

- *：大学院生の「(超上級レベル) 700」は「学際融合教育科目」として履修登録。ただし、「ビジネス日本語コミュニケーション 500 / 600 / 700」は除く。

2-2 秋～冬学期

(1) 部局別履修者数・身分内訳

研究科 / 学部	総計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生 ^{*1}	研究生 ^{*2}	特別研究学生 ^{*3}	特別聴講学生 ^{*3}
文学研究科 / 文学部	13	8	3	2	0	0
人間科学研究科 / 人間科学部	3	1	2	0	0	0
法学研究科 / 法学部	24	19	4	1	0	0
経済学研究科 / 経済学部	12	3	9	0	0	0
理学研究科 / 理学部	7	2	4	1	0	0
医学系研究科 / 医学部	16	4	7	5	0	0
歯学系研究科 / 歯学部	1	0	0	1	0	0
薬学研究科 / 薬学部	0	0	0	0	0	0
工学研究科 / 工学部	45	8	33	4	0	0
基礎工学研究科 / 基礎工学部	20	5	13	2	0	0
言語文化研究科	7	0	1	6	0	0
国際公共政策研究科	6	0	1	5	0	0
情報科学研究科	10	0	4	6	0	0
生命機能研究科	4	0	4	0	0	0
微生物病研究所	3	0	0	3	0	0
産業科学研究所	3	0	0	2	1	0
社会経済研究所	2	0	0	2	0	0
国際教育交流センター ^{*4}	4	0	0	4	0	0
計 ^{*5}	180	50	85	44	1	0

【特記事項】

- * 1. 大学院生：大学院生には、「学際融合教育科目」として履修登録している学生が含まれる。
- * 2. 研 究 生：大学院レベル、および予備教育生（日本語集中コース）。
- * 3. 特別研究学生・特別聴講学生には、OUSSEP・FrontierLabのほか、iExpoの学生が含まれる。
- * 4. 国際教育交流センター欄の研究生4名は、他大学配属日本語集中コース生。
- * 5. JA・JGU（国際交流科目）受講学生は含まれない。また、正規学部留学生については、本プログラムではなく共通教育の第2外国語科目（国際教育交流センターが提供）を受講しているため、ここには含まれていない。

(2) レベル別身分内訳

選 択 レ ベ ル	総 計	身分別内訳				
		学部研究生	大学院生	研究生	特別研究学生	特別聴講学生
(未習) 100	24	4	16	4	0	0
200	28	2	14	12	0	0
300	34	3	20	11	0	0
400	25	10	6	8	1	0
500	18	10	3	5	0	0
600	18	15	2	1	0	0
(超上級レベル) 700 [*]	33	6	24	3	0	0
計	180	50	85	44	1	0

- *：大学院生の「(超上級レベル) 700」は「学際融合教育科目」として履修登録。ただし、「ビジネス日本語コミュニケーション 500 / 600 / 700」は除く。

資料 3-1 国際交流科目授業時間割 (令和 3 年春・夏学期)

時 限	時 間	月		火	水	木	金				
		豊中/吹田キャンパス		豊中キャンパス	豊中/吹田キャンパス	豊中キャンパス	吹田/豊中/箕面キャンパス				
I	8:50 10:20			総合日本語 JA (100, 200, 300-1, 300-2, 400-1, 400-2, 日本語・グ ローバル理解演習 JGU500d, 日 本語・グローバル理解演習 JGU600d) 《国際教育交流センター》	総合日本語 JA (100-1, 100-2, 200-1, 200-2, 300, 400-1, 400-2, 日本語・ グローバル理解演習 JGU500e, 日本語・グローバル理解演習 JGU600e) 《国際教育交流センター》	総合日本語 JA (100-1, 100-2, 200-1, 200-2, 300-1, 300-2, 400, 日本語・ グローバル理解演習 JGU500f, 日本語・グローバル理解演習 JGU600f) 《国際教育交流センター》	※UC Frontier Science I 《大阪大学とカリフォルニア 大学との学術交流推進室》				
				100 : 難波 康治 200 : 福良 直子 300-1 : 住吉 秀紀 300-2 : 岡崎 洋三 400-1 : 菅 撰子 400-2 : 矢部 正人 JGU500d : 藤澤 好恵 JGU600d : 大谷 晋也	100-1 : 岡田亜矢子 100-2 : 花井 理香 200-1 : 上仲 淳 200-2 : 半田佳奈子 300 : 西口 光一 400-1 : 岡崎 洋三 400-2 : 小原 俊彦 JGU500e : 大谷 晋也 JGU600e : 矢部 正人	100-1 : 藤山 拓 100-2 : 花井 理香 200-1 : 矢部 正人 200-2 : 半田佳奈子 300-1 : 上田安希子 300-2 : 岡崎 洋三 400 : 義永美央子 JGU500f : 韓 喜善 JGU600f : 伊藤 創	John Hampton INO				
				100 : 全学教育 C306/オンライン 200 : 全学教育 C205/オンライン 300-1 : 全学教育 A305/オンライン 300-2 : 全学教育 A315/オンライン 400-1 : 全学教育 C403/オンライン 400-2 : 全学教育 C104/オンライン JGU500d : 全学教育 C107/オンライン JGU600d : 全学教育 C203/オンライン	100-1 : 全学教育 A315/オンライン 100-2 : 全学教育 C304/オンライン 200-1 : 全学教育 B306/オンライン 200-2 : 全学教育 B316/オンライン 300 : 全学教育 A114/オンライン 400-1 : 全学教育 C204/オンライン 400-2 : 全学教育 C405/オンライン JGU500e : 全学教育 A305/オンライン JGU600e : 全学教育 C107/オンライン	100-1 : 全学教育 C107/オンライン 100-2 : 基礎工学部 B104 講義室/オンライン 200-1 : 文法館本館 461 講義室/オンライン 200-2 : 全学教育 C405/オンライン 300-1 : 全学教育 A101/オンライン 300-2 : 全学教育 A103/オンライン 400 : 全学教育 A002/オンライン JGU500f : 基礎工学部 B201 講義室/オンライン JGU600f : 全学教育 A305/オンライン	オンライン				
II	10:30 12:00	我が国の保健 サービスと 医療ケア 《医学研究科》	ジェンダー論 《人間科学部G30》	日本法の諸問題 《法学研究科》	身の回りの 高分子 《理学研究科》	比較法の諸問題 《法学研究科》	芸術を通して脳 科学を学ぼう 《文学研究科》	近代日本文学 における大阪 《言語文化研究科》	※UC Frontier Science I 《大阪大学とカ リフォルニア 大学との学術 交流推進室》	多文化共生論 《人間科学部G30》	※UC Frontier Science I 《大阪大学とカ リフォルニア 大学との学術 交流推進室》
		磯 博康	Paola Cavaliere	Elbalti Beligh	山口 浩靖、他	Elbalti Beligh	好井 千代	村上スミス・ アンドリュウ	John Hampton INO	Viktoriya Kim	John Hampton INO
		オンライン	全学教育 SCセミナー室B /オンライン	オンライン	理学研究科 G棟 103 塩見記念室/ オンライン	オンライン	オンライン	全学教育 SCセミナー室B /オンライン	オンライン	人間科学研究科 本館 31 講義室 /オンライン	オンライン
III	13:30 15:00	人間科学特殊講義Ⅳ (シティズンシップと多文化共生) 《人間科学部G30》		イノベーションの管理と変遷 《国際教育交流センター》	知覚と認知の 心理学 《人間科学部G30》	異文化コミュニ ケーションと パフォーマンス 《国際教育 交流センター》	科学英語入門 《国際教育交流センター》				
		北山 夕華		近藤 佐知彦/三森 八重子	森川 和則	中野 遼子	岡本 紗知				
		人間科学研究科 本館 12 講義室/オンライン		全学教育 SCセミナー室D/オンライン	人間科学研究科 32 講義室 /オンライン	サイバーメディア センター CALL 第 4 教室 /オンライン	オンライン				
IV	15:10 16:40	情報通信技術: ICT 《工学研究科》	文化人類学入門 《人間科学部G30》	オンライン・ リソースを活 用したL2 学習 《国際教育 交流センター》	日本の社会と イデオロギー 《国際教育 交流センター》	経済開発論 《国際公共政策 研究科》				異文化理解演習 《外国語学部》	
		井上 恭	Mohacsi Gergely	魚崎 典子	近藤 佐知彦	大槻 恒裕				筒井 佐代/波多野吉徳	
		オンライン	全学教育 SCセミナー室B /オンライン	サイバーメディア センター CALL 教室第 1B 教室/オンライン	全学教育 C206/オンライン	オンライン				外国語学部 502 講義室/オンライン	
V	16:50 18:20										

※ 4-8 月第 1 週目の木 2、金 1、金 2 開講

資料 3-2 国際交流科目授業時間割（令和 3 年秋・冬学期）

時 限	時間	月		火		水		木		金			
		吹田キャンパス		豊中／吹田キャンパス		豊中／吹田キャンパス		豊中／吹田キャンパス		豊中／箕面キャンパス			
I	8:50 10:20			総合日本語JA (100, 200, 300-1, 300-2, 400-1, 400-2, 日本語・グローバル理解演習JGU500a 日本語・グローバル理解演習JGU600a) 《国際教育交流センター》		総合日本語JA (100-1, 100-2, 100-3, 200-1, 200-2, 300, 400-1, 400-2, 日本語・グローバル理解演習JGU500b, 日本語・グローバル理解演習JGU600b) 《国際教育交流センター》		総合日本語JA (100-1, 100-2, 100-3, 200-1, 200-2, 300-1, 300-2, 400, 日本語・グローバル理解演習JGU500c 日本語・グローバル理解演習JGU600c) 《国際教育交流センター》		※UC Frontier Science I 《大阪大学とカリフォルニア大学との学術交流推進室》			
				100 : 難波 康治 200 : 福良 直子 300-1 : 住吉 秀紀 300-2 : 上田安希子 400-1 : 菅 祺子 400-2 : 矢部 正人 JGU500a : 大谷 晋也 JGU600a : 岡崎 洋三		100-1 : 岡田亜矢子 100-2 : 花井 理香 100-3 : 住吉 秀紀 200-1 : 上仲 淳 200-2 : 半田佳奈子 300 : 西口 光一 400-1 : 岡崎 洋三 400-2 : 矢部 正人 JGU500b : 藤澤 好恵 JGU600b : 大谷 晋也		100-1 : 藤山 拓 100-2 : 花井 理香 100-3 : 住吉 秀紀 200-1 : 矢部 正人 200-2 : 半田佳奈子 300-1 : 上田安希子 300-2 : 岡崎 洋三 400 : 義永美央子 JGU500c : 伊藤 創 JGU600c : 小原 俊彦		John Hampton INO			
				100 : 豊中総合学館501 講義室/オンライン 200 : 全学教育 C305/オンライン 300-1 : 全学教育 C107/オンライン 300-2 : 全学教育 C203/オンライン 400-1 : 全学教育 C407/オンライン 400-2 : 全学教育 A103/オンライン JGU500d : 全学教育 B206/オンライン JGU600d : 全学教育 B306/オンライン		100-1 : 全学教育 A304/オンライン 100-2 : 全学教育 A305/オンライン 100-3 : 全学教育 A315/オンライン 200-1 : 全学教育 C107/オンライン 200-2 : 全学教育 C205/オンライン 300 : 全学教育 C305/オンライン 400-1 : 全学教育 C105/オンライン 400-2 : 全学教育 C405/オンライン JGU500e : 全学教育 C303/オンライン JGU600e : 全学教育 C404/オンライン		100-1 : 全学教育 C107/オンライン 100-2 : 全学教育 C204 講義室/オンライン 100-3 : 全学教育 A101/オンライン 200-1 : 全学教育 A001/オンライン 200-2 : 全学教育 A002/オンライン 300-1 : 全学教育 文学部芸術研究棟 芸1 講義室/オンライン 300-2 : 全学教育 文学部芸術研究棟 芸3 講義室/オンライン 400 : 全学教育 A214/オンライン JGU500f : 文法経本館4階 461 講義室/オンライン JGU600f : 基礎工学部 B303 講義室/オンライン		オンライン			
II	10:30 12:00	社会学 (人間科学部G30)	応用理工学 入門 (工学研究科)	日本法の諸問題 《法学研究科》		比較法の 諸問題 《法学研究科》	戦略とイノ ベーション の歴史 (経済学研究科)	移動の社会学 (人間科学部G30)	近代・現代 日本文学 《言語文化 研究科》	日本における 多様性と人権 (人間科学部G30)	※UC Frontier Science 《大阪大学と カリフォルニア 大学との学術 交流推進室》	メディア 社会学 (人間科学部G30)	※UC Frontier Science I 《大阪大学と カリフォルニア 大学との学術 交流推進室》
		Christian Etzrodf	大畑 充	Elbalti Beligh		Elbalti Beligh	Xia Chenxiao	Viktoriya KIM	村上スミス・ アンドリュウ	北山 夕華	John Ino	Viktoriya KIM	John Hampton INO
		人間科学研究科 31 講義室 /オンライン	オンライン	オンライン		オンライン	全学教育 C304 /オンライン	人間科学部 東 316 講義室 /オンライン	全学教育 SCセミナー室B /オンライン	人間科学部 本館 32 講義室 /オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
III	13:30 15:00	国際理解入門 《工学研究科》		ソーシャルイノベーションと ソーシャルデザイン 《国際教育交流センター》		特別講義 (比較契約法・不法 行為法の諸問題) 《法学研究科》	言語コミュニケーシ ョンとパフォーマンス (国際教育交流センター)	科学と社会 《国際教育交流センター》		歴史学と史資料 《文学研究科》			
		藤田 清士		近藤 佐知彦/三森 八重子		Leonardo Ciano	中野 遼子	岡本 紗知		中谷 慧			
		工学部 C1-111/オンライン		全学教育 C208/オンライン		オンライン	サイバーメディア センター CALL 第 4 教室/ オンライン	オンライン		全学教育 A214/オンライン			
IV	15:10 16:40	多変量統計科学 《人間科学部G30》	生体医工学 への招待 《基礎工学研 究科》	日本のサル学 (人間科学部G30)	異文化コミュニケーション入門 《国際教育交流センター》		文化：その理解へのアプローチ 《国際教育交流センター》		異文化理解演習 《外国語学部》				
		足立 浩平	魚崎 典子	清野 健	James Anderson	石倉佑季子		有川 友子		波多野 吉徳			
		オンライン	サイバーメ ディアセン ター CALL 教室 第 1B 教室/ オンライン	オンライン	人間科学部 東 316 教室 /オンライン	オンライン		全学教育 C303/オンライン		外国語学部 632 講義室/オンライン			
V	16:50 18:20	宇宙地球科学への招待 《理学研究科》		日本のメディアと コミュニケーション 《国際教育交流 センター》		精密科学入門 《工学研究科》							
		松本 浩典		近藤 佐知彦		荻 博次							
		オンライン		全学教育 C406/オンライン		オンライン							

※ 10-2 月第 1 週目の木 2・金 1・金 2 開講

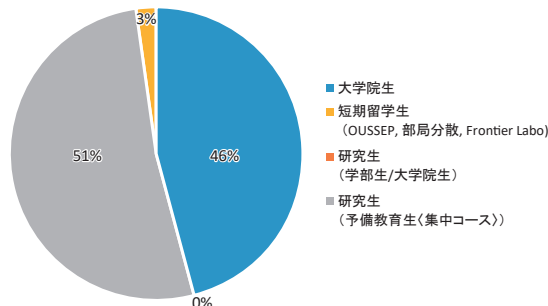
資料 4 日本語授業についてのアンケート

2021 年度 春～夏学期 日本語授業についてのアンケート集計（回答者：選択コース受講学生）

Students' Evaluation of the Japanese Language Class

◆身分 回答者のみ

(1) 大学院生	31
(2) 研究生（学部生/大学院生）	0
(3) 研究生（予備教育生〈集中コース〉）	35
(4) 短期留学生 （OUSSEP, 部局分散, Frontier Labo）	2
計	68



* 延総受講者数 182 名のうち、アンケート回答者数 68 名（全体の約 37%）

A. あなたの受講状況について

質問	50%未満	50～70%	70～80%	80～90%	90%以上	全科目平均値
(1) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。 (5：高評価)	1	2	3	4	5	4.7
(2) あなたはこの授業を意欲的に受講したと思いますか。	1	2	3	4	5	4.3
(3) あなたはこの授業の準備のために、毎回どのくらい時間をかけましたか。	1	2	3	4	5	2.6
(4) あなたはこの授業の復習に、毎回どのくらい時間をかけましたか。	1	2	3	4	5	2.6
(5) あなたは、この授業中（90分）にいつもどのくらい自分から質問や発言をしましたか。	1	2	3	4	5	3.0
(6) あなたは、この授業を受講して、日本語が上達したと思いますか。	1	2	3	4	5	4.0

B. 授業への感想

質問	1	2	3	4	5	平均値
(1) この授業は体系的に構成されていた。						4.3
(2) 教師は十分な準備をしていた。						4.5
(3) 教師の説明はわかりやすかった。						4.5
(4) 教師は質問にいていねいに答えてくれた。						4.7
(5) 練習やアクティビティは役に立った。						4.4
(6) クイズや課題・テストなどは適切だった。						4.4
(7) 宿題の量は適切だった。						4.4
(8) 指定された教科書や、配付されたプリントは役に立った。						4.4
(9) この授業を受講してよかったと思う。						4.3

2021 年度 春～夏学期 日本語授業についてのアンケート集計 (回答者：選択コース受講学生)

Students' Evaluation of the Japanese Language Class

受講者数	アンケート回答者数	回答率
のべ182名	のべ68名	37.36%

○各科目平均集計

1. 選択コース

科目名 平均値	JB 100-T1	JB 100-T2	JB 200-T1	JB 200-T2	JK 201	JK 202	JB 300-T1	JB 300-T2	JK 301	JK 302	JC 400	JC 500	JW 400	JW 500	BJ 500	BJ 600	BJ 700	JC 600	JC 700	JR 600	JR 700	JW 600	JW 700														
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数														
質問項目	68	182	3	14	3	5	6	16	1	6	1	6	1	5	3	7	3	5	3	8	2	3	1	4	2	6	1	3	0	4	1	1	2	9	1	3	
(1)	4.81	4.67	5.00	4.17	—	4.50	5.00	5.00	4.83	5.00	3.83	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	—	5.00	—	5.00	4.00	4.00	5.00	5.00	—	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00		
(2)	4.27	4.33	4.67	4.00	—	4.33	5.00	4.71	4.50	4.71	3.83	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.50	5.00	3.00	4.00	—	4.00	—	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00		
(3)	2.72	3.67	2.33	2.83	—	2.33	2.00	2.43	2.00	2.50	4.00	2.33	2.33	2.33	3.00	2.50	3.00	2.50	3.00	3.00	—	3.00	—	3.00	2.50	3.00	3.00	3.00	—	3.00	2.50	3.00	2.50	3.00	3.00	3.00	
(4)	2.62	3.67	2.67	2.83	—	2.40	4.00	2.71	3.00	2.00	2.83	2.00	2.33	2.67	2.33	2.00	3.00	1.50	3.00	—	3.00	—	3.00	—	3.00	3.00	3.00	—	3.00	1.50	3.00	3.00	1.50	3.00	3.00	3.00	3.00
(5)	3.14	3.33	3.67	2.33	—	2.67	3.00	3.14	3.00	3.00	3.00	3.00	3.33	3.00	3.33	4.00	3.00	3.00	3.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	3.00	3.00	—	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(6)	4.01	4.33	4.67	3.67	—	4.67	5.00	4.57	4.00	4.57	3.67	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(7)	4.26	4.33	5.00	3.83	—	4.67	5.00	4.71	4.33	4.00	4.17	4.00	4.00	4.00	4.33	3.50	5.00	3.50	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(8)	4.38	4.33	5.00	3.83	—	5.00	5.00	5.00	4.67	4.00	4.67	4.00	4.67	4.00	4.33	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(9)	4.36	4.33	5.00	3.83	—	4.83	5.00	4.83	4.67	4.00	4.50	4.00	4.67	4.00	4.33	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(10)	4.54	4.67	4.67	4.00	—	5.00	5.00	5.00	4.83	4.50	4.67	5.00	5.00	5.00	4.67	5.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(11)	4.32	4.33	4.33	3.83	—	4.83	5.00	4.86	4.33	4.00	4.86	4.17	5.00	4.00	4.67	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(12)	4.30	4.33	5.00	4.17	—	4.50	5.00	4.86	4.50	4.00	4.86	4.33	4.00	4.67	4.00	4.33	4.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(13)	4.29	4.00	4.33	4.17	—	4.17	5.00	4.86	4.50	4.00	4.86	4.33	4.00	4.67	4.00	4.67	4.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	5.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(14)	4.23	4.67	5.00	4.17	—	4.83	5.00	4.33	4.33	4.50	4.86	4.00	4.00	4.33	3.67	4.00	3.50	4.00	3.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(15)	4.44	5.00	4.67	3.83	—	4.83	5.00	4.86	4.50	4.00	4.86	4.17	5.00	5.00	4.33	3.50	5.00	4.00	4.00	—	4.00	—	4.00	—	4.00	4.00	4.00	—	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00

設問内容

A. あなたの受講状況について

(1) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。	50%未満	50～70%	70～80%	80～90%	90%以上
	1	2	3	4	5
(2) あなたはこの授業を意欲的に受講したと思いますか。	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	強くそう思う
	1	2	3	4	5
(3) あなたはこの授業の準備のために、毎回のくくらいの時間をかけましたか。	全くしない	～30分	～60分	～90分	90分以上
	1	2	3	4	5
(4) あなたはこの授業の復習に、毎回のくくらいの時間をかけましたか。	全くしない	～30分	～60分	～90分	90分以上
	1	2	3	4	5
(5) あなたは、この授業中(90分)にいつものくくらい自分から質問や発言をしましたか。	一度もしなかった	1回	2～3回	4～5回	6回以上
	1	2	3	4	5
(6) あなたは、この授業を受講して、日本語が上達したと思いますか。	ぜんぜん上達しなかった	ほとんど上達しなかった	すこしだけ上達した	かなり上達した	とても上達した
	1	2	3	4	5

B. 授業への感想

- (7) この授業は体系的に構成されていた。
- (8) 教師は十分な準備をしていた。
- (9) 教師の説明はわかりやすかった。
- (10) 教師は質問に丁寧に答えてくれた。
- (11) 練習やアクティビティは役に立った。
- (12) クイズや課題・テストなどは適切だった。
- (13) 宿題の量は適切だった。
- (14) 指定された教科書や、配付されたプリントは役に立った。
- (15) この授業を受講してよかったと思う。

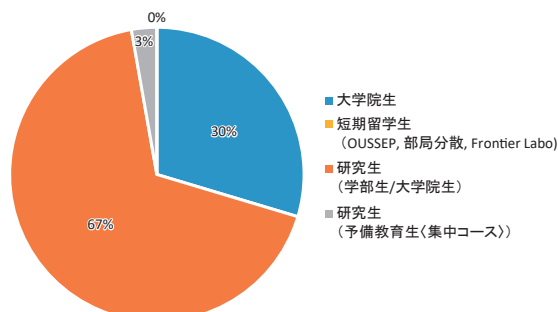
全くそう思わない	1	そう思わない	2	どちらともいえない	3	そう思う	4	強くそう思う	5
----------	---	--------	---	-----------	---	------	---	--------	---

2020年度 秋～冬学期 日本語授業についてのアンケート集計（回答者：選択コース受講学生）

Students' Evaluation of the Japanese Language Class

◆身分 回答者のみ

(1) 大学院生	32
(2) 研究生（学部生/大学院生）	73
(3) 研究生（予備教育生〈集中コース〉）	3
(4) 短期留学生 （OUSSEP, 部局分散, Frontier Labo）	0
計	108



*延総受講者数 229 名のうち、アンケート回答者数 108 名（全体の約 47%）

A. あなたの受講状況について

質問	50%未満	50～70%	70～80%	80～90%	90%以上	全科目平均値
(1) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。（5：高評価）	1	2	3	4	5	4.7
(2) あなたはこの授業を意欲的に受講したと思いますか。	1	2	3	4	5	4.3
(3) あなたはこの授業の準備のために、毎回どのくらい時間をかけましたか。	1	2	3	4	5	2.7
(4) あなたはこの授業の復習に、毎回どのくらい時間をかけましたか。	1	2	3	4	5	2.7
(5) あなたは、この授業中（90分）にいつもどのくらい自分から質問や発言をしましたか。	1	2	3	4	5	2.9
(6) あなたは、この授業を受講して、日本語が上達したと思いますか。	1	2	3	4	5	3.9

B. 授業への感想

質問	1	2	3	4	5	平均値
(1) この授業は体系的に構成されていた。						4.4
(2) 教師は十分な準備をしていた。						4.7
(3) 教師の説明はわかりやすかった。						4.5
(4) 教師は質問に丁寧に答えてくれた。						4.8
(5) 練習やアクティビティは役に立った。						4.4
(6) クイズや課題・テストなどは適切だった。						4.5
(7) 宿題の量は適切だった。						4.4
(8) 指定された教科書や、配付されたプリントは役に立った。						4.3
(9) この授業を受講してよかったと思う。						4.6

2021 年度 秋～冬学期 日本語授業についてのアンケート集計 (回答者: 選択コース受講学生)

Students' Evaluation of the Japanese Language Class

受講者数	アンケート回答者数	回答率
のべ229名	のべ108名	47.16%

○各科目平均集計

1. 選択コース

科目名	JB 100-T1		JB 100-T2		JB 200-T1		JB 200-T2		JB 300-T1		JB 300-T2		JK 202		JK 302		JC 400-T1		JC 400-T2		JC 500-T1		JC 500-T2		JC 700		JC 700		JR 600		JR 700		JW 600		JW 700																
	設問	平均値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差	最大値	最小値	標準差															
質問項目	108	229	6	13	5	11	8	12	1	3	6	12	3	10	7	19	2	3	6	12	6	9	3	8	4	7	6	11	4	5	1	7	3	8	3	3	3	4	7	12	2	3	3	7	2	5	6	11	1	5	
(1)	4.74	5.00	4.60	4.63	5.00	4.67	—	4.00	4.67	4.86	5.00	5.00	4.67	3.33	5.00	5.00	4.75	5.00	4.57	5.00	4.75	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.75	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00	4.57	5.00			
(2)	4.37	4.50	4.20	4.00	4.00	3.67	—	4.40	4.33	4.43	4.50	4.33	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.33	4.67	4.50	4.50	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00	4.14	5.00		
(3)	2.56	3.67	3.40	2.13	1.00	2.33	—	2.60	2.00	2.86	2.00	2.83	3.67	2.00	2.50	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00
(4)	2.71	3.17	3.80	2.50	4.00	2.83	—	3.40	3.67	3.14	3.00	2.50	2.17	1.67	2.25	2.75	2.50	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00	2.67	2.25	2.00			
(5)	2.79	2.17	3.40	3.38	3.00	2.50	—	3.40	3.67	3.29	3.50	3.67	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00	1.75	3.33	3.75	2.00	3.00		
(6)	3.89	3.83	4.40	4.00	3.00	3.33	—	3.80	4.00	4.00	4.00	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50	4.17	4.17	4.00	4.50				
(7)	4.27	4.33	4.80	4.25	4.00	4.33	—	4.40	4.67	4.57	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.50	4.83	5.00	4.83	5.00	4.50	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.50	4.83	5.00	4.83	5.00	4.50	4.83	5.00	4.83	5.00	4.50	4.83	5.00	4.83	5.00	4.50	4.83	5.00	4.83	5.00				
(8)	4.68	4.67	5.00	4.50	5.00	4.33	—	4.60	4.67	4.86	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00				
(9)	4.53	4.33	4.60	3.50	4.00	3.83	—	4.60	4.67	4.71	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00						
(10)	4.85	4.50	5.00	4.50	5.00	4.67	—	5.00	4.67	4.86	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00	4.83	5.00						
(11)	4.39	4.17	4.60	3.75	4.00	3.33	—	4.40	4.67	4.29	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67					
(12)	4.46	4.50	4.80	3.75	3.00	3.83	—	4.40	4.67	4.71	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	4.67					
(13)	4.25	4.50	4.80	4.25	3.00	4.00	—	4.40	4.67	4.71	5.00	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67	4.50	4.67	4.33	4.67			
(14)	4.38	4.17	4.80	4.00	5.00	3.83	—	4.20	4.33	4.43	5.00	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50	4.67	4.50	4.33	4.00	4.50					
(15)	4.58	4.33	5.00	4.25	4.00	4.00	—	4.20	4.67	4.57	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00	4.83	4.67	5.00							

設問内容

A. あなたの受講状況について

(1) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。	50%未満	50～70%	70～80%	80～90%	90%以上
	1	2	3	4	5
(2) あなたはこの授業を意欲的に受講したと思いますか。	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	強くそう思う
	1	2	3	4	5
(3) あなたはこの授業の準備のために、毎回のどのくらい時間をかけましたか。	全くしない	～30分	～60分	～90分	90分以上
	1	2	3	4	5
(4) あなたはこの授業の復習に、毎回のどのくらい時間をかけましたか。	全くしない	～30分	～60分	～90分	90分以上
	1	2	3	4	5
(5) あなたは、この授業中(90分)にいつものどのくらい自分から質問や発言をしましたか。	一度もしなかった	1回	2～3回	4～5回	6回以上
	1	2	3	4	5
(6) あなたは、この授業を受講して、日本語が上達したと思いますか。	ぜんぜん上達しなかった	ほとんど上達しなかった	すこしだけ上達した	かなり上達した	とても上達した
	1	2	3	4	5

B. 授業への感想

- (7) この授業は体系的に構成されていた。
- (8) 教師は十分な準備をしていた。
- (9) 教師の説明はわかりやすかった。
- (10) 教師は質問にいいに答えてくれた。
- (11) 練習やアクティビティは役に立った。
- (12) クイズや課題・テストなどは適切だった。
- (13) 宿題の量は適切だった。
- (14) 指定された教科書や、配付されたプリントは役に立った。
- (15) この授業を受講してよかったと思う。

全くそう思わない	1	そう思わない	2	どちらともいえない	3	そう思う	4	強くそう思う	5
----------	---	--------	---	-----------	---	------	---	--------	---

資料 5 国際交流科目 授業評価アンケート (質問票)

アンケート作成/回答入力

タイトル	End of Semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects)
概要	*Note: The main purpose of this survey is to evaluate and enhance the educational benefits and teaching quality of the instructors. This information may be used by the instructor, coordinator(s), and/or staff of the program as a reference for educational and improvement purposes in an anonymous form. Your answers to the questions will have no effect on your grade. You have 10 minutes to answer the questions. Please take your time completing the survey.
開講科目名	哲学的思考と日本の伝統

1:Your gender 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Male
- II. Female
- III. Other

2:Your age 【記述式 50文字以内】 (回答必須)

3:Your home country 【1つ選択してください。】 (回答必須)

4:Please write your home country if you chose "others" for question 3. 【記述式 100文字以内】

5:Your native language 【1つ選択してください。】 (回答必須)

6:Please write your native language if you chose "others" for question 5. 【記述式 100文字以内】

7: Your program 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. OUSSEP
- II. iExpo (Regular exchange student)
- III. FrontierLab@Osaka
- IV. Maple
- V. International-College(G30)CBCMP
- VI. International-College(G30)HUS
- VII. Faculty-level exchange student
- VIII. Regular Student
- IX. Auditor
- X. Others

8:Please write your program if you chose "others" for question 7. 【記述式 100文字以内】

9:Your Japanese level 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Native
- II. Excellent
- III. Good
- IV. Fair
- V. Poor

10:Your English level 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Native
- II. Excellent
- III. Good
- IV. Fair
- V. Poor

11:Which field is your major closest to? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Dentistry
- II. Economics
- III. Engineering
- IV. Engineering Science
- V. Foreign Studies
- VI. Human Sciences
- VII. Information Science and Technology
- VIII. International Public Policy
- IX. Language and Culture
- X. Law and Politics
- XI. Letters
- XII. Medicine
- XIII. Pharmaceutical
- XIV. Sciences
- XV. Others

12:Please write your major if you chose "others" for question 11. 【記述式 100文字以内】

13:Which field is your minor closest to? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

14:Please write your minor if you chose "others" for question 13. 【記述式 1,000文字以内】

15:How often did you attend this class so far? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. All
- II. 80% -
- III. 60% -
- IV. 50% - 59%
- V. Less than half

16:Let us know the main reason for taking this class. Please write the reason. (e.g. OUSSEP completion, personal interest, others.) 【記述式 1,000文字以内】 (回答必須)

17:Are you satisfied with this class? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

18:Is the lecture understandable? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

19: Does the instructor speak English understandably? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

20: Is the class conducted in accordance with the syllabus? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

21: Does the instructor appropriately answer questions that the students have? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

22: Let us know your opinion on the amount of reading and assignments (inside and outside of class). 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Too much.
- II. Much.
- III. Adequate.
- IV. A little.
- V. Too little.

23: Did the instructor explain the grading method and policy sufficiently? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

24: Does the instructor think out a method or way to improve the education effect? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

25: Is the lecture interactive (e.g. between instructor and students, among students)? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

26: Did you develop global awareness and learn different cultures and values through taking this class? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

27: How well does the TA/TF contribute? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. There are no TAs/TFs.

28:(Only for international students) Do you intend to transfer the credit to your home institution? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. I'll transfer the credit.
- II. I can transfer, but I don't need credits.
- III. I cannot transfer.
- IV. I'm an Osaka University student.

29:(Only for international students) To what extent have you had opportunities to talk to Japanese students through attending this class so far? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. There are no Japanese students.
- VII. I'm a Japanese student.

30:(Only for international students) Can you recommend this class to other international students and students of your home university? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm a Japanese student.

31:(Only for Osaka University students) Do you take this class to get the credit for graduation? 卒業要件単位取得の目的で受講していますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, I'll get the credit for graduation.
- II. No, I'm an auditor.
- III. No, I'll get the credit, however the credit is not necessary for graduation.
- IV. I'm not a regular student.

32:(Only for Osaka University students) To what extent have you had opportunities to talk to international students in this class? この授業で留学生との交流はできましたか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

33:(Only for Osaka University students) Do you have more opportunities to communicate with international students outside classes through taking this class? 授業に参加することで授業以外で留学生と話す機会が増えましたか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

34:(Only for Osaka University students) Have you ever studied abroad before? あなたはこれまでに留学したことがありますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. I have studied abroad for 6 months or more.
- II. I have studied abroad for 3 months or more.
- III. I have studied abroad for less than 3 months.
- IV. I haven't studied abroad, however I'm thinking about it in the future.
- V. I haven't studied abroad, and don't plan to do so in the future.
- VI. I'm not a regular student.

35:(Only for Osaka University students) Did you become interested in studying abroad through taking this class? 授業に参加することであなたは海外留学に興味を持ちましたか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I have already studied abroad before.
- VII. I'm not a regular student.

36:(Only for Osaka University students) Is this class helpful in preparing for studying abroad? 海外留学のための準備としてこの授業に参加することは、役に立つと思いますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

37:(Only for Osaka University students) Can you recommend this class to other students? 先輩や他の学生にこの授業を受講することを勧められますか? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.
- VI. I'm not a regular student.

38:Do you think that the class should keep being conducted online? 【1つ選択してください。】 (回答必須)

- I. Yes, very much.
- II. Almost always.
- III. To some extent.
- IV. A little.
- V. Not at all.

39:Let us know what good points in this online class? 【記述式 1,000文字以内】 (回答必須)

40:Let us know what difficulties you have in this online class? 【記述式 1,000文字以内】 (回答必須)

41:Let us know if there are any favorable methods of teaching or class organization that you think the instructor should continue to maintain. (e.g. audio-visual material, field trip, discussions, quizzes, etc.) 【記述式 1,000文字以内】

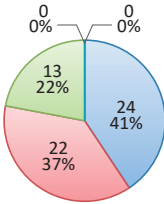
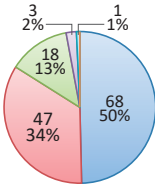
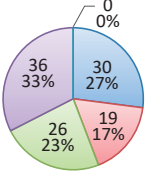
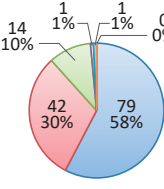
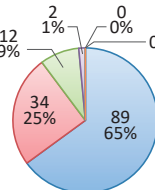
42:Let us know if you have any suggestions or advice to improve the class. 【記述式 1,000文字以内】

43:Please freely write any other comments and opinions. 【記述式 1,000文字以内】

[回答確認](#) [一時保存](#) [クリア](#) [一覧に戻る](#)

資料 6 国際交流科目 授業アンケート (結果)

End of Semester Evaluation Questionnaire (International Exchange Subjects) for 2020 Spring and Summer term																																					
Exchange international students (English)																																					
1	Which is your program?	Answer	Num.																																		
		A. OUSSEP	95																																		
		B. iExPO	0																																		
		C. Frontier Lab	1																																		
		D. Maple	0																																		
		E. G30-CBCMP	3																																		
		F. G30-HUS	4																																		
		G. Others	34																																		
		NA	0																																		
		Total Num.		137																																	
			<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>Data for Question 1 Pie Chart</caption> <thead> <tr><th>Program</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A. OUSSEP</td><td>95</td><td>69%</td></tr> <tr><td>B. iExPO</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>C. Frontier Lab</td><td>1</td><td>0%</td></tr> <tr><td>D. Maple</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>E. G30-CBCMP</td><td>3</td><td>3%</td></tr> <tr><td>F. G30-HUS</td><td>4</td><td>3%</td></tr> <tr><td>G. Others</td><td>34</td><td>25%</td></tr> <tr><td>NA</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Program	Count	Percentage	A. OUSSEP	95	69%	B. iExPO	0	0%	C. Frontier Lab	1	0%	D. Maple	0	0%	E. G30-CBCMP	3	3%	F. G30-HUS	4	3%	G. Others	34	25%	NA	0	0%							
Program	Count	Percentage																																			
A. OUSSEP	95	69%																																			
B. iExPO	0	0%																																			
C. Frontier Lab	1	0%																																			
D. Maple	0	0%																																			
E. G30-CBCMP	3	3%																																			
F. G30-HUS	4	3%																																			
G. Others	34	25%																																			
NA	0	0%																																			
2	Subject	All the International Exchange Subjects (a number of subjects included)																																			
4	Your Major	Answer	Num.																																		
		Dentistry	5																																		
		Economics	7																																		
		Engineering	7																																		
		Engineering-Science	5																																		
		Foreign Studies	16																																		
		Human Sciences	20																																		
		Information Science and Technology	4																																		
		International Public Policy	3																																		
		Language and Culture	35																																		
		Law and Politics	17																																		
		Letters	2																																		
		Medicine	1																																		
		Pharmaceutical	0																																		
		Sciences	9																																		
		Others	6																																		
		NA	0																																		
		Total Num.		137																																	
			<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>Data for Question 4 Horizontal Bar Chart</caption> <thead> <tr><th>Major</th><th>Count</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>Dentistry</td><td>5</td></tr> <tr><td>Economics</td><td>7</td></tr> <tr><td>Engineering</td><td>7</td></tr> <tr><td>Engineering-Science</td><td>5</td></tr> <tr><td>Foreign Studies</td><td>16</td></tr> <tr><td>Human Sciences</td><td>20</td></tr> <tr><td>Information Science and Technology</td><td>4</td></tr> <tr><td>International Public Policy</td><td>3</td></tr> <tr><td>Language and Culture</td><td>35</td></tr> <tr><td>Law and Politics</td><td>17</td></tr> <tr><td>Letters</td><td>2</td></tr> <tr><td>Medicine</td><td>1</td></tr> <tr><td>Pharmaceutical</td><td>0</td></tr> <tr><td>Sciences</td><td>9</td></tr> <tr><td>Others</td><td>6</td></tr> <tr><td>NA</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	Major	Count	Dentistry	5	Economics	7	Engineering	7	Engineering-Science	5	Foreign Studies	16	Human Sciences	20	Information Science and Technology	4	International Public Policy	3	Language and Culture	35	Law and Politics	17	Letters	2	Medicine	1	Pharmaceutical	0	Sciences	9	Others	6	NA	0
Major	Count																																				
Dentistry	5																																				
Economics	7																																				
Engineering	7																																				
Engineering-Science	5																																				
Foreign Studies	16																																				
Human Sciences	20																																				
Information Science and Technology	4																																				
International Public Policy	3																																				
Language and Culture	35																																				
Law and Politics	17																																				
Letters	2																																				
Medicine	1																																				
Pharmaceutical	0																																				
Sciences	9																																				
Others	6																																				
NA	0																																				
5	How often did you attend this class so far?	Answer	Num.																																		
		A:all	87																																		
		B:80%~	45																																		
		C:60%~	4																																		
		D:50~59%	0																																		
		E:less than half	1																																		
		NA	0																																		
		Total Num.		137																																	
			<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>Data for Question 5 Pie Chart</caption> <thead> <tr><th>Attendance</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A:all</td><td>87</td><td>63%</td></tr> <tr><td>B:80%~</td><td>45</td><td>33%</td></tr> <tr><td>C:60%~</td><td>4</td><td>3%</td></tr> <tr><td>D:50~59%</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>E:less than half</td><td>1</td><td>1%</td></tr> <tr><td>NA</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Attendance	Count	Percentage	A:all	87	63%	B:80%~	45	33%	C:60%~	4	3%	D:50~59%	0	0%	E:less than half	1	1%	NA	0	0%													
Attendance	Count	Percentage																																			
A:all	87	63%																																			
B:80%~	45	33%																																			
C:60%~	4	3%																																			
D:50~59%	0	0%																																			
E:less than half	1	1%																																			
NA	0	0%																																			
6 (a)	Do you intend to transfer the credit to the credit at your home institution?	Answer	Num.																																		
		A. Yes	74																																		
		B. No	59																																		
		NA	0																																		
		Total Num.		133																																	
			<table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>Data for Question 6(a) Pie Chart</caption> <thead> <tr><th>Response</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A. Yes</td><td>74</td><td>56%</td></tr> <tr><td>B. No</td><td>59</td><td>44%</td></tr> <tr><td>NA</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Response	Count	Percentage	A. Yes	74	56%	B. No	59	44%	NA	0	0%																						
Response	Count	Percentage																																			
A. Yes	74	56%																																			
B. No	59	44%																																			
NA	0	0%																																			

6 (b)	If "No", please choose the reason.		 <ul style="list-style-type: none"> ■ A: I'm an Osaka University's student ■ B: I can transfer, But I don't need credits. ■ C: I cannot transfer. ■ D: Other ■ NA
	Answer	Num.	
	A: I'm an Osaka University's student	24	
	B: I can transfer, But I don't need credits.	22	
	C: I cannot transfer.	13	
	D: Other	0	
	NA	0	
Total Num.		59	
7	Let us know your main purpose of taking this class. Please specify the reason, such as OUSSEP completion, your own interest in the subject, or others.		<p>Own interest. OUSSEP completion, Knowledge, Credits. In order to convalidate my home university classes.</p> <p>Basically I take classes that can adapt to the background of the majors I have taken at my home university so that they can be easily understood and can be applied when I return to my home university. Besides that, I have also taken international relations classes at my home university, so this class really supports my knowledge even more.</p> <p>The reason was because of the learning agreement that I had to do between my home university and Osaka University, the required me this class.</p> <p>Widen my thoughts and views. It is close to my field of study in my home university.</p>
	Answer		
	Num.		
	Total Num.		
	59		
8	Are you satisfied with this class?		 <ul style="list-style-type: none"> ■ A: yes, very much ■ B: almost always ■ C: to some extent ■ D: not so much ■ E: not at all ■ NA
	Answer	Num.	
	A: yes, very much	68	
	B: almost always	47	
	C: to some extent	18	
	D: not so much	3	
	E: not at all	1	
NA	0		
Total Num.		137	
9	To what extent have you had opportunities to talk to Japanese students through attending this class so far?		 <ul style="list-style-type: none"> ■ A: yes, very much ■ B: to some extent ■ C: not so much ■ D: not at all ■ NA
	Answer	Num.	
	A: yes, very much	30	
	B: to some extent	19	
	C: not so much	26	
	D: not at all	36	
	NA	0	
Total Num.		111	
10	Is the lecture understandable?		 <ul style="list-style-type: none"> ■ A: yes, very much ■ B: almost always ■ C: to some extent ■ D: not so much ■ E: not at all ■ NA
	Answer	Num.	
	A: yes, very much	79	
	B: almost always	42	
	C: to some extent	14	
	D: not so much	1	
	E: not at all	1	
NA	0		
Total Num.		137	
11	Does the instructor speak English understandably?		 <ul style="list-style-type: none"> ■ A: yes, very much ■ B: almost always ■ C: to some extent ■ D: not so much ■ E: not at all ■ NA
	Answer	Num.	
	A: yes, very much	89	
	B: almost always	34	
	C: to some extent	12	
	D: not so much	2	
	E: not at all	0	
NA	0		
Total Num.		137	

12	Is the class conducted in accordance with the syllabus?	Answer	Num.	
		A:yes,very much	113	
		B:almost always	21	
		C:to some extent	3	
		D:not so much	0	
		E:not at all	0	
		NA	0	
		Total Num.	137	
13	Does the instructor answer appropriately to the questions that students raise?	Answer	Num.	
		A:yes,very much	100	
		B:almost always	24	
		C:to some extent	12	
		D:not so much	0	
		E:not at all	1	
		NA	0	
		Total Num.	137	
14	Let us know your opinion on the amount of reading materials and assignment.	Answer	Num.	
		A:too much	32	
		B:adequate	97	
		C:not enough(insufficient)	7	
		NA	0	
Total Num.	136			
15	Did the instructor explain the grading method and policy sufficiently? Was there any opportunity offered to ask a question about the grading scale of the course?	Answer	Num.	
		A:yes,very much	120	
		B:to some extent	11	
		C:not at all	5	
		NA	0	
Total Num.	136			
16	Is there any TA in the class?	Answer	Num.	
		A: Yes	85	
		B: No	52	
		NA	0	
		Total Num.	137	
	If YES, how well does the TA contribute?	Answer	Num.	
		A:yes,very much	42	
		B:almost always	18	
		C:to some extent	12	
		D:not so much	10	
		E:not at all	3	
		NA	0	
		Total Num.	85	

17	Let us know, if any, favorable method of teaching or organizing classes that you think the instructor should continue to maintain.
	I think the learning method has worked well. However, adding audio-visual material during class will certainly be more interesting!
	I appreciate the professor's powerpoint presentation discussions.
	Maybe the CLE discussions can be used for the upcoming semesters, as they make it alot easier for me to follow class (I am abroad, so I am struggling with the time difference).
	In my own university there was one course where part of the completion was to ask one question in the forum after every lecture. I think this would be beneficial for this course as well, because it would make asking questions easier and less embarrassing.
	I liked the group work and I would maintain it, but having more specific leading questions to discuss about would be nice. I also enjoyed the final presentations and the fact that we could choose any topic that was interesting to us during the semester.
	Interactive quizzes and weekly assingments
18	Let us know your suggestion or advice to improve the class.
	Increase interaction between instructor and student
	In some courses breakout sessions were used to facilitate discussions between the attending students. I don't know if this would help the class, because of the format and topic, but I mostly found those discussions very enriching.
	If a class is attended asynchronously, we have to write an assignment to prove our attendance. I am very grateful for this opportunity. However, the assignment always takes really long for me, because I still feel insecure in the subject and its terminology and writing an abstract generally takes really long. Since I have to do extra assignments in almost every class I am really struggling. Maybe the assignment could be made shorter.
	We can talk more about our background of culture in our own country
	please longer the time for the group discussion. it will be more interesting to discuss if we have more time to gather the materials
	Please add more pictures and graphs.
	The beginning, it is easy for shy students to talk in small group.
	please longer the time for the group discussion. it will be more interesting to discuss if we have more time to gather the materials
	Making use of the chat function before we go into our breakout groups
	more text on slide material, instead of pictures
19	Please write other comments and frank opinions freely, if any.
	I like this class, because every class was so fun and interesting. I really enjoyed workshop with other students. I also like teacher, because she is so kind and easy to talk to.
	Thank you for this semester, I really enjoyed this class. I could meet many international and Japanese students during the breakout rooms sessions. The class is very well-managed.
	The professor was really passionate and I enjoyed taking this class because I learned a lot
	overall its a great course!
	Good work! Keep going!
	The professor is very kind.
	ありがとうございました。
	It was simply interesting and creative class.
	Good work! Keep going!
	Thank you for teaching us. I really enjoyed this class.

資料 7-1 国際交流科目 総合日本語／日本語・グローバル理解演習 授業アンケート 集計結果 春夏学期

タイトル 【International Exchange Subjects: Japanese】 End of Semester Evaluation Questionnaire (2021 SS Term)

概要 This is a class evaluation form for 2021 Spring-Summer Terms, and we appreciate your active participation. Please provide your instructors and us with your honest, constructive and anonymous feedback by answering the following questions.

各設問の同一連番は同一回答者ではありません。

◆ ■■■ : 当該アンケートの集計

1 : Your level 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	JA100	◆ ■■■	3 / 29	10.34
(2)	JA200	◆ ■	2 / 29	6.90
(3)	JA300	◆ ■■■■	6 / 29	20.69
(4)	JA400	◆ ■■■■■■	9 / 29	31.03
(5)	JA500	◆ ■■■	3 / 29	10.34
(6)	JGU600	◆ ■■■■	6 / 29	20.69

2 : Your Track 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	(JA) Track 1	◆ ■■■■■■	7 / 29	24.14
(2)	(JA) Track 2	◆ ■■■■■■■■	13 / 29	44.83
(3)	(JGU) d	◆ ■■■	3 / 29	10.34
(4)	(JGU) e	◆ ■■■	3 / 29	10.34
(5)	(JGU) f	◆ ■■■	3 / 29	10.34






3 : Your Program 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	OUSSEP	◆ ■■■■■■■■	11 / 29	37.93
(2)	iExpo (Regular exchange student)	◆	0 / 29	
(3)	FrontierLab@Osaka	◆ ■	1 / 29	3.45
(4)	Undergraduate	◆	0 / 29	
(5)	Graduate student	◆ ■■■■■■■■	12 / 29	41.38
(6)	Others (exchange student)	◆ ■■■■	5 / 29	17.24





4 : Did you study diligently during the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Yes	◆ ■■■■■■■■	13 / 29	44.83
(2)	Yes	◆ ■■■■■■■■	14 / 29	48.28
(3)	Not Sure	◆ ■	2 / 29	6.90
(4)	No	◆	0 / 29	
(5)	Definitely No	◆	0 / 29	




5 : How much time did you spend for the preparation for each class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	More than 2 hours	◆ 	9 / 29	31.03
(2)	Less than 2 hour	◆ 	14 / 29	48.28
(3)	Less than 1 hour	◆ 	4 / 29	13.79
(4)	Less than 30 minutes	◆ 	1 / 29	3.45
(5)	None/zero	◆ 	1 / 29	3.45

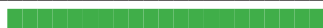

6 : How often did you ask questions or give comments during a class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	More than 6 times	◆ 	10 / 29	34.48
(2)	4-5 times	◆ 	9 / 29	31.03
(3)	2-3 times	◆ 	7 / 29	24.14
(4)	Once	◆ 	3 / 29	10.34
(5)	None/zero	◆	0 / 29	



7 : Did you improve your Japanese by attending and participating in this class ? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Improved	◆ 	25 / 29	86.21
(2)	Rather Improved	◆ 	2 / 29	6.90
(3)	Improved	◆ 	2 / 29	6.90
(4)	Not Sure	◆	0 / 29	
(5)	No Improvement	◆	0 / 29	



8 : Was the class organized systematically? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	21 / 29	72.41
(2)	Agree	◆ 	8 / 29	27.59
(3)	Not Sure	◆	0 / 29	
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	




9 : Were the teacher's explanation clear? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	21 / 29	72.41
(2)	Agree	◆ 	8 / 29	27.59
(3)	Not Sure	◆	0 / 29	
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	




10 : Did the teachers respond to student's questions carefully and kindly? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	26 / 29	89.66
(2)	Agree	◆ 	3 / 29	10.34
(3)	Not Sure	◆	0 / 29	
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	




11 : Were the practices and activities conducted effectively during the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	18 / 29	62.07
(2)	Agree	◆ 	10 / 29	34.48
(3)	Not Sure	◆ 	1 / 29	3.45
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	




12 : Were the contents of homework assignments and quizzes proper? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	17 / 29	58.62
(2)	Agree	◆ 	11 / 29	37.93
(3)	Not Sure	◆ 	1 / 29	3.45
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	

13 : Were textbooks and handouts useful? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	16 / 29	55.17
(2)	Agree	◆ 	11 / 29	37.93
(3)	Not Sure	◆ 	2 / 29	6.90
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	

14 : Was it worthwhile attending this class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	24 / 29	82.76
(2)	Agree	◆ 	4 / 29	13.79
(3)	Not Sure	◆ 	1 / 29	3.45
(4)	Disagree	◆	0 / 29	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 29	

15 : Please give any additional comments you have about this class. 【記述式 1,000 文字以内】


連番	回 答
1	先生は素晴らしかったです！
2	この授業を受講できて、本当に幸せですね。先生たちはとても優しいです。私の日本語能力（話すと書く）を向上させました。JA400 に感謝いたします。
3	I love JA400 class. Thank you so much.
4	The homework was a bit too much
5	日本語で私の出所国の情報を調べにくかったので、多くの内容は自分で通訳しなければならないです。文書の間違いは多いです。
6	Overall the course was good, Much more difficult compared to JA200, but that's fine. Only negative part in my opinion was the Lecture lesson, I would've liked a more structured explanation of the grammar part instead of "learning by example". Definitely liked 住吉先生 request for a translation after reading, as this forced me to clearly understand the structure of a sentence. Also 上田先生 request of summarizing other people essays was good, as forced me to pay attention and understand other people essays.
7	いろいろな面白かった実験がありました。実験に関する宿題があったほうが良いと思います。
8	面白かったテーマです！教科書をよくよんだり、関する問題を宿題としてしたり、積極的関する話を聞いたりしました。今回のN1 レベルの試験には教科書から勉強した内容と言葉を見ました。highly recommend this class and interesting sense!
9	住吉先生と西口先生と上田先生は全部優しくて、よくしてくれました。先生たちの授業でいろいろの新しい知識を勉強しました。すべての先生が好きです。チャンスがあれば、先生の授業をもう一度受けたいです。
10	the curriculum really helps me in learning new language
11	There is a lot we learn in the class, so sometimes it is a little fast for me. Maybe we can take more time for the exercises sometimes.
12	教科書はもうちょっと進めたかったです。最後の5つの章は面白そうです。授業の構造はいいと思いました。

資料 7-2 国際交流科目 総合日本語／日本語・グローバル理解演習 授業アンケート 集計結果 秋冬学期





タイトル 【International Exchange Subjects: Japanese】 End of Semester Evaluation Questionnaire (2021 FW Term) This is a class evaluation form for 2021 Fall-Winter Terms, and we appreciate your active participation.

概要 Please provide your instructors and us with your honest, constructive and anonymous feedback by answering the following questions.







各設問の同一連番は同一回答者ではありません。

◆  : 当該アンケートの集計






1 : Your level 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	JA100	◆ 	6 / 22	27.27
(2)	JA200	◆	0 / 22	
(3)	JA300	◆ 	7 / 22	31.82
(4)	JA400	◆ 	2 / 22	9.09
(5)	JGU500	◆ 	7 / 22	31.82
(6)	JGU600	◆	0 / 22	




2 : Your Track 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	(JA) Track 1	◆ 	6 / 22	27.27
(2)	(JA) Track 2	◆ 	8 / 22	36.36
(3)	(JA) Track 3	◆ 	1 / 22	4.55
(4)	(JGU) a	◆ 	3 / 22	13.64
(5)	(JGU) b	◆ 	3 / 22	13.64
(6)	(JGU) c	◆ 	1 / 22	4.55






3 : Your Program 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	OUSSEP	◆ 	9 / 22	40.91
(2)	iExpo (Regular exchange student)	◆	0 / 22	
(3)	FrontierLab@Osaka	◆ 	1 / 22	4.55
(4)	Undergraduate	◆ 	1 / 22	4.55
(5)	Graduate student	◆ 	5 / 22	22.73
(6)	Others (exchange student)	◆ 	6 / 22	27.27





4 : Did you study diligently during the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Yes	◆ 	6 / 21	28.57
(2)	Yes	◆ 	10 / 21	47.62
(3)	Not Sure	◆ 	5 / 21	23.81
(4)	No	◆	0 / 21	
(5)	Definitely No	◆	0 / 21	





5 : How much time did you spend for the preparation for each class ? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	More than 2 hours	◆ 	2 / 22	9.09
(2)	Less than 2 hour	◆ 	12 / 22	54.55
(3)	Less than 1 hour	◆ 	6 / 22	27.27
(4)	Less than 30 minutes	◆ 	1 / 22	4.55
(5)	None/zero	◆ 	1 / 22	4.55




6 : How often did you ask questions or give comments during a class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	More than 6 times	◆ 	3 / 22	13.64
(2)	4 - 5 times	◆ 	2 / 22	9.09
(3)	2 - 3 times	◆ 	11 / 22	50.00
(4)	Once	◆ 	6 / 22	27.27
(5)	None/zero	◆	0 / 22	

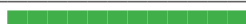


7 : Did you improve your Japanese by attending and participating in this class ? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Improved	◆ 	11 / 22	50.00
(2)	Rather Improved	◆ 	5 / 22	22.73
(3)	Improved	◆ 	4 / 22	18.18
(4)	Not Sure	◆ 	2 / 22	9.09
(5)	No Improvement	◆	0 / 22	



8 : Was the class organized systematically? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	9 / 22	40.91
(2)	Agree	◆ 	12 / 22	54.55
(3)	Not Sure	◆ 	1 / 22	4.55
(4)	Disagree	◆	0 / 22	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 22	




9 : Were the teacher's explanation clear? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	12 / 22	54.55
(2)	Agree	◆ 	9 / 22	40.91
(3)	Not Sure	◆ 	1 / 22	4.55
(4)	Disagree	◆	0 / 22	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 22	



10 : Did the teachers respond to student's questions carefully and kindly? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	18 / 22	81.82
(2)	Agree	◆ 	4 / 22	18.18
(3)	Not Sure	◆	0 / 22	
(4)	Disagree	◆	0 / 22	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 22	

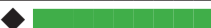


11 : Were the practices and activities conducted effectively during the class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	4 / 21	19.05
(2)	Agree	◆ 	12 / 21	57.14
(3)	Not Sure	◆ 	5 / 21	23.81
(4)	Disagree	◆	0 / 21	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 21	




12 : Were the contents of homework assignments and quizzes proper? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	7 / 22	31.82
(2)	Agree	◆ 	15 / 22	68.18
(3)	Not Sure	◆	0 / 22	
(4)	Disagree	◆	0 / 22	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 22	

13 : Were textbooks and handouts useful? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	9 / 22	40.91
(2)	Agree	◆ 	11 / 22	50.00
(3)	Not Sure	◆ 	2 / 22	9.09
(4)	Disagree	◆	0 / 22	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 22	

14 : Was it worthwhile attending this class? 【1つ選択してください。】

回答番号	回 答	比 較	人数／総数	比率 (%)
(1)	Definitely Agree	◆ 	12 / 22	54.55
(2)	Agree	◆ 	8 / 22	36.36
(3)	Not Sure	◆ 	2 / 22	9.09
(4)	Disagree	◆	0 / 22	
(5)	Definitely Disagree	◆	0 / 22	

15 : Please give any additional comments you have about this class. 【記述式 1,000 文字以内】

連番	回 答
1	Thanks to this class I have improved my Japanese language skills a lot and gained some information about the culture of Japan as well.
2	Even if it was sometimes difficult to attend this class because it was online, I will keep a good memory of it.
3	Weekly vocabulary test may be a good idea for future courses.
4	Thank you very much sensei for giving the lecture easy to understand and allowing us to talk and discuss a lot during class. お世話になります。ありがとうございました。
5	The teachers were very good and the class was very informative.
6	If I were in Japan and had a face-to-face class, I would definitely say this class greatly improved my Japanese because I can apply what I have learned in daily life. While I have online classes, the only chance I get to use Japanese is in classes, so I am not sure if this is helpful to my Japanese.
7	I think it will be better to have more time for discussion about the topic rather than making and preparing for presentation
8	とても良かったです。
9	ディスカッションがもっとあったらもっと面白くなると思います

2021年度 年 報

2022年8月31日 発行

編集・発行者：大阪大学国際教育交流センター
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
電話：06-6879-7118 FAX：06-6879-7077

制 作：株式会社 遊 文 舎